

AQUOS K

SHF33

User Guide 取扱説明書 詳細版

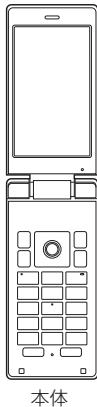
au

ごあいさつ

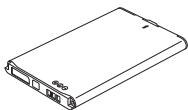
このたびは、「AQUOS K SHF33」(以下、「SHF33」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に本体付属の「取扱説明書」「設定ガイド」またはauホームページより「取扱説明書 詳細版」をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになつた後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本体付属の「取扱説明書」「設定ガイド」を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

同梱品一覧

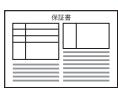
ご使用いただく前に、下記同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック
(SHF31UAA)



保証書

- ・取扱説明書
- ・設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ・卓上ホルダ
- ・microSDメモリカード
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン
- ・microUSB-3.5φ変換ケーブル
- ・microUSBケーブル

・指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

操作説明について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、auホームページより「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

本製品をご利用いただくにあたって

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上の注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れことがありますので、あらかじめご了承ください。

・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)

・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。

・本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。

詳しくは、『取扱説明書 詳細版』の「auのネットワークサービス・海外利用」をご参照ください。

・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のために提供いただく場合がございます。

・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。

・本製品は定期的にデータ通信を行い時刻など本製品の動作に必要な情報を取得します。データ通信料は別途かかります。

・海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止など)に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります。これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあるから、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。そのため、偏光特性を持ったサンガラスをかけてディスプレイを見ると、サンガラスの特性や見る角度によっては暗くなったりゆがんで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもあります。液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

・本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・サブディスプレイに長時間同じ画像を表示させていると残像が発生することがありますが故障ではありません。

・撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショッピングなどで本製品の回収をおこなっております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元:シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。

・航空機内の使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。

・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まつての通話や操作は控えましょう。

・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。

・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。

・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。

・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。

・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ベースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。

・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
操作説明について	ii
本製品をご利用いただくにあたって	ii
マナーも携帯する	ii
目次	1
安全上のご注意	5
本書の表記方法について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
取り扱い上のお願い	11
ご利用いただく各種暗証番号について	12
各種暗証番号について	12
PINコードについて	12
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	13
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
Bluetooth®についてのお願い	14
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い	14
周波数帯について	14
電波障害自主規制について	15
パケット通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
ご利用の準備	17
各部の名称と機能	18
電池パックの取り付け／取り外しかた	19
電池パックを取り付ける	19
電池パックを取り外す	19
au Nano IC Card O4を利用する	20
au Nano IC Card O4について	20
au Nano IC Card O4を取り付ける	20
au Nano IC Card O4を取り外す	20
microSDメモリカードを利用する	21
microSDメモリカードについて	21
microSDメモリカードを取り付ける	21
microSDメモリカードを取り外す	21
充電する	22
充電について	22
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	22
卓上ホルダ(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	22
パソコンを使って充電する	23
電源を入れる／切る	23
基本操作	25
タッチクルーザーEXを利用する	26
タッチクルーザーEXの操作について	26
拡大鏡を利用する	26
待受画面を利用する	27
お気に入りを利用する	27
待受画面の通知アイコン／ショートカットを利用する	27
インフォメーションを利用する	27
ステータスバーを利用する	27
アイコンについて	27
お知らせ／ステータスパネルを利用する	28
サブディスプレイを利用する	28
ノーマルメニューを利用する	29
アプリについて	30
シンプルメニューを利用する	30
起動中アプリ一覧画面を利用する	32
共通の操作を覚える	32
基本的なキー操作を覚えよう	32
チェックボックスを利用する	32
文字入力	33
文字入力の方法を覚える	34
文字入力の方法	35
ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力	35
文字の修正	35
予測変換機能	35
***(ワイルドカード)入力	35
絵文字／D絵文字／記号／顔文字の入力	35
文字入力のサブメニューを利用する	36
文字をコピー／切り取りしてから貼り付ける	36
その他の文字入力サブメニュー	36
文字入力について設定する	36
ユーザー辞書に登録する	36

電話	37
電話をかける	38
電話番号を入力して電話をかける	38
発信メニューを利用する	38
ダイヤル画面のサブメニューを利用する	38
通話中画面のサブメニューを利用する	38
履歴を利用して電話をかける	39
スピードダイヤルで電話をかける	39
かんたん発信(音声認識)で電話をかける	39
ボイスパーティーで電話をかける	40
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	40
電話を受ける	40
電話に出る	40
着信を拒否する	40
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る	40
着信中のサブメニューを利用する	40
自分の電話番号を確認する	40
プロフィールを確認する	40
プロフィールを編集する	40
通話に関する設定をする	41
通話の設定をする	41
伝言メモ／音声メモを再生する	41
着信拒否の設定をする	41
電話帳	43
電話帳に登録する	44
グループを設定する	44
電話帳の一覧を利用する	44
電話帳一覧画面を表示する	44
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニューを利用する	44
電話帳を設定／管理する	44
電話帳の登録内容を利用する	45
メール	47
Eメールを利用する	48
Eメールについて	48
Eメールを確認する	48
Eメールを送る	49
Eメールを送信する	49
Eメールにデータを添付する	50
Eメールを受け取る	50
Eメールを受信する	50
添付データを受信・再生する	50
添付画像を保存する	50
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する	50
新着メールを問い合わせて受信する	51
Eメールを検索する	51
Eメールのメニューを利用する	51
フォルダ一覧画面のメニューを利用する	51
Eメール一覧画面のメニューを利用する	51
Eメール詳細表示画面のメニューを利用する	51
フォルダを利用する	52
フォルダを作成する	52
フォルダを編集する	52
Eメールを設定する	52
Eメール設定をする	52
受信・表示に関する設定をする	53
送信・作成に関する設定をする	53
通知に関する設定をする	53
個別の通知に関する設定をする	53
Eメールアドレスを変更する	53
転送先を設定する	53
Eメールをバックアップ／復元する	54
Eメールをバックアップする	54
メールデータをバックアップする	54
メールデータを復元する	54
迷惑メールフィルターを設定する	54
SMSを利用する	55
SMSについて	55
SMSを送る	55
SMSを受け取る	56
SMSを確認する	56
電話番号／メールアドレス／URLを利用する	56
SMSを返信／転送する	56
SMSを保護／保護解除する	56
SMSの電話番号を電話帳に登録する	56
SMSを検索する	56
SMSを削除する	56
SMSを設定する	56
SMS設定をする	56
受信フィルターを設定する	57

インターネット	59
インターネットに接続する	60
パケット通信を利用する	60
ブラウザを利用する	60
ブラウザメニューを利用する	60
ブラウザ画面の表示／文字サイズの拡大／縮小をする	61
ブラウザ画面のサブメニューを利用する	61
Webページの文字をコピーする	61
タッチクルーザーEXで操作する	61
マルチメディア	63
カメラを利用する	64
カメラをご利用になる前に	64
静止画／動画を撮影する	64
カメラの機能を利用する	65
カメラを設定する	65
カメラの詳細設定をする	66
バーコードリーダーを利用する	66
翻訳ファインダーを利用する	66
データを利用する	67
データフォルダを利用する	67
データを表示／再生する	67
データを移動／コピーする	67
データ保存先の表示を変更する	67
コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する	67
ユーザーフォルダのサブメニューを利用する	67
画像を編集する	68
ワンセグ	69
ワンセグについて	70
テレビの初期設定をする	70
テレビ番組を見る	70
テレビ番組を視聴する	70
テレビ視聴画面のサブメニューを利用する	71
番組表を利用する	71
チャンネルリストを切り替える	71
テレビの設定をする	71
TVリンクを利用する	71
アプリケーション	73
SHSHOWを利用する	74
auナビウォークを利用する	74
au Wi-Fi接続ツールを利用する	74
セルフチェックを利用する	74
au お客さまサポートを利用する	74
リモートサポートを利用する	74
安心アクセス for 4G LTEケータイを利用する	74
auスマートバスを利用する	75
auシェアリンクを利用する	75
データお預かりを利用する	75
モバイルSuicaを利用する	75
ツール	77
モバイルライトを利用する	78
スクリーンショットを撮影する	78
電池の消耗を抑える	78
省エネモード設定を利用する	78
省エネモードの詳細設定をする	78
メモ帳を利用する	79
メモ帳を登録する	79
メモ帳を確認する	79
カレンダーを利用する	79
カレンダーを表示する	79
予定を新規登録する	79
カレンダー画面のサブメニューを利用する	79
アラームを利用する	80
世界時計を利用する	80
ストップウォッチを利用する	80
タイマーを利用する	80
歩数計を利用する	81
歩数の履歴を表示する	81
歩数計画面のサブメニューを利用する	81
電卓で計算する	81
エモバーの設定をする	82
LINEを利用する	82
LISMOを利用する	82
安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには	82
ケータイ探せて安心サービスを利用する	83
mamorino Watch ナビを利用する	83

端末設定	85
設定メニューを表示する	86
壁紙・ディスプレイの設定をする	86
音・バイブの設定をする	86
マナーモードを設定する	86
au IDの設定をする	86
セキュリティの設定をする	87
シークレット設定をする	87
通信・ネットワークの設定をする	87
機内モードを設定する	87
位置情報の設定をする	88
その他の設定をする	88
日付と時刻の設定をする	88
使用する言語や文字入力の設定をする	88
端末情報の設定をする	89
本製品を初期化する	89
ファイル管理	91
本製品の保存領域について	92
ストレージに関する設定をする	92
ストレージの設定をする	92
microSDメモリカードをフォーマットする	92
パソコンと接続する	92
USB接続モードを設定する	92
メモリカードリーダー／ライターとして使う	92
MTPモードでパソコンと接続する	93
データ通信	95
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	96
無線LAN(Wi-Fi [®])機能について	96
無線LAN(Wi-Fi [®])機能を利用する	96
無線LAN(Wi-Fi [®])機能をONにする	96
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	96
アクセスポイントとの接続を切る	96
Wi-Fi [®] 設定画面のサブメニューを利用する	96
アクセスポイントを登録する	97
アクセスポイントを手動で登録する	97
アクセスポイントを自動で登録する	97
Wi-Fi Direct [®] を利用する	97
テザリング機能	97
テザリングについて	97
USBテザリング機能を利用する	97
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	97
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	97
赤外線通信	98
赤外線送受信のご利用にあたって	98
データを1件受信する	98
データを一括して受信する	98
データを1件ずつ送信する	98
データを選んで送信する	98
データを一括して送信する	98
Bluetooth [®] 機能	99
Bluetooth [®] 機能の利用について	99
Bluetooth [®] を利用する	99
Bluetooth [®] を起動する	99
Bluetooth [®] 機器と接続する	99
Bluetooth [®] でデータを送受信する	100
Bluetooth [®] でデータを受信する	100
Bluetooth [®] でデータを送信する	100
おサイフケータイ [®] (FeliCa [®])	100
おサイフケータイ [®] (FeliCa [®])について	100
おサイフケータイ [®] (FeliCa [®])とは	100
おサイフケータイ [®] (FeliCa [®])ご利用にあたって	100
リーダー／ライターとデータをやりとりする	101
他の携帯電話とデータをやりとりする	101
おサイフケータイ [®] (FeliCa [®])を利用する	101
おサイフケータイ [®] 対応サービスを利用する	101
IC通信でデータを送受信する	101
auのネットワークサービス・海外利用	103
auのネットワークサービスを利用する	104
auのネットワークサービスについて	104
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	104
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	104
着信転送サービスについて	104
応答できない電話を転送する(無応答転送)	104
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	104
応答できない電話を転送する(圈外転送)	104
手動で転送する(選択転送)	104
かかるてきたすべての電話を転送する(フル転送)	104
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	104

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	105
発信番号表示サービスについて	105
電話番号を通知する	105
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	105
番号通知リクエストサービスについて	105
番号通知リクエストサービスを開始する	105
番号通知リクエストサービスを停止する	105
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	106
お留守番サービスEXについて	106
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	106
応答できない電話を転送する(無応答転送)	106
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	106
応答できない電話を転送する(圈外転送)	106
手動で転送する(選択転送)	106
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	106
電話をかけてきた方が伝言を録音する	106
ボイスメールを録音する	106
伝言お知らせについて	107
伝言・ボイスメールを聞く	107
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	107
伝言の蓄積停止を解除する	107
応答メッセージの録音／確認／変更をする	107
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	107
英語ガイダンスへ切り替える	107
日本語ガイダンスへ切り替える	107
第三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	108
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	108
割込通話サービスについて	108
割込通話サービスを開始する	108
割込通話サービスを停止する	108
割込通話を受ける	108
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	109
迷惑電話撃退サービスについて	109
撃退する電話番号を登録する	109
登録した電話番号を全件削除する	109
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	109
海外で利用する	109
au世界サービスについて	109
海外でご利用になるときは	109
海外で安心してご利用いただくために	109
海外利用に関する設定を行う	110
ネットワークモードを設定する	110
データローミングを設定する	110
渡航先で電話をかける	110
渡航先で電話を受ける	110
お問い合わせ方法	110
海外からのお問い合わせ	110
日本国内からのお問い合わせ	110
サービスエリアと海外での通話料	111
パケットサービス・メッセージサービスの通信料	111
主な国・地域の国際アクセス番号&国番号一覧	111
海外でのご利用上の注意	112

付録・索引	113
付録	114
周辺機器のご紹介	114
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する	114
故障とお考えになる前に	115
ソフトウェアを更新する	116
アフターサービスについて	116
SIMロック解除について	117
利用できるデータの種類	117
主な仕様	117
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	118
CE Declaration of Conformity	118
FCC Notice	119
輸出管理規制	119
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意	119
「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT	120
知的財産権について	120
索引	123

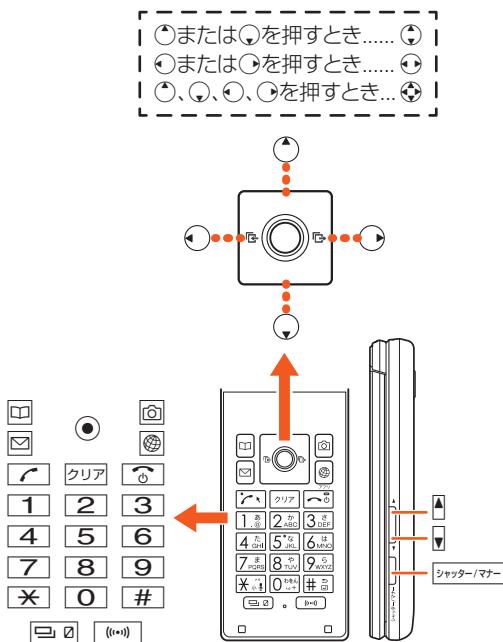
安全上のご注意

本書の表記方法について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
取り扱い上のお願い	11
ご利用いただく各種暗証番号について	12
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	13
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
電波障害自主規制について	15
パケット通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



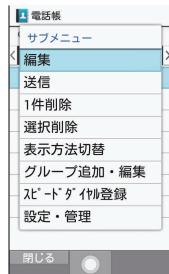
■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書で[]囲みしている箇所は、◎や●でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して◎(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を省略して表記しています。

例：電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で□→編集する連絡先を選択→□(サブメニュー)→
[編集]

「[編集]」を◎で選択して、◎で決定する操作を表しています。



◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.32)をご参考ください。

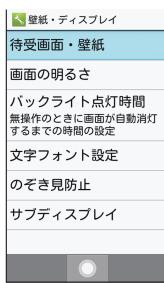
■掲載されている画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部の
アイコン類などは、省略されています。



実際の画面

本書の表記例

- ◎ 本書では本体カラー「ロイヤルグリーン」の表示を例に説明しています。
- ◎ 画面最下行に表示された内容を◎／回／回／回／回を押して実行する場合、回(サブメニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。
※ただし、◎(OK)／◎(選択)／◎(設定)／◎(決定)／◎(確定)の場合は省略して◎のみ表記しています。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人の危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2軽傷：治療に入院や長期の通院を要しない・けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないことを示す記号です。）		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくことを示す記号です。）
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体・電池パック・背面カバー・充電用機器・au Nano IC Card 04・周辺機器共通

！ 危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.13「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.13「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

分解・改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.13「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.13「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

！ 警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでサイフケータイ[®]をご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
(おサイフケータイロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
・電池パックを本製品から取り外す。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

！ 注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵については以下をご参照ください。
▶P.13「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や電池パックや指定の充電用機器（別売）の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触るとお客様の体質や体温によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険

-  火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

-  赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。
-  赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。
-  モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
-  自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
-  点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。
-  本製品内のau Nano IC Card 04トレイスロットやmicroSDメモリカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、au Nano IC Card 04トレイスロットやmicroSDメモリカードスロットの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられことがあります。
-  病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
-  ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。
-  心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
-  医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触ると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

-  ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。
-  モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
-  ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
-  背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。
-  背面カバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。
けがなどの原因となります。
-  背面カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。
-  一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただきか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
-  自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
-  本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.10)をご参照ください。
-  本製品を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
けがなどの原因となります。
-  本製品の受話口(レシーバー)を含む本機上部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。
-  ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

⚠ 危険

-  禁止 金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  禁止 電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  禁止 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  禁止 釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  指示 電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 警告

-  禁止 電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。
-  禁止 异臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  指示 電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
-  指示 ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

-  禁止 電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
-  禁止 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップなど窓口にお持ちいただかず、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
-  禁止 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告

-  禁止 指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。
-  禁止 コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
-  禁止 本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止 卓上ホルダ(別売)を自動車内で使用しないでください。
落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提とします。
-  禁止 濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダ(別売)に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指示 指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
-  禁止 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器(別売)本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止 使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

 禁止 コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au Nano IC Card 04について

⚠ 注意

-  指示 au Nano IC Card 04を取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切削面にご注意ください。
けがなどの原因となります。
-  指示 au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。
手や指を傷付ける可能性があります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

-  指示 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-  指示 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-  指示 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
-  指示 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

■ 本体(SHF33)

使用箇所	材質/表面処理
外装ケース	外装ケース(操作キー・シート部) PET樹脂、UV硬化樹脂 外装ケース(下側キー周囲部) PA樹脂/塗装、ハードコート 外装ケース(下側背面) PC+ABS樹脂/塗装、ハードコート 外装ケース(メインディスプレイ枠部) PA樹脂/塗装、ハードコート 外装ケース(メインディスプレイ背面) アクリル樹脂/ハードコート 外装ケース(メインディスプレイ側・ヒンジ側・先端部) PA樹脂/塗装、ハードコート
メインディスプレイ	アクリル樹脂/ハードコート
サブディスプレイ	アクリル樹脂/印刷、ハードコート
ヒンジ部ストッパー	POM樹脂
ヒンジ部カバー	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
ヒンジ部パネル	アクリル樹脂/印刷、ハードコート
カメラレンズ	アクリル樹脂/ハードコート
カメラレンズ飾り	アルミニウム/アルマイト処理
モバイルライトレンズ	PC樹脂
赤外線ポートカバー	アクリル樹脂
センターキー	UV硬化樹脂
カーソルキー	UV硬化樹脂
キー飾り(カーソルキー、電話帳キーなど)	UV硬化樹脂
電話帳キー	UV硬化樹脂
カメラキー	
メールキー	
ブラウザ/アプリキー	
発信キー	UV硬化樹脂
クリアキー	
電源/終話キー	
ダイヤルキー	
アプリ使用履歴キー	UV硬化樹脂
テザリングキー	
音量UP/DOWNキー	PC樹脂/塗装、ハードコート
シャッター/マナーキー	PC樹脂/塗装、ハードコート
充電端子	SUS/金メッキ
背面カバー	PC樹脂+シリコンゴム/塗装、ハードコート
接続部	銅合金/金メッキ
当り部品	シリコン
au Nano IC Card 04トレイ	POM樹脂
磁性シート	フェライト(主に酸化鉄)/PETフィルム(ポリエチレンレフラート)
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂
外部接続端子(金属部)	SUS+銅合金/錫メッキ、金メッキ
ねじ	SUS
ゴムパッキン	シリコンゴム
背面カバーアクション	発泡ウレタン

■ 電池パック

使用箇所	材質/表面処理
外装	PC樹脂+PET樹脂
接続端子	銅合金/金メッキ

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いもの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水／防塵性能(IPX5、IPX7、IP5X相当)を発揮するために、指定の背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
- ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、電池パックや充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたまままで背面カバーの取り付けや取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
- 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5°C~35°C、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
- 充電用機器
・周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5°C~35°C、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・SHF33本体
 - ・電池パック(SHF33本体装着状態)
 - ・au Nano IC Card 04(SHF33本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(ぬがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分(タッチエリア)を指で触ることでタッチパッドのように操作できますが(タッチクルーザーEX)、以下の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・シールなどを貼っての操作
 - ・水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシール内に表示された「技適マーク金」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく末端機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「技適マーク金」が本製品の銘板シールに表示されております。本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出しが近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えると、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するだけがの原因となることがあります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品の開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがあります、故障ではありません。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 本製品内のau Nano IC Card 04やmicroSDメモリカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ 有機ELディスプレイについて

- 本製品はサブディスプレイ部に有機ELディスプレイを採用しています。有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちる場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたまにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 電池パックについて



(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックをお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライターケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04にシールなどを貼らないでください。
- au Nano IC Card 04に損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するだけの原因となることがあります。
- 大切な撮影などをするとときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
- また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをするとき、肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
- なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ ご利用いただく各種暗証番号について

■ 各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ セキュリティキー(暗証番号／パスワード)

使用例	音声発信制限などの設定／解除やおサイフケータイ®をロックする場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐために、電源を入れたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要素を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要素は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要素は「入力必要」に変更できます。
- 「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らざりでご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。

すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らざりでご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ 本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)IPX5相当^{※1}、IPX7相当^{※2}の防水性能およびIP5X相当^{※3}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、MIL規格準拠^{※4}の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※4 MIL規格準拠

米国国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7: Shock-ProcedureIVに準拠した規格において、高さ1.22mから合板(ラワン材)に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※すべての衝撃に対して保護するものではございません。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は扱われる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

・プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

・弱めの水流(6リットル／分以下)で常温(5°C～35°C)の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

・背面カバーを確実に取り付けてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ(髪の毛、砂粒、微細な繊維など)が挟まるなど、液体や粉塵が入る原因となります。

・背面カバーを取り外している状態で水などの液体がかかった場合、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

・本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

・手や本製品が濡れているときには、背面カバーの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。

・常温(5°C～35°C)の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。

・外部接続端子は、濡れていったり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、火災、やけど、故障の原因となります。

■ 本製品の防塵性能について

・本製品の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。

・塵埃が本製品に付着したときには、ただちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■ 使用時のご注意

・水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。

・かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。

・万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。

・乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。

・砂や泥がきれいに洗い流せない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。

・湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)

・本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル／分を超える)を当てるたり、水中に沈めたりしないでください。

・急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。

・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てるたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

・受話口、送話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。

・本製品は水に浮きません。

・強い雨の中では使用しないでください。

・濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。

・砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

・背面カバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。・お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。

■ 防水／防塵性能を維持するため

■ ゴムパッキンについて

背面カバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

・はがしたり、傷付けたりしないでください。

・背面カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、背面カバーの隙間や外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込むないでください。

・ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。

・防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

・本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。

・本製品または充電用機器(別売)に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

本製品は防水／防塵性能を有してますが、充電用機器(別売)は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。

・濡れた手で卓上ホルダ(別売)や指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。

・電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル／分以下)で常温(5°C～35°C)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。

背面カバーに隙間が開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

・背面カバーがきちんと取り付けられていることを確認してから、洗ってください。

・洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

・外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になると、故障の原因となります。

・外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、火災・やけど・故障の原因となります。

・乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。

・乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

■ 水抜きのしかた

水に濡れた後は、必ず外部接続端子部、受話口(レシーバー部)、送話口(マイク部)、スピーカー部、キー部、ヒンジ部(つなぎめ)、空気抜き穴などの水抜きをしてください。

① 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

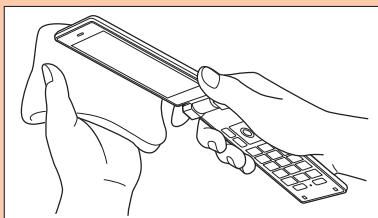
② 本製品のヒンジ部(つなぎめ)をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかりと握って振ってください。



③ 各部の隙間にに入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



④ 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したまま使用しないでください。

- ・通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- ・外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- ・寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

■ Bluetooth®についてのお願い

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することがあります。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ 周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能で使用している周波数帯は、電池パックを取り外した下のシールに記載されています。

- ・Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- ・無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1~13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。

■ 2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行いうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへの加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのダウンロードについてはau IDを設定のうえ、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については『設定ガイド』をご参照ください。
本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』『設定ガイド』『取扱説明書 詳細版』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

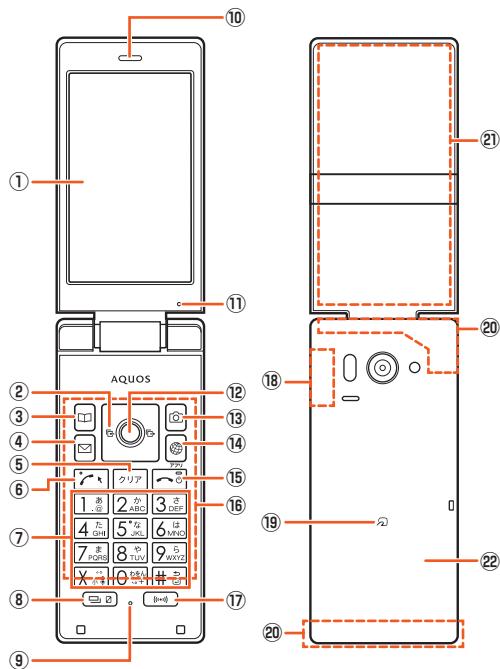
本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しております。適合マークは、電池パックを取り外した下の銘板シールに記載されています。

ご利用の準備

各部の名称と機能	18
電池パックの取り付け／取り外しかた.....	19
au Nano IC Card 04を利用する	20
microSDメモリカードを利用する.....	21
充電する.....	22
電源を入れる／切る	23

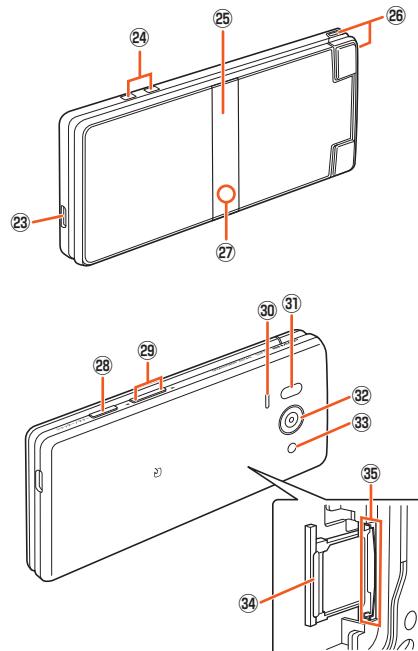
各部の名称と機能

■ 前面／背面



- ① メインディスプレイ
- ② ◎カーソルキー
- ◎左キー／着信履歴
- ◎右キー／発信履歴
- ◎上キー
- ◎下キー
- ③ □電話帳キー
- ④ □メールキー
- ⑤ クリアキー
- ⑥ □発信キー
- ⑦ □○～□□、□＊、□＃ダイヤルキー
- ⑧ □□アプリ使用履歴キー
- 起動中アプリ一覧画面を表示します。(▶P.32)
また、長押しすると、のぞき見防止を設定／解除できます。
- ⑨ 送話口(マイク)
- 通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。
- ⑩ 受話口(レシーバー)
- 通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ⑪ 空気抜き穴
- 性能を保つための穴です。
- ⑫ ◎センターキー
- ⑬ □カメラキー
- ⑭ □ブラウザ／アプリキー
- ブラウザメニューを表示します。また、長押しするとアプリ一覧を表示します。
- ⑮ □電源／終話キー
- 操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源メニューを表示させて電源を切る／再起動などの操作ができます。
- ⑯ タッチエリア(タッチクルーザーEX)
- 本製品のタッチエリアを指で触ることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.26)
- ⑰ □□テザリングキー
- ⑱ Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ
- ⑲ マーク
- おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
- ⑳ 内蔵アンテナ
- 通話時、インターネット利用時、4G(LTE)利用時に使用します。
- ㉑ テレビアンテナ
- テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナを内蔵しています。
- ㉒ 背面カバー

■ 折りたたみ時(前面／背面／側面)



㉟ 外部接続端子

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

㉟ 充電端子

卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。

㉟ サブディスプレイ

着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉟ ストラップ取付部

㉟ 充電／着信ランプ

充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。

着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

㉟ [シャッター/マナーキー]

㉟ 音量UP/DOWNキー

音量を調節します。

本製品が閉じているときに□を長押しすると、モバイルライトが点灯します。

㉟ スピーカー

着信音やアラーム音などが聞こえます。

㉟ 赤外線ポート

赤外線通信で、データの送受信を行います。

㉟ カメラ(レンズ部)

㉟ モバイルライト

㉟ au Nano IC Card 04トレイ／スロット

㉟ microSDカードスロット

内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ、テレビアンテナについて

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、空気抜き穴について

◎ 受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

IMEIについて

◎ IMEI(端末識別番号)は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールで本製品のIMEIを確認できます。

◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報ですので、IMEIの印刷されたシールは、はがさないでください。

電池パックの取り付け／取り外しかた

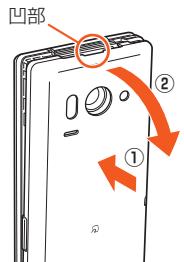
本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 背面カバーを取り外す

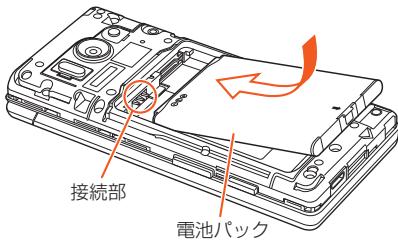
背面カバーの中央部を押さえながら(①)凹部に指先(爪など)をかけ、矢印の方向(②)に引いて背面カバーを取り外します。

取り外しにくい場合は本体と背面カバーの隙間に指先などをかけて背面カバーを持ち上げ、隙間を広げてから取り外してください。



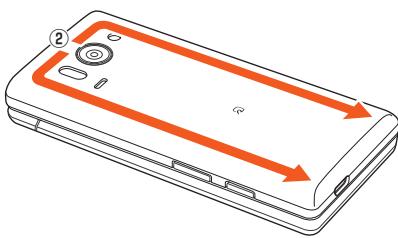
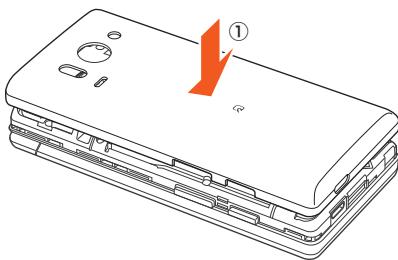
2 電池パックを取り付ける

本体の接続部の位置を確かめて、電池パックを矢印の方向へ確実に押し込みます。



3 背面カバーを取り付ける

背面カバーを本体に合わせて置き(①)、矢印の方向(②)に指でしっかりと押さえて装着します。



- ◎ au Nano IC Card 04トレイが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- ◎ 防水／防塵性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。
- ◎ 間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

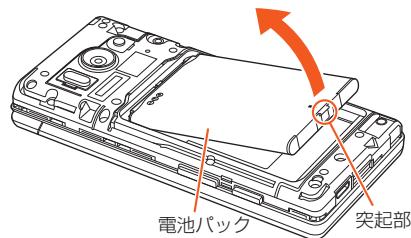
電池パックを取り外す

電池パックの取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

電池パックの突起部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



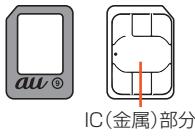
3 背面カバーを取り付ける

au Nano IC Card 04を利用する

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04



IC(金属)部分

- ◎ au Nano IC Card 04を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことご注意ください。
 - ・au Nano IC Card 04のIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au Nano IC Card 04を正しく取り付けていない場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04を挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ au Nano IC Card 04着脱時は、必ず共通ACアダプタ05(別売)などのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができます。

- ・電話をかける*/受ける
 - ・SMSの送受信
 - ・Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
 - ・SIMカードロック設定
 - ・本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- ※ 110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への緊急通報や157(お客さまセンター)への発信もできません。ただし、GSM／UMTS／LTEローミング中で電波の強さが弱い(圏外)以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。
- また、au Nano IC Card 04以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
- 上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

PINコードによる制限設定

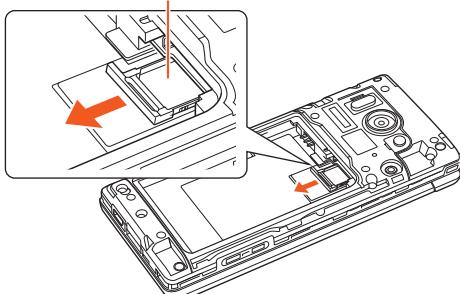
au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。詳しくは、「SIMカードロック設定」(▶P.87)をご参照ください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

au Nano IC Card 04の取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックとmicroSDメモリカードを取り外してから行います。

1 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す

au Nano IC Card 04トレイ



2 au Nano IC Card 04トレイにau Nano IC Card 04を装着する

au Nano IC Card 04とau Nano IC Card 04トレイの切り欠き方向に注意して、ゆっくりと装着してください。

IC(金属)部分を上に

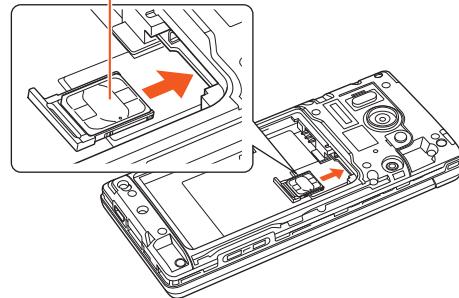


au Nano IC Card 04トレイ

3 au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込むと、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。

au Nano IC Card 04



4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

au Nano IC Card 04トレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。

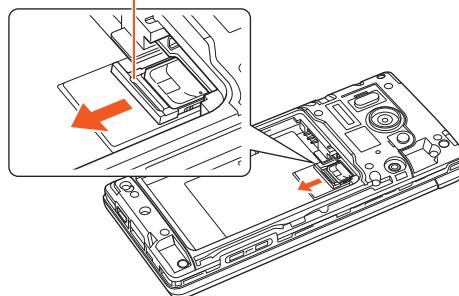
取り外したau Nano IC Card 04トレイは紛失・破損しないようにご注意ください。

au Nano IC Card 04を取り外す

au Nano IC Card 04の取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックとmicroSDメモリカードを取り外してから行います。

1 au Nano IC Card 04トレイに指をかけ、まっすぐにゆっくりと引き出す

au Nano IC Card 04トレイ

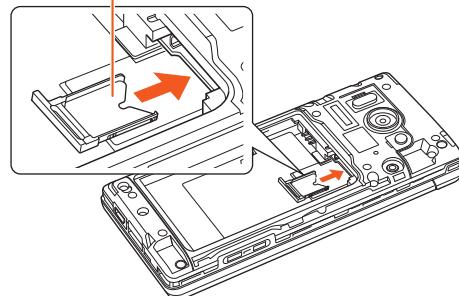


2 au Nano IC Card 04トレイからau Nano IC Card 04を取り外す

3 au Nano IC Card 04トレイをau Nano IC Card 04トレイスロットにゆっくり差し込む

au Nano IC Card 04トレイスロットの位置をよく確認し、au Nano IC Card 04トレイの向きに注意して、矢印の方向に奥まで差し込んでください。無理に差し込むと、au Nano IC Card 04トレイが破損する場合があります。

au Nano IC Card 04トレイ



4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品に取り付けて、データを保存／移動／コピーできます。

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.92)をご参照ください。
- ◎ microSDメモリカード内のデータを再生／表示する場合は、データフォルダを利用してください。データフォルダについて詳しくは、「データを表示／再生する」(▶P.67)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えるとデータが壊れることがあります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいか、auホームページをご参照ください。

■ microSDメモリカードを取り付ける

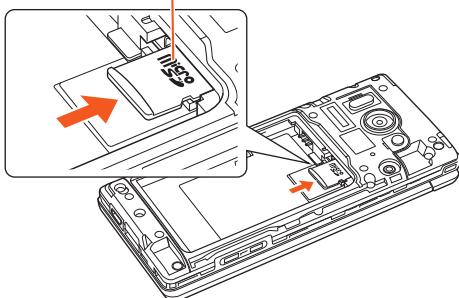
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

挿入方向を確認し、カチッと音がしてロックされるまで矢印の方向に差し込んでください。

また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

microSDロゴのある面を上に



2 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

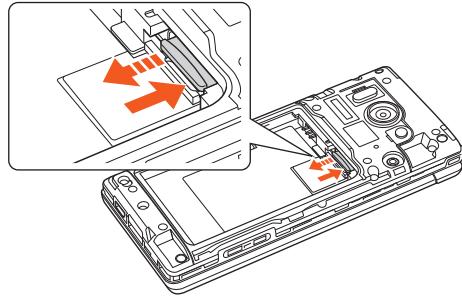
- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

■ microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



2 microSDメモリカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く

3 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

充電について

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

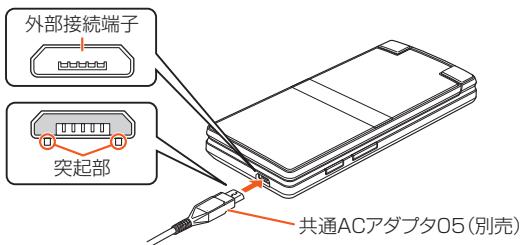
・充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに△が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

- ◎ 充電中、本製品が温くなることがあります異常ではありません。
- ◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け(▶P.19)、接続などが正しいかご確認ください。
それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、画面が表示されても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)について詳しくは、「周辺機器のご紹介」(▶P.114)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

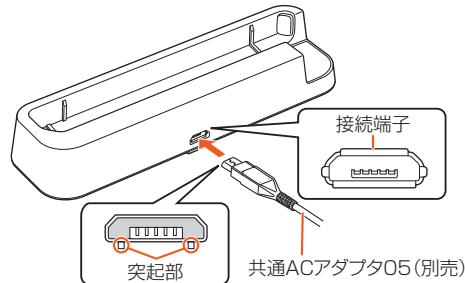
- ◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

卓上ホルダ(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

卓上ホルダ(別売)と共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.114)をご参照ください。

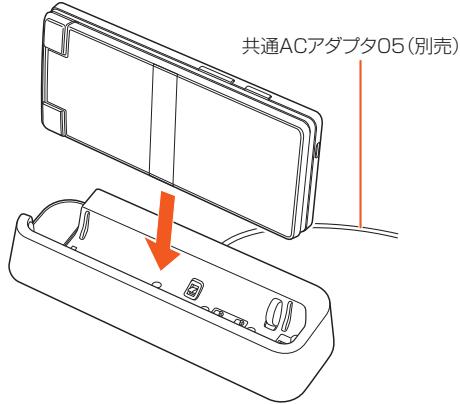
1 卓上ホルダ(別売)の接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向に差し込んでください。

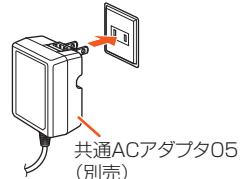


2 本製品を卓上ホルダ(別売)に取り付ける

本製品を開じて図のように取り付けてください。



3 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



4 充電が終わったら、本製品を卓上ホルダ(別売)から取り外し、共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

卓上ホルダ(別売)から本製品を取り外すときは、卓上ホルダ(別売)を押さえながら外してください。

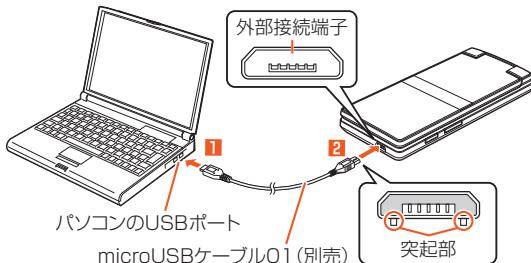
卓上ホルダ(別売)から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを取り外すときは、まっすぐ引き抜きます。

- ◎ 卓上ホルダ(別売)をご利用の際は、必ず指定の充電用機器(別売)を接続してください。パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものを卓上ホルダ(別売)に直接接続すると故障の原因になりますので、接続しないでください。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- ① パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続
- ② microUSBケーブル01(別売)を本製品に接続



- ◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。
- ◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

- ① 電源が切れた状態で[④](2秒以上長押し)

■ 電源を切る

- ① [④](2秒以上長押し)

② [電源を切る]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

- ① [④](2秒以上長押し)

② [再起動]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

- ① [④](8秒以上長押し)

バイブレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。

本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

- ① [④](2秒以上長押し)

② 「電源を切る」を選択→④(長押し)→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- ◎ 電源が切れているときは、[④](2秒以上長押し)で電源を入れ、AQUOSロゴが表示されてから待受画面が表示されるまで④を押し続けると、セーフモードで起動することができます。

- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。

- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

基本操作

タッチクルーザーEXを利用する	26
拡大鏡を利用する	26
待受画面を利用する	27
ステータスバーを利用する	27
サブディスプレイを利用する	28
ノーマルメニューを利用する	29
シンプルメニューを利用する	30
起動中アプリ一覧画面を利用する	32
共通の操作を覚える	32

タッチクルーザーEXを利用する

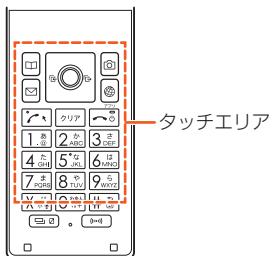
本製品のタッチエリアを指で触ることでタッチパッドのように操作できます（タッチクルーザーEX）。タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になり、画面に表示されるポインタを操作できるようになります。

1 タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動

- タッチクルーザーEXが有効になり「▶」（ポインタ）が表示されます。
- タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、●を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れて●を押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。
- を長押しするごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えられます。タッチクルーザーEXを無効にしたまま機能／アプリを終了すると、再度タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動してもタッチクルーザーEXは有効なりません。
- タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを終了するとタッチクルーザーEXは無効になります。
- タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です（一部のアプリを除く）。

2 タッチクルーザーEXの操作について

ブラウザやLINEなどを操作するときに画面上のポインタをマウスのように操作できます。



■ タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

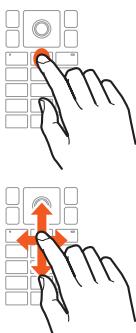
- ポインタが重なっている項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。



■ ロングタップ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保持します。「▶」の表示が「◆」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「▶」に戻ります。

- メニューの表示などを行います。



■ スライド

タッチエリアをロングタッチして「▶」を「◆」にします。

タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。

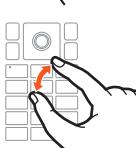


■ フリック

タッチエリアをロングタッチして「▶」を「◆」にします。

タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。

- 目的の方向へはらって画面のすばやいスクロールやページの切り替えなどを行います。



■ ピンチ

2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- ブラウザなどで画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。

■ 自動スクロール

「▶」を画面端まで移動させた状態で、さらに外側方向へ指をなぞる（スライド）と、自動で画面がスクロールし、指を離すとスクロールが止まります。自動スクロール中に画面のスクロール方向に指をなぞる（スライド）と、スクロールが速くなります。



- タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたまでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたまでの操作
 - シールなどを貼っての操作
 - 水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

3 拡大鏡を利用する

画面の一部を大きく表示することができます。

1 各アプリケーションの画面で[ショッターマナー]→タッチエリア部分を指でなぞって拡大鏡を移動

- 拡大鏡の操作説明画面が表示された場合は、●を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れて●を押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。

2 拡大鏡を終了する

1 拡大鏡利用中に[ショッターマナー]

- 待受画面や一部のアプリケーションでは利用できません。

■お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードを設定している場合は、モードの変更や伝言メモの確認ができます。

① 待受画面で①→ステータスバーを選択→②

② お知らせを選択→③

お知らせ内容に対応するアプリケーションが起動されます。

■お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせ／ステータスパネル》

① ミュージックコントローラ

LISMOで音楽再生時に表示されます。停止操作のみ行えます。

② お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。

■お知らせを操作する

① お知らせ／ステータスパネル画面で操作したいお知らせを選択→②(操作)

お知らせの内容にあった操作項目が表示されます。

② 操作項目を選択→③

お知らせに対応したアプリケーションを起動したりできます。

■お知らせを1件削除する

① お知らせ／ステータスパネル画面で削除したいお知らせを選択→②(サブメニュー)→[通知1件消去]

■お知らせを全件削除する

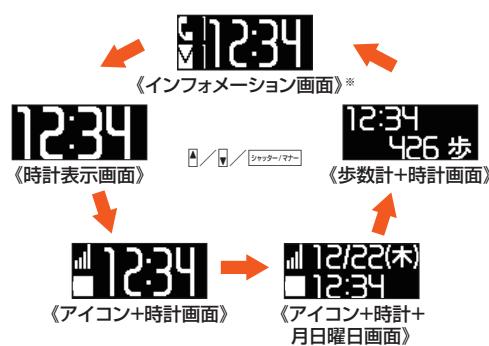
① お知らせ／ステータスパネル画面で②(サブメニュー)→[通知全件消去]

・電池残量表示や電波強度表示など、削除ができない通知もあります。

■サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。
▲/▼/シャッター/マークを押すと表示の切り替えができます。

■サブディスプレイの見かた



* 不在着信や新着メールなどの通知がある場合に表示されます。

■主なアイコン

アイコン	概要
■■■■■X	電波の強さ(受信電界) ■強/■中/■弱/■微弱/X窓外 ※機内モード設定時には表示されません。
□～□	電池レベル表示 □～□:残量表示 □:残量なし ・充電中は電池マークに△が重なって表示されます。
■	不在着信 ・着信件数が表示されます。
■	新着メール(Eメール/SMS) ・新着件数が表示されます。
■	伝言メモ設定中 ・未確認の伝言メモ件数が表示されます。
■	アラーム鳴動中
■	機内モード設定中

■各種情報表示

状態	表示
音声 着信中	着信相手を表示する (電話帳登録あり)
	着信相手を表示する (電話帳登録なし)
	着信相手を表示しない
	伝言メモ 応答中:「伝言メモガイダンス中」 録音中:「伝言メモ録音中」
通話中	通話中
	音声メモ
	音量変更
メール 受信中	着信相手を表示する (電話帳登録あり)
	着信相手を表示する (電話帳登録なし)
	着信相手を表示しない
SMS 受信中	着信相手を表示する (電話帳登録あり)
	着信相手を表示する (電話帳登録なし)
	着信相手を表示しない
アラーム	アラーム鳴動時
	スヌーズ作動中
緊急速報	「緊急速報」
マナー モード	設定時:通常マナー
	設定時:ドライブマナー
	設定時:サイレントマナー
	解除時:通常マナー
	解除時:ドライブマナー
	解除時:サイレントマナー
ミュージック再生中	音量変更
LINEアプリ通知中	LINEアプリから通知されるメッセージが表示されます。
エモバーおしゃべり中	エモバーが話した内容に関するキーワードなどが表示されます。

ノーマルメニューを利用する

ノーマルメニューでは、アプリケーションがメニューごとに表示されます。メニューを選択してから項目を選択すると、アプリケーションを起動できます。

1 待受画面で◎

ノーマルメニューが表示されます。

2 メニューを選択→◎

メニューはダイヤルキー([0]～[9]、[※]、[#])に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

3 アプリケーションを選択→◎

■ ノーマルメニューの見かた



《ノーマルメニュー》

■ ノーマルメニュー一覧

メニュー	概要
auスマートバス	auスマートバスは、最新ニュースや占い、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼントなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけるサービスです。(▶P.75)
安心 安全	
au お客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。au電話の契約内容や日々の利用状況などを簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。
au 災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauスマートバスのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行ツールとしてもご利用できます。(▶P.75)
リモートサポート	携帯電話の操作で困ったとき、お客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.74)
安心アクセス for 4G LTEケータイ	お子さまが携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.74)
どこから電話 for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ハローページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示せたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
au WALLET	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、携帯電話に最適化した画面でご利用いただけます。
カメラ	
フォト	静止画を撮影できます。(▶P.64)
ムービー	動画を撮影できます。(▶P.65)
バーコードリーダー	バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。(▶P.66)
翻訳ファインダー	カメラをかざすだけで英語を日本語へリアルタイムに翻訳できます。(▶P.66)
データフォルダ	撮影した静止画／動画、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.60)

メニュー	概要
アプリサービス	
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。(▶P.82)
LISMO Store	たくさんの最新曲や人気曲、アルバム、ビデオクリップが揃い、試聴を楽しめ、かんたんに購入できるアプリです。
au WALLET Market	日々の生活に役立つ“ちょっといいもの”を、誰でも気軽に貰える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。
ウイルスバスター for au	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
うたバス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など2,000以上のチャンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
au ショッピングモール	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
auナビウォーカー	乗物・歩道を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
モバオク	オークションサイト「モバオク」に接続します。
モバイルSuica	モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れる、買いたいものができるサービスです。(▶P.75)
楽天Edyアプリ	電子マネー「楽天Edy」のサービスを利用できます。
SHSHOW	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。(▶P.74)
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。(▶P.80)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.79)
メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.79)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.81)
歩数計	歩数計を利用できます。(▶P.81)
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.98)
エモバー	エモバーを利用できます。(▶P.82)
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.100)
TV(ワンセグ)	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見るることができます。(▶P.70)
タイマー	タイマーを利用できます。(▶P.80)
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。(▶P.80)
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。(▶P.74)
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、携帯電話をタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。(▶P.75)
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
世界時計	世界時計を利用できます。(▶P.80)
安心ナビ	お子さまの居場所を確認できるようにするためのアプリです。保護者の方の端末からパートナー登録を行うことでご利用いただけます。
mamorino Watch ナビ	mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信;mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。(▶P.83)
タッチクルーザーEX 操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.26)
ウェイジェットシート	ウェイジェットを貼り付けて利用できます。
OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。対象ファイルを閲覧したいときに、手軽に利用することができます。
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.82)

メニュー		概要
電話 メール		
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.39)	
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.43)	
音声・伝言メモ	音声・伝言メモを再生します。(▶P.41)	
お留守番サービス再生	伝言・ボイスメールを再生します。(▶P.106)	
通話設定	通話に関する設定をします。(▶P.41)	
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.39)	
かんたん発信(音声認識)	かんたん発信(音声認識)の設定ができます。(▶P.39)	
ボイスパーティー	最大30人で同時に通話ができます。(▶P.40)	
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.48)	
SMS	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.55)	
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.40)	
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.85)	

※ 追加でダウンロードしたアプリは「アプリ取り放題」(▶P.30)に表示されます。

- ◎ アプリケーションを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

■ アプリについて

「アプリ」では本製品をお買い上げ時にインストール済みのアプリと追加でダウンロードしたアプリケーションを使用できます。

- ① 待受画面で◎→[アプリ サービス]**
アプリ サービス一覧画面が表示されます。

■ タブを切り替える

- ① アプリ一覧画面で◎**
「プリセット」「アプリ取り放題」タブが切り替わります。

■ アプリを検索する

- ① アプリ一覧画面で◎(アプリ検索)**
auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、ダウンロードしてください。

■ シンプルメニューを利用する

電話やメール、カメラなどよく使う機能をまとめたメニューを利用できます。

- ① ノーマルメニューで◎(シンプル)→[はい]→[はい]**
シンプルメニューに切り替わります。文字サイズが「最大」になります。
- ② メニューを選択→◎**
- ③ アプリケーションを選択→◎**
- ノーマルメニューに戻す**
- ① シンプルメニューで◎(ノーマル)→[はい]→[はい]**
ノーマルメニューに切り替わります。文字サイズが「中」になります。

■ シンプルメニューの見かた



■ シンプルメニュー一覧

メニュー	概要
電話	
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.43)
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.39)
音声・伝言メモ	音声・伝言メモを再生します。(▶P.41)
お留守番サービス再生	お留守番サービスを再生します。(▶P.106)
自分の電話番号	自分の電話番号などを表示します。(▶P.40)
メール	
Eメールの作成	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送信ができます。(▶P.49)
Eメール	受信したEメールを確認できます。(▶P.48)
SMSの作成	電話番号を宛先としてSMSの送信ができます。(▶P.55)
SMS	受信したSMSを確認できます。(▶P.56)
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.60)
カメラ	
写真を撮る	静止画を撮影できます。(▶P.64)
写真を見る	撮影した静止画を確認できます。(▶P.67)

メニュー	概要
便利ツール	
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.82)
アラーム	アラームを利用できます。(▶P.80)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.79)
メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.79)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.81)
歩数計	歩数計を利用できます。(▶P.81)
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.98)
エモバー	エモバーを利用できます。(▶P.82)
バーコードリーダー	バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。(▶P.66)
TV(ワンセグ)	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。(▶P.70)
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi [®])親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。(▶P.74)
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、携帯電話をタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。(▶P.75)
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
安心ナビ	お子さまの居場所を確認できるようにするためのアプリです。保護者の方の端末からパートナー登録を行うことでご利用いただけます。
mamorino Watch ナビ	mamorino WatchとBluetooth [®] で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。(▶P.83)
タッチクルーザーEX 操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.26)
OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word/Excel/PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。対象ファイルを開覧したいときに、手軽に利用することができます。
au お客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。au電話の契約内容や日々の利用状況などを簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。
au 災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauスマートバスのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。(▶P.75)
リモートサポート	携帯電話の操作で困ったとき、お客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.74)
安心アクセス for 4G LTEケータイ	お子さまが携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.74)
どこから電話 for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ハローページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
auスマートバス	auスマートバスは、最新ニュースや占い、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼントなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけるサービスです。(▶P.75)
au WALLET	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、携帯電話に最適化した画面でご利用いただけます。

メニュー	概要
アプリ	
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。(▶P.82)
LISMO Store	たくさんの最新曲や人気曲、アルバム、ビデオクリップが揃い、試聴を楽しめ、かんたんに購入できるアプリです。
au WALLET Market	日々の生活に役立つ"ちょっといいもの"を、誰でも気軽に貰える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。
ウイルスバスター for au	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
うたバス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など2,000以上のチャンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
au ショッピングモール	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
auナビウォーカー	乗物・歩道を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
モバオク	オークションサイト「モバオク」に接続します。
モバイルSuica	モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れる、買い物ができるサービスです。(▶P.75)
楽天Edyアプリ	電子マネー「楽天Edy」のサービスを利用できます。
SHSHOW	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。(▶P.74)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.85)

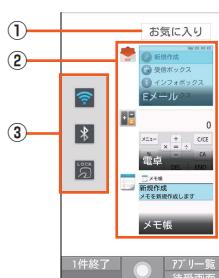
起動中アプリ一覧画面を利用する

起動中のアプリを表示し、アプリを切り替えながら操作できます。



起動中アプリ一覧画面が表示されます。

■ 起動中アプリ一覧画面の見かた



《起動中アプリ一覧画面》

① お気に入り

選択して○を押すと、お気に入り一覧画面(▶P.27)を表示します。

② 起動中のアプリ

③ Wi-Fi®/Bluetooth®/おサイフケータイ ロックアイコン

□:Wi-Fi®がON

□:Wi-Fi®がOFF

□:Bluetooth®がON

□:Bluetooth®がOFF

□:おサイフケータイ ロックがON

□:おサイフケータイ ロックがOFF

- ◎ 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- ◎ バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなったりする場合があります。
- ◎ □(アプリ一覧)を押すと、アプリ一覧が表示されます。□を押すと、待受画面が表示されます。

■ 起動中のアプリケーションを切り替える

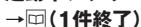
① 起動中アプリ一覧画面で切り替えるアプリケーションを選択



・「お気に入り」を選択するとお気に入りに登録したアプリケーションを起動できます。(▶P.27)

■ 起動中のアプリケーションを終了する

① 起動中アプリ一覧画面で終了するアプリケーションを選択



→□(1件終了)

■ Wi-Fi®/Bluetooth®/おサイフケータイ ロック機能のON/OFFを切り替える

① 起動中アプリ一覧画面でWi-Fi®/Bluetooth®/おサイフ

ケータイ ロックアイコンを選択→○

○を押すたびにON/OFFが切り替わります。

共通の操作を覚える

■ 基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の最下行に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



①「完了」は、●を押します。

②「サブメニュー」は、□を押します。

③「あA1」は、□を押します。

④「絵・記・顔」は、□を押します。

⑤「範囲選択」は、□を押します。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、④や⑤で項目を選択して○を押します。メニューに[①]～[⑨]、[⓪]、[#]などが表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

・○を押しても、項目を選択できる場合があります。

■ 1つ前の画面に戻るには

□を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

・○/□/回を押しても、戻ることができる場合があります。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、□を押します。

・一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。

・通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れることができます。

・操作中の機能やアプリケーションが終了します。

■ 数字を入力するには

[①]～[⑨]を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、⑤を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、□を押すと次のデータへ、□を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、□を押すと上に、□を押すと下にページスクロールできます。

■ チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定の有効／無効を切り替えることができます。また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	設定が有効／項目が選択されている状態です。
<input type="checkbox"/>	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

文字入力の方法を覚える	34
文字入力の方法	35
文字入力のサブメニューを利用する	36
文字入力について設定する	36

文字入力の方法を覚える

■文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
①	▶あいうえおあいうえお	▶.@/_—:~1】	1
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶アイウエオアイウエオ	▶@/_-~1】	1
②	▶かきくけこ】	▶a b c A B C 2】	2
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶カキクケコ】	▶abcABC2】*	2
③	▶さしすせそ】	▶d e f D E F 3】	3
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶サシスセソ】	▶defDEF3】*	3
④	▶たちつてとつ】	▶g h i G H I 4】	4
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶タチツテトツ】	▶ghiGHI4】*	4
⑤	▶なにぬねの】	▶j k l J K L 5】	5
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ナニヌネノ】	▶jklJKL5】*	5
⑥	▶はひふへほ】	▶m n o M N O 6】	6
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ハヒフヘホ】	▶mmoMNO6】*	6
⑦	▶まみむめも】	▶p q r s P Q R S 7】	7
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶マミムメモ】	▶pqrsPQRS7】*	7
⑧	▶やゆよやゆよ】	▶t u v T U V 8】	8
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ヤユヨヤユヨ】	▶tvuTUV8】*	8
⑨	▶らりるれろ】	▶w x y z W X Y Z 9】	9
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ラリルレロ】	▶wxyzWXYZ9】*	9
⑩	▶わをんわー～。？！・空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	▶0- 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	0
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶全角 フランワ ～～】	▶0- 空白(ｽﾍﾟｰｽ)!# \$%&'()*+.,/:; <=>?@[¥]^_{}_-】	0

* 行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) ゛(濁点)や゜(半濁点)を付加(可能な文字のみ)	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 全角	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 全角	短押し... (小数点)	*
	▶。 ? ! · 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	▶。 ? ! · 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	▶。 ? ! · 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】		
	半角	半角	半角		
	▶..?!-&()＼ 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	▶..?!-&()＼ 空白(ｽﾍﾟｰｽ)】	長押し...直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付け		
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能)	文字入力中ではない場合は、改行	改行		#
回	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	サブメニューから機能引用、定型文などの呼び出し	全角／半角記号一覧の切り替え			
	顔文字編集画面を表示(顔文字一覧画面で履歴以外のカテゴリを表示中の場合のみ)	顔文字			-
	通常変換時、文節範囲縮小(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ)	通常変換時、文節範囲縮小			
	範囲選択のキャンセル				
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	絵文字→D絵文字→全角記号(半角記号)→顔文字の一覧を表示	(D絵文字はEメール本文入力時のみ)			
回	予測変換候補と通常変換候補の切り替え(予測変換を「ON」に設定時、文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ)	通常変換時、文節範囲拡大(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ)			-
	選択範囲の全選択(範囲選択中の場合のみ)				
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	文字種の切り替え	カナ英数変換(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ)			
回	文字種を「漢字」に変更(文字種が「漢字」「英字(半角)」「数字(半角)」以外の場合のみ)	文字種(半角)以外の場合のみ			-
	ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)	ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)			
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	範囲選択を開始	範囲選択を開始			
回	ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)	ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)			-
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	文字を確定直前の状態に戻す	削除した文字の復帰(連続5回分まで)			
回	学習した変換候補を削除／ブラウザで変換候補を検索／他のアプリで変換候補を検索して引用(文字種が「漢字」および「英字(大/小、半角)」で変換候補選択中の場合のみ)	学習した変換候補を削除／ブラウザで変換候補を検索／他のアプリで変換候補を検索して引用(文字種が「漢字」および「英字(大/小、半角)」で変換候補選択中の場合のみ)			-
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの左移動	文字を確定直前の状態に戻す			
○	変換候補の選択	削除した文字の復帰(連続5回分まで)			
	予測変換時、文節範囲縮小	学習した変換候補を削除／ブラウザで変換候補を検索／他のアプリで変換候補を検索して引用(文字種が「漢字」および「英字(大/小、半角)」で変換候補選択中の場合のみ)			
	***(ワイルドカード)入力の「*」を1文字削除	***(ワイルドカード)入力の「*」を1文字削除			
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの右移動	カーソルの右移動			
○	変換候補の選択	変換候補の選択			
	予測変換時、文節範囲拡大	予測変換時、文節範囲拡大			
○	未確定文字入力中に***(ワイルドカード)入力の「*」を1文字入力(文字種が「漢字」および「英字(大/小、半角)」で予測変換を「ON」に設定している場合のみ)	未確定文字入力中に***(ワイルドカード)入力の「*」を1文字入力(文字種が「漢字」および「英字(大/小、半角)」で予測変換を「ON」に設定している場合のみ)			-
	カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力	カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力			
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの上移動	カーソルの上移動			
○	変換候補の選択	変換候補の選択			-
	カーソルの下移動	カーソルの下移動			
○	変換候補の選択	カーソルが文末にある場合は、改行			-
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	短押し...カーソル右側の文字を1文字削除	短押し...カーソル右側の文字を1文字削除			
クリア	カーソル右側に文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除	カーソル右側に文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除			
	変換の中止(文字入力画面に戻る)	変換の中止(文字入力画面に戻る)			
	長押し...カーソル右側の文字をすべて削除	長押し...カーソル右側の文字をすべて削除			
	カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除	カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除			

◎ 文字入力時は待受画面で●→[設定]→[その他]→[ソフトキーボード]の「キーボードと入力方法」で「S-Shoin」が選択されていることをご確認ください。Androidキーボード(AOSP)は日本語入力に対応しておらず、文字が入力できないことがあります。

文字入力の方法

選択している文字種のアイコンが表示されます。



《メモ帳入力画面》

- 選択できる文字種は、入力画面によって異なります。
- 「自動カーソル移動」(▶P.36)を「OFF」に設定している場合、「あい」などのように同じキーで続けて文字を入力するには、最初の文字を入力し、③でカーソルを移動してから次の文字を入力します。
- 他機種やパソコンから、Eメールや赤外線通信、ケーブル接続で受信したテキストデータの場合、本製品にない文字（一部の漢字など）があると、その箇所が空白（スペース）など別の文字に置き換えられます。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力

カタカナ／英数字の入力について

ひらがなを入力して②（カナ英数）を押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「漢字」のまま英数字・カタカナや月日、時間などを入力するときに便利です。

例：「かきく」を入力して②（カナ英数）を押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

変換機能について

「予測変換」(▶P.36)を有効に設定している場合は、ひらがな／半角英字の入力時に予測変換候補が表示されます。変換候補選択中に②（変換／予測）を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。「予測変換」を無効に設定している場合は、ひらがなの入力時に②（変換）を押すと通常変換候補が表示されます。

【ワカ】：確定する前に押すと、変換を解除します。

文字の修正

バック機能について

文字入力時にキーを押しすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、②を押すと前の文字に戻すことができます。

例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、②を押すと、「き」に戻ります。

戻す機能について

②を押すと、直前の確定を解除できます。

文字を削除した後では、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

予測変換機能

「予測変換」(▶P.36)を有効に設定すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。(半角英字入力時にも同様に変換できます。)また、入力中の文章の流れによって変換候補を予測し、優先して予測変換候補に表示する「AI予測」や、連続して入力した言葉を組み合わせ1つの複合語として学習し、次から予測変換候補に表示する「複合語予測学習機能」に対応しています。

例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、③を押すと選択できます。(予測変換)

例：「冬は」と入力したあとに「さ」と入力すると、「寒い」などの予測変換の候補が優先して表示されます。(AI予測)

例：「パーソナル」と「コンピュータ」を続けて入力すると、次に「ぱーそなる」と入力したとき、予測変換候補に「パーソナルコンピュータ」と表示されます。(複合語予測学習機能)

○ 表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況によって、異なります。

○ 予測変換利用時に、入力したい文字が予測変換の候補がない場合は、②（変換）を押して通常変換に切り替えてください。

○ 変換候補を選択中に②を押すと、選択した変換候補をブラウザで検索したり、他のアプリで変換候補を検索して結果を引用したり、学習した変換候補を削除できます。

○ ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、予測変換／通常変換の候補として表示されるようになります。

* * (ワイルドカード) 入力

* * (ワイルドカード) 入力を利用すると、文字入力中に③で文字数を設定して変換できます。

例：「パソコン」と入力したい場合、「ぱ」を入力して③を3回押すと「ぱ* * *」と表示され、予測変換候補リストに「パソコン」が表示されます。

・「ワイルドカード予測」を有効に設定している場合に操作できます。

絵文字／D絵文字／記号／顔文字の入力

絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧を表示して文字入力画面に入力します。一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に②（絵・記・顔）を押します。

②を押すたびに、絵文字→D絵文字→記号(全角／半角)→顔文字の順に切り替えります。

○ 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、絵文字が正しく表示されないことがあります。

○ 絵文字／D絵文字／顔文字の一覧を表示中に②／③を押すとカテゴリを切り替えます。記号一覧画面では②で全角／半角を切り替えます。

○ 「顔文字(履歴)」以外の一覧で顔文字を選択して②(編集)を押すと、顔文字を編集できます。

○ D絵文字はEメール作成時のみ表示されます。

文字入力のサブメニューを利用する

サブメニューから文字のコピー／貼り付けや入力設定の変更ができます。

■ 文字をコピー／切り取りしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面で回(サブメニュー)→[コピー他(範囲選択)]
- 2 ◎で開始位置にカーソルを移動→◎(開始)→◎で範囲を指定→◎(実行)
- 3 [コピー]／[切り取り]
- 4 ◎で貼り付ける位置へカーソルを移動→回(サブメニュー)→[貼り付け]
貼り付けデータが表示されます。

- ◎「コピー他(範囲選択)」は、文字入力画面で回(範囲選択)を押しても利用できます。
- ◎ コピー／切り取りした文は最大10件までコピー履歴に記憶されます。10件を超えた場合は、最も古い文から削除されます。
- ◎ コピー履歴を利用して貼り付けられる文字数は、全角／半角1,024文字までです。
- ◎ [×]を長押しすると、直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付けることができます。
- ◎ 文字入力画面で回(サブメニュー)→[貼り付け(履歴)]→回(サブメニュー)→[1件削除]／[全削除]と操作すると、貼り付けデータを削除できます。

■ その他の文字入力サブメニュー

1 文字入力画面で回(サブメニュー)

2 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

コピー他(範囲選択)	文字列を選択後、以下の操作を行います。 「コピー」:選択した文字列をコピーします。 「切り取り」:選択した文字列を切り取ります。 「貼り付け」:コピー／切り取りした文字列を貼り付けます。 「ユーザー辞書登録」:文字入力画面から文字列を選択して、ユーザー辞書に登録します。 「引用・連携」:選択した文字列を、別のアプリケーションで使用します。
貼り付け	コピーした文字列を貼り付けます。
貼り付け(履歴)	コピーした文字列の履歴を選択して貼り付けます。 履歴を削除することもできます。
文字種変更	文字種を切り替えます。 ・切り替えたい文字種を◎で選択して◎を押します。
定型文入力	定型文を入力します。 ・定型文の言語を選択して、用意された定型文を選択できます。
ユーザー辞書登録(日)／ユーザー辞書登録(英)	単語をユーザー辞書に登録します。 文字入力画面に入力した文字列を選択して、単語を登録することもできます。「ユーザー辞書に登録する」(▶P.36)をご参照ください。
引用・連携	コピー履歴 コピーした内容の履歴を入力します。 バーコードリーダー バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。 プロフィール プロフィールの登録内容を入力します。 メモ帳 メモ帳に登録されている内容を入力します。 定型文入力 定型文を入力します。 電話帳 電話帳の登録内容を入力します。 Google検索 Google™で検索します。
入力設定	▶P.36「文字入力について設定する」
編集キャンセル	編集内容を削除して前の画面に戻ります。

文字入力について設定する

1 文字入力画面で回(サブメニュー)→[入力設定]

2 入力補助・変換	予測変換 文字入力時に予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 つながり予測 入力確定直後につながり予測候補を表示します。 ワイルドカード予測 未確定文字数から予測変換候補を推測します。 自動カーソル移動 文字の入力方式が「かな方式」の場合、一定時間キー操作を行わないときにカーソルが1つ右に移動する速さを設定します。 • カーソル移動後でも、`（濁点）／°（半濁点）の付加など、[×]や[#]の操作を行うことができます。 メールいきなり予測 メールの本文入力でよく文頭に使用する言葉を候補として表します。 ネット変換エンジン インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。 自動大文字変換 半角英字入力で文頭文字を大文字にします。 自動スペース入力 半角英字入力で英単語選択した後に、半角スペースを自動挿入します。
辞書	ユーザー辞書 ▶P.36「ユーザー辞書に登録する」 ダウンロード辞書 サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。 電話帳名前データと連携 電話帳に登録されている名前を学習辞書に登録したり、電話帳から登録した名前を辞書から削除したりできます。
各種リセット	設定リセット S-Shoinの設定をリセットします。 学習辞書リセット 学習辞書の内容をリセットします。 顔文字リセット 顔文字リストの内容をリセットします。

■ ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語でそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面で回(サブメニュー)→[入力設定]→[辞書]→[ユーザー辞書]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。
◎で日本語用／英語用ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 回(サブメニュー)→[新規登録]

3 読み／単語を入力→[登録]

■ ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面で回(サブメニュー)

2 新規登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
1件削除	選択している単語を削除します。
全件削除	登録した単語をすべて削除します。

電話

電話をかける	38
電話を受ける	40
自分の電話番号を確認する	40
通話に関する設定をする	41

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

- 待受画面で \square を押すと電話番号未入力状態のダイヤル画面を表示できます。
①:カーソルの位置を移動
②:カーソルの左側の数字を削除
③(長押し):すべての数字を削除
④(電話帳):電話帳を表示(▶P.44)
⑤:前回発信した番号に再度発信(リダイヤル)*
※電話番号未入力時のみ利用できます。

2 $\square \rightarrow$ 通話

- ⑥(スピーカー)/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF
⑦(ミュート)/ミュート解除):ミュートON/OFF
⑧(電話帳):電話帳を表示(▶P.44)
⑨(プロフィール):プロフィールを表示(▶P.40)
⑩/⑪/⑫:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節
⑬(保留):通話を保留**
※⑬(保留解除)を押すと保留を解除できます。

3 \square

- 「電話帳に登録」を選択すると、発信した電話番号を電話帳に登録できます。
・本製品を閉じても通話を終了できます。

- ◎「電卓」「タイマー」「スケジュール」(カレンダー)、「アラーム」などの機能でダイヤル画面で入力した数字を引用することもできます。数字入力後に画面の表示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。
- ◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話し下さい。
- ◎送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますので注意ください。
- ◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110, 119, 118)、お客さまセンター(157)へは電話をかけることができます。
- ◎通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のブッシュ信号を送信できます。
- ◎通話中に他のアプリケーションを起動したとき、通話中画面に戻りたい場合は⑭を押して起動中のアプリを終了してください。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- ◎警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎日本国内の緊急通報番号(110, 119, 118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができます。
- ◎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかげになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

■P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するブッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中には「はい」を選択すると、ブッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 ◎(発信等)→[特番付加]→[P付加]→店番号「22X」を入力

3 ◎(発信等)→[特番付加]→[P付加]→口座番号「123XX」を入力

P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のブッシュ信号をつなげて入力できます。

4 $\square \rightarrow$ [はい]→[はい]

送信先が電話を受けると、確認画面が表示されます。「はい」を選択して◎を押すごとにブッシュ信号を送信します。

発信メニューを利用する

1 電話番号を入力→◎(発信等)

1 発信	音声電話をかけます。
2 特番付加	電話番号に特番を付加します。
3 SMS作成	▶P.55「SMSを送る」

◎ 0~99の番号を入力して◎(発信等)を押した場合は登録済みのスピードダイヤルへの発信やスピードダイヤルへの登録ができます。(▶P.39)

2 ダイヤル画面のサブメニューを利用する

1 ダイヤル画面で□(サブメニュー)

1 電話帳に登録	入力した電話番号を電話帳に登録できます。
2 履歴参照	発信履歴/着信履歴を表示できます。
3 SMS作成	▶P.55「SMSを送る」
4 特番付加	電話番号に特番を付加します。
5 音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 ・音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
6 ボイスパーティー	▶P.40「ボイスパーティーで電話をかける」
7 設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.41)をご参考ください。

3 通話中画面のサブメニューを利用する

1 通話中画面で□(サブメニュー)

1 音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約5分間で、30件までです。30件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。
2 Bluetooth ON/Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続/解除します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.99)をご参照ください。
3 履歴参照	発信履歴/着信履歴一覧画面を表示します。
4 通話を追加	通話の追加ができます。

■履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で○(発信履歴)／○(着信履歴)

○を押すと、発信履歴／着信履歴を切り替えられます。

2 履歴から電話をかける相手を選択→○

発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

- ・発着信回数が表示されている履歴を選択して□(切替)を押すと、まとめられている発信履歴／着信履歴の情報を表示します。

3 □

発信履歴／着信履歴一覧画面で電話をかける相手を選択して□を押しても発信できます。

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた



《発信履歴一覧画面》



《着信履歴一覧画面》

- ① 発着信日時
- ② 名前／電話番号／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容
- ③ 電話帳に登録している顔写真
- ④ 発着信回数
同じ相手の発信履歴／着信履歴が連続した場合は着信／発信回数を表示します。
- ⑤ 通話時間
- ⑥ 呼び出し時間
※ 約3秒以内に切れた不在着信は、お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください(ワン切り)。
- ⑦ 着信状態アイコン
☑:不在着信
☒:着信拒否

■発信履歴／着信履歴画面のサブメニューを利用する

1 発信履歴／着信履歴一覧画面または履歴の詳細画面→□(サブメニュー)

2 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

メール作成	▶P.49「Eメールを送る」
SMS作成	▶P.55「SMSを送る」
編集して発信	履歴の電話番号を編集して発信します。
特番付加	履歴の電話番号に特番を付加して発信します。
電話帳に登録	電話帳に履歴の電話番号を登録します。
着信拒否登録	着信拒否リストに履歴の電話番号を登録します。
削除	表示中の履歴を削除します。
1件削除	選択中の履歴を削除します。
選択削除	履歴を選択して削除します。
全件削除	履歴をすべて削除します。
電話帳	電話帳を表示します。
設定	電話に関する設定をします。 ・詳しくは、「電話の設定をする」(▶P.41)をご参照ください。

■スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

■スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で○→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の<未登録>を選択→○(登録)

・連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→○

■スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0~99)を入力

2 □

◎ 未登録のスピードダイヤル番号を入力して□を押した場合は、スピードダイヤルの一覧画面が表示されます。スピードダイヤルの一覧から発信したり、新規にスピードダイヤルを登録できます。

◎ スピードダイヤルに登録された連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、スピードダイヤルの番号を入力して□(メール)を押すとメールの作成ができます。

■かんたん発信(音声認識)で電話をかける

かんたん発信(音声認識)を利用すると、スピードダイヤルに登録した連絡先にダイヤルキーを操作せずに音声で電話をかけることができます。

・スピードダイヤルへの登録方法は「スピードダイヤルに登録する」(▶P.39)をご参照ください。

1 本製品を開く／待受画面で□(長押し)

メインディスプレイに○(音声で発信)が表示されます。

2 本製品に向かって電話したい宛先を話す

電話したい連絡先の名前を話します。

3 表示された連絡先を確認→[はい]

■かんたん発信(音声認識)の設定をする

1 待受画面で○→[電話 メール]

2 [かんたん発信(音声認識)]

3	かんたん発信設定	かんたん発信のON/OFFを設定します。
	認識対象の登録 (スピードダイヤル)	スピードダイヤルに登録されている連絡先がかんたん発信での音声認識の対象となります。スピードダイヤルの一覧を表示し、登録、削除などの操作ができます。
	音声認識の使い方	かんたん発信の使い方を表示します。

■ ボイスパーティーで電話をかける

ボイスパーティーとは、通話したい相手の端末の種類にかかわらず、発信者を含めて最大30人で同時に通話が可能な音声サービスです。

1 待受画面で[□]→[サブメニュー]→[ボイスパーティー]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 [□](新規作成)

発信履歴を選択→[○](発信)と操作すると、履歴を利用して発信することができます。

3 [□](サブメニュー)

電話帳引用	電話帳に登録されている電話番号を選択してメンバーに追加します。
履歴引用	発信履歴／着信履歴から電話番号を選択してメンバーに追加します。
直接入力	電話番号を直接入力してメンバーに追加します。
1件削除	メンバーを1件削除します。
全件削除	メンバーをすべて削除します。

5 [□](発信)→通話

呼出中／通話中のメンバーを選択→[○]→[はい]と操作すると、選択したメンバーとの通話を終了します。
不在のメンバーを選択→[○]と操作すると、発信／メンバーの削除が行えます。

6 [□]

- ◎ ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。
- ◎ 発信者には通話先に応じた通話料(人数分)が課金されます。
- ◎ 発信先として、緊急通報番号(110、119、118)や時報(117)などの特番は対象外です。
- ◎ ボイスパーティーでの発信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
- ◎ 発信後、どの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーは終了されます。
- ◎ 発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時にご利用できません。
- ◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中、割込着信をご利用できません。
- ◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中にブッシュ信号を送信できません。
- ◎ 着信者がお留守番サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加できません。
- ◎ auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモは応答しません。
- ◎ 着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

■ au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 國際アクセスコード「010」を入力

ダイヤル画面で[□]（長押し）と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[□]

- ◎ 電話番号の入力中に[□](サブメニュー)→[特番付加]→[国際電話]と操作しても国番号を入力できます。
 - ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
 - ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となつても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
 - ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一緒に請求となります。
 - ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
- au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から[□]0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

■ 電話を受ける

■ 電話に出る

お買い上げ時は、着信するごとに次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、メインディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、メインディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
- ※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に[□]/[○](応答)

[□](サイレント)を押すと、着信音を止めます。
[○]や[■]を押すと着信音量を変更できます。

2 通話

通話を終了する場合は[□]を押します。

- ◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいている場合、「モバイルネットワーク」の「データ通信」を無効にし、「ネットワークモード」を「日本(4G)」に設定してご利用ください。
- ◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

■ 着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかげになつた電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に[□](着信拒否)

■ 着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかげになつた電話をお呼びしましたが、お出なりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に[□](サブメニュー)→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択→[○]

- ◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」を選択すると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- ◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集できます。
- ◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- ◎ 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

■ 着信中のサブメニューを利用する

1 着信中に[□](サブメニュー)

クイック返信	▶P.40「着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る」
伝言メモ	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。 <ul style="list-style-type: none">・伝言メモ録音中に[□](受話ON／受話OFF)と操作すると、相手の方の音声のON／OFFを切り替えます。
着信転送	かかってきた電話に出すに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。 <ul style="list-style-type: none">・あらかじめ、「転送・お留守番サービス設定」で転送先を設定しておいてください。

■ 自分の電話番号を確認する

■ プロフィールを確認する

1 待受画面で[○]→[プロフィール]

■ プロフィールを編集する

1 待受画面で[○]→[プロフィール]→[□](編集)

プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [□](保存)

- ◎ プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.44)をご参照ください。

通話に関する設定をする

通話の設定をする

1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]

通話時間	前回通話・累積の通話時間の目安、前回リセットした日時を表示します。 ・次の操作で表示されている時間をリセットできます。 [通話時間]／[通話時間(海外)]→回(サブメニュー)→[リセット]→ロックを解除
クイックサイレント	着信時に本製品を裏返す／閉じた状態で[スクリーン]を押すことで着信音が消音になり、バイブレータや充電／着信ランプが停止して、着信表示のみになる機能を有効にするかどうかを設定します。
オープン通話	着信時に本製品を開くと電話に応答にするかどうかを設定します。
未登録番号追加	電話帳に未登録の電話番号との通話終了時に、電話帳への登録確認画面を表示するかどうかを設定します。
オートアンサー	オートアンサー イヤホン接続中に着信があった場合、自動で応答するかどうかを設定します。 着信時間 オートアンサーで応答するまでの時間を設定します。
通話中表示設定	電話帳写真表示 相手の方が電話帳に登録されている場合、発信中／着信中／通話中に電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
発信者番号通知	▶P.105「電話番号を通知する」
エニーキーアンサー	□／○以外のキーを押しても電話に応答するかどうかを設定します。
国際発信設定	ユーナーリスト 国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 ・国名を選択して編集／削除することができます。 ダイヤルアシスト機能 海外からの発信時に、発信方法を選択できるようにするかどうかを設定します。
転送・お留守番サービス設定	着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。 ・詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.104)、「お留守番サービスEXについて」(▶P.106)をご参照ください。
ガイド言語設定	ガイドランプの言語を切り替えます。 ・詳しくは、「英語ガイドランプへ切り替える」(▶P.107)、「日本語ガイドランプへ切り替える」(▶P.107)をご参照ください。
割込通話設定	割込通話サービスについて設定します。 ・詳しくは、「割込通話サービスについて」(▶P.108)をご参照ください。
着信拒否	着信拒否について設定します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.41)、「番号通知リクエストサービスについて」(▶P.105)、「迷惑電話撃退サービスについて」(▶P.109)をご参照ください。
クリック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択→○→メッセージを編集→○(完了)と操作すると、メッセージを編集できます。
番号付加設定	フレフィックス自動付加 国際電話番号や市外局番、電話会社の選別番号などを登録します。電話をかけるときに登録した番号を付加して発信できます。 市外局番メモリ よくかける地域の市外局番を設定します。電話番号を市内局番から入力するだけで、設定した市外局番を自動的に追加して電話をかけることができます。
オプションサービス申込	オプションサービスの申し込みを行います。
アカウント	インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。 ・回(サブメニュー)→[アカウントを追加]と操作すると、インターネット通話で使用するアカウントを作成できます。
インターネット通話使用	インターネット通話の使用方法について設定します。

通話時間について

- 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
- 通話が途れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモについて

- 伝言メモとオートアンサーの応答時間と同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。
- 録音できるのは、1件あたり約5分間で、30件までです。30件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

伝言メモ／音声メモを再生する

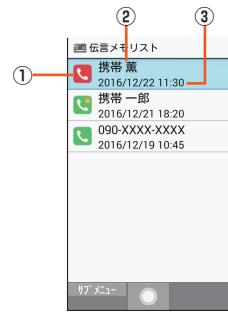
1 待受画面で○→[電話 メール]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]／[音声メモリスト]

伝言メモリスト画面／音声メモリスト画面が表示されます。
・待受画面で□を押しても伝言メモリスト画面を表示できます。

2 再生する伝言メモ／音声メモを選択

伝言メモ／音声メモが再生されます。
○(停止):再生を停止
□(スピーカー／OFF):スピーカーのON／OFF
■:前の伝言メモ／音声メモを再生
■:次の伝言メモ／音声メモを再生

伝言メモリスト画面の見かた



《伝言メモリスト画面》

① 伝言メモの再生状態を示すアイコン

■:未再生の伝言メモ(赤色)

■:再生済みの伝言メモ(緑色)

保護された伝言メモのアイコンには■が付きます。

② 相手の方の名前／電話番号／非通知着信の理由

③ 伝言メモが録音された日時

伝言メモの設定をする

1 待受画面で○→[電話 メール]→[音声・伝言メモ]

2 空き容量確認	伝言メモ／音声メモの残り録音可能容量を表示します。
伝言メモ設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 ・待受画面で□(長押し)と操作しても、伝言メモの設定を変更することができます。
応答メッセージ設定	伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 ・項目を選択して回(再生)と操作すると、メッセージを再生します。
応答時間設定	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。

着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[着信拒否設定]

3 指定番号	指定した電話番号からの着信を拒否します。 ・回(番号編集)→[新規登録]と操作すると、着信を拒否する番号を登録できます。 ・登録済みの項目を選択→○→[変更]／[1件削除]／[全件削除]→[はい]と操作すると、登録した内容を変更／削除できます。
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。



電話帳

電話帳に登録する	44
グループを設定する	44
電話帳の一覧を利用する	44
電話帳の登録内容を利用する	45

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面で回(長押し)

電話帳登録画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

3 回(保存)

- 電話帳一覧画面(▶P.44)で回(新規登録)を押しても電話帳を新規登録できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
- 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や充電／着信ランプなどを設定できます。

1 待受画面で回→回(サブメニュー)→[グループ追加・編集]

グループ追加・編集画面が表示されます。

2 回(サブメニュー)

③	追加	グループを追加します。
削除	グループを削除します。	
並べ替え	グループの表示位置を変更します。 ・移動したいグループを選択→④→④で移動→④→回(確定)と操作すると並び順を変更できます。	

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は動作しません。
- 個別の連絡先に「着信音設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
- 1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ追加・編集画面で上に表示されているグループの設定が優先されます。

グループを編集する

1 グループ追加・編集画面でグループを選択→①

②	グループ編集	グループの設定内容を変更します。
メンバー登録	グループに連絡先を登録します。	
グループ削除	グループを削除します。	

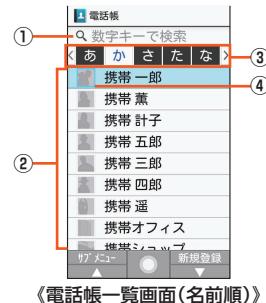
電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で回

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① ダイヤルキーで検索

電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。④キーを押してよみがなを削除すると検索を解除します。

② 連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③ タブ

④ 顔写真

登録している場合は、顔写真が表示されます。

④を押してタブを切り替えられます。

電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で回

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

2 回(サブメニュー)

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

編集	連絡先を編集します。
送信	連絡先を他の機器に送信します。
1件削除	連絡先を1件削除します。
選択削除	連絡先を複数選択して削除します。
表示方法切替	画面の表示方法を切り替えます。
グループ追加・編集	▶P.44「グループを設定する」
スピードダイヤル登録	連絡先をスピードダイヤルに登録します。
設定・管理	▶P.44「電話帳を設定・管理する」

電話帳を設定・管理する

1 待受画面で回→回(サブメニュー)→[設定・管理]

②	検索設定	「ダイヤルキーで検索」での検索方法を設定します。
	複数削除時暗証番号	連絡先を選択削除／全件削除するときに、セキュリティキーを入力するかどうかを設定します。
	メモリ登録件数	表示している電話帳の連絡先登録件数を表示します。

電話帳の登録内容を利用する

① 待受画面で□→連絡先を選択→●

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

① 名前

② 登録内容

③ 顔写真

④ メインの電話番号／メインのメールアドレス

- ◎ 登録内容を選択して●を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
- ◎ 複数の電話番号やメールアドレスを登録しているときは、電話番号／メールアドレスを選択して●→[メインの電話番号に設定]／[メインのアドレスに設定]と操作すると、メインの電話番号／メールアドレスに設定できます。
- ◎ □(編集)を押すと、登録内容を編集できます。



メール

Eメールを利用する	48
Eメールについて	48
Eメールを確認する	48
Eメールを送る	49
Eメールを受け取る	50
新着メールを問い合わせて受信する	51
Eメールを検索する	51
Eメールのメニューを利用する	51
フォルダを利用する	52
Eメールを設定する	52
Eメールをバックアップ／復元する	54
迷惑メールフィルターを設定する	54
SMSを利用する	55
SMSについて	55
SMSを送る	55
SMSを受け取る	56
SMSを返信／転送する	56
SMSを保護／保護解除する	56
SMSの電話番号を電話帳に登録する	56
SMSを検索する	56
SMSを削除する	56
SMSを設定する	56

Eメールを利用する

Eメールについて

Eメール(@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章の他、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- ・Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- ・Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。

Eメールの初期設定について

- ◎ 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- ◎ 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- ◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」(▶P.53)をご参照ください。
- ◎ 待受画面で①→[設定]→[その他]→[アプリケーション]で「Eメール」アプリを選択して②を押し、「データを消去」を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報をすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。バックアップについては、「Eメールをバックアップする」(▶P.54)をご参照ください。
- ◎ Eメールの文字サイズを変更する場合は、「文字フォント設定」(▶P.86)で文字サイズを設定してください。

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で①

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス]／[送信ボックス]／[未送信ボックス]／ フォルダを選択→②

Eメール一覧画面が表示されます。

- ・③(2行切替／3行切替):メール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→④

Eメール詳細表示画面が表示されます。

- ・⑤(前):前のEメールを表示
- ・⑥(次):次のEメールを表示

- ◎ 「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。

- ◎ 「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。

- ◎ 「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。

- ・「受信ボックス」に新着メールがある場合は①(赤色、数字は件数)が表示されます。受信メール一覧画面で新着メールを確認すると②(青色、数字は未読件数)が表示されます。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- ・「未送信ボックス」にEメールがある場合は、③(青色、数字は件数)が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。



《フォルダ一覧画面》

① 新規作成

② 受信ボックス

③ インフォボックス

　　インフォボックスメールを表示できます。

④ 送信ボックス

⑤ 未送信ボックス

⑥ Eメール操作ガイド

⑦ フォルダ

⑧ フォルダ作成

⑨ 未読・未送信メール件数

■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》



《フォルダメール一覧画面》

① ●:未読のEメール

○:本文を未受信のEメール

② 件名

③宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

電話帳に登録があるEメールアドレスの場合には、登録された画像／名前が表示されます。未登録のEメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

・電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

・宛先が複数の場合は、登録された画像が分割されて表示されます。

5つ以上宛先がある場合は、5つ目以降の宛先の画像は表示されません。

④添付データあり

⑤保護されたEメール

⑥フラグ付きEメール

⑦ ↲:返信したEメール／返信のEメール

➡:転送したEメール／転送のEメール

⟳:返信／転送したEメール

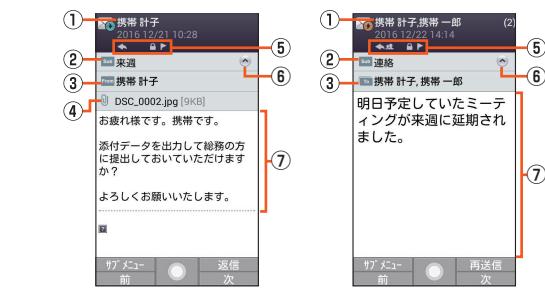
⑧自動再送信するEメール

⑨サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したEメール

⑩受信／送信切替スライダー

フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》 《送信メール詳細表示画面》

①宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

②件名

③From:差出人の名前またはEメールアドレス

To / CC / BCC:宛先の名前またはEメールアドレス

④*保存された添付データ*

:保存された添付データ

:保存されたオンライン添付データ

:未受信の添付データ

:受信に失敗した添付データ

⑤:返信したEメール／返信のEメール

:転送したEメール／転送のEメール

:返信／転送したEメール

:複数の宛先あり

:BCCの宛先で受信したEメール

:自動再送信するEメール

:送信に失敗したEメール

:保護されたEメール

:フラグ付きEメール

⑥:アドレス／添付ファイル

選択して⑦と操作すると、Eメールアドレスと添付データの一覧を表示します。

⑦本文

■ Eメールを送る

■ Eメールを送信する

1 待受画面で①→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 アドレス入力欄の「②」を選択→③

アドレス入力欄に宛先を直接入力することもできます。

3 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超える場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・④(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→⑤→④(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・④(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→⑤→④(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け	コピーしたEメールアドレスを貼り付けます。

4 件名入力欄を選択→③→件名を入力→④(完了)

5 本文入力欄を選択→③→本文を入力→④(完了)

6 ⑤(送信)→[送信]

- デコレーションアニメには対応しておりません。
 - 件名や本文には、半角カナおよび半角記号(ー(長音)°(濁点)°(半濁点)、。・「」)は入力できません。
 - 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
 - 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
 - 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
 - 「送信時確認表示」で送信時の確認画面を非表示にすることができます。
 - 送信メール作成画面で④(保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
 - あらかじめ「自動再送信」を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。
 - 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
- ※ 一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

■ 宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の「①」を選択→③

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の手順③をご参照ください。
アドレス入力欄に宛先を直接入力しても、宛先を追加できます。

■ 宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先の「②」を選択→③→[削除]

○ 「①」を選択→③と操作すると、宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面で添付欄を選択→○

ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
その他	その他のデータを添付します。

- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。

1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG,PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、Eメールの送信時に静止画データ(JPEG,PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG,PNG)のサイズをさらに縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」を有効にしてください。
受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。

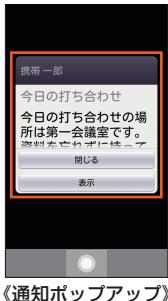
◎ データを添付した後に、添付データ欄を選択→○と操作すると添付したデータを表示できます。また、☒を選択→○→[削除]と操作すると添付データを削除できます。

Eメールを受け取る

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
・画面消灯中や本体を閉じているときにEメールを受信した場合、画面表示したり本体を開くと、通知ポップアップを表示します。



《通知ポップアップ》

- ステータスバーに☒が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 充電／着信ランプが青色に点滅します。
充電／着信ランプの色は変更することができます。充電／着信ランプの設定について詳しくは「音・バイブの設定をする」(▶P.86)をご参照ください。
- 本体を開じているときはサブディスプレイに、Eメールアドレスまたはメールアドレスを登録している電話帳の名前が表示されます。また、☒マークが表示されます。

2 待受画面で回→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→○

Eメール詳細画面が表示されます。

- ◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに☒が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」を無効に設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎ 「メール自動受信」を無効に設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り☒が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.51)の操作を行い、Eメールを受信してください。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかつた旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細画面で☒を選択→○

2 添付データを選択→○→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名を選択すると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データを選択→○→[表示]と操作してください。

◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データが本文中に表示される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※ データによっては、表示されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体メモリやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細画面で回(サブメニュー)→[画像保存]

2 保存する画像を選択→○→回(保存)

保存先選択画面が表示されます。

3 保存先を選択し回(保存)

選択した画像が本体メモリ、またはmicroSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。

◎ Eメール詳細画面で☒を選択→○→添付データを選択→○→[ストレージへ保存]→保存先を選択→回(保存)と操作しても保存できます。

◎ 保存先選択画面で回(Up)を押すと1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 メール詳細画面を表示

■ メールアドレスを利用する場合

2 「☒」を選択→○→差出人／宛先／本文中のメールアドレスを選択→○

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてメールを作成します。
音声発信	選択したメールアドレスが登録された電話帳に、電話番号の登録もある場合、電話をかけることができます。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振り分け条件に登録します。 <ul style="list-style-type: none">「フォルダロック」を設定したフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。追加した後、すぐに振り分けを行う場合は「再振分けする」を選択します。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 <ul style="list-style-type: none">迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.54)をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→○→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択→○

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 <ul style="list-style-type: none">au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、次のホームページをご参照ください。http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。
アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

◎ 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 待受画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 (新着確認)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを検索する

1 待受画面で (サブメニュー) → [検索／フィルター]

メール一覧画面で (サブメニュー) → [検索／フィルター] と操作すると、フォルダ内のEメールを検索できます。

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 []

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダ一覧画面から検索する場合、「フォルダロック」を設定したフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

◎「」を選択 → ○と操作すると、キーワード検索以外にも検索条件を選択して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールのメニューを利用する

1 フォルダ一覧画面のメニューを利用する

1 待受画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 (サブメニュー)

検索／フィルター	Eメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 ・詳しくは、「フォルダを利用する」(▶P.52)をご参照ください。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」を選択すると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振り分け条件で、Eメールの再振り分けを行います。 ・「フォルダロック」を設定したフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	Eメールを設定します。 ・詳しくは、「Eメール設定をする」(▶P.52)をご参照ください。
ヘルプ	サービス概要や更新情報を確認できます。

2 Eメール一覧画面のメニューを利用する

1 待受画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 ボックス／フォルダを選択 → ○

「Eメールを検索する」(▶P.51)の検索結果一覧画面でも操作できます。

3 (サブメニュー)

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

返信	Eメールに返信します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元の件名に「Fw:」が追加された件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー／編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護／解除	Eメールを保護／保護解除します。 ・受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1750件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。

フラグ	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
削除	Eメールを選択して削除します。 ・保護されたEメールは選択できません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 ・迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P. 54)をご参照ください。
移動	Eメールを選択して移動します。 ・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
検索／フィルター	表示中のボックス／フォルダ内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.51)をご参照ください。
ストレージへ保存	Eメールを選択して保存します。 microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は本体メモリに保存します。 ・保存したEメールは、「メールデータ復元」でEメールアプリに読み込むことができます。
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 ・詳しくは、「フォルダを利用する」(▶P.52)をご参照ください。
Eメール設定	Eメールを設定します。 ・詳しくは、「Eメール設定をする」(▶P.52)をご参照ください。
選択受信	本文が未受信のEメールを選択して本文を取得します。
新着問合せ	新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメール詳細表示画面のメニューを利用する

1 待受画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 ボックス／フォルダを選択 → ○ → Eメールを選択 → ○

3 (サブメニュー)

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
再送信	送信済みのEメールを再度送信します。
送信	未送信のEメールを送信します。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー／編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護／保護解除	Eメールを選択して保護／保護解除します。 ・受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1750件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ／フラグ解除	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
削除	Eメールを削除します。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
移動	Eメールを移動します。 ・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
画像保存	▶P. 50「添付画像を保存する」
拡大縮小	本文の文字のサイズを一時的に拡大／縮小できます。
本文コピー	Eメールの本文を選択してコピーします。 ・文字列の開始位置を選択 → ○(開始) → ○(実行)と操作するとコピーできます。 ・(全選択)を押すと、本文全体を選択できます。
ストレージへ保存	Eメールを選択して保存します。 microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は本体メモリに保存します。 ・保存したEメールは、「メールデータ復元」でEメールアプリに読み込むことができます。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
本文受信	本文未受信メールの本文を取得します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。

■ フォルダを利用する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

1 待受画面で✉

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 [フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

4 各項目を設定→回(保存)

■ フォルダを編集する

1 待受画面で✉

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 回(サブメニュー)→[フォルダ編集]

3 編集するフォルダを選択→◎

フォルダ編集画面が表示されます。

■ フォルダアイコンを変更する

1 フォルダ編集画面→画面左上のフォルダアイコンを選択→◎

2 図柄を選択→◎/色を選択→◎

3 回(決定)→回(保存)

○ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

「受信ボックス」や作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレータ、着信ランプを設定できます。

1 フォルダ編集画面→[フォルダ別設定]

「標準設定」を選択→◎と操作すると、「通知設定」で設定した内容でEメールの受信をお知らせします。

2 着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

3 回(完了)→回(保存)

■ フォルダにロックをかける

「受信ボックス」や作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ[Eメール設定]→[プライバシー設定]→[パスワード設定]でフォルダロック解除のパスワードを設定してください。

1 フォルダ編集画面→「フォルダロック」を選択→◎(チェック)→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

2 回(保存)

■ フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

■ 振り分け条件を追加する場合

1 フォルダ編集画面→[振分け条件追加]→振り分け条件の種類を選択して◎

メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。
ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。
件名	件名を振り分け条件に登録します。 ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

3 振り分け条件を入力→[OK]

メールアドレス／ドメインで振り分ける場合は、「◎」を選択→◎と操作すると、入力方法を選択して登録できます。

4 回(保存)

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

1 フォルダ編集画面→[アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]を選択して◎(チェック)→回(保存)

- 振り分け条件を設定／編集して回(保存)を押すと、メールの振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに振り分けを行う場合は、「再振り分けする」を選択します。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- フォルダ編集画面で、追加した振り分け条件の右横にある「×」を選択→◎と操作すると、振り分け条件を編集したり、削除したりすることができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>…>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ Eメールを設定する

■ Eメール設定をする

1 待受画面で✉

2 回(サブメニュー)→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3 受信・表示設定	▶P.53「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定	▶P.53「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定 ▶P.53「通知に関する設定をする」 個別通知設定 ▶P.53「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更 フォルダロックのパスワードを設定／変更します。 パスワードリセット パスワードをリセットします。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロックも解除されます。
アドレス変更・その他設定	Eメールアドレスの変更へ ▶P.53「Eメールアドレスを変更する」 迷惑メールフィルターの設定／確認へ ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」 オススメの設定はこちら ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」 自動転送先の設定へ ▶P.53「転送先を設定する」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	メールデータバックアップ ▶P.54「メールデータをバックアップする」 メールデータ復元 ▶P.54「メールデータを復元する」
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・回(サブメニュー)→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

■ パスワード設定について

○ フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えると「ひみつの質問」が表示されます。[表示する]→回答を入力→◎(完了)→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

■ 受信・表示に関する設定をする

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[受信・表示設定]

2 メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。無効に設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信 差出人・件名と本文を受信します。 指定全受信 指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 <ul style="list-style-type: none">・「個別アドレスリスト編集」を選択すると、メールアドレスを登録できます。・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[×]→[削除]と操作します。 差出人・件名受信 差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。
アドレス帳登録名表示	メールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録された情報を表示するかどうかを設定します。
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。

メール受信方法について

- ◎ 受信メール一覧画面で本文が未受信のEメールを選択すると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、「本文受信」を行うと、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良い所で行ってください。

■ 送信・作成に関する設定をする

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[送信・作成設定]

2 返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	Eメール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。

冒頭文／署名について

- ◎ 冒頭文／署名には、最大10種類のデコレーション絵文字を挿入できます。
◎ 冒頭文／署名を挿入しただけで、デコレーション絵文字の制限(最大20種類)に達した場合は、本文入力時にデコレーション絵文字を挿入できません。
◎ 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。

■ 通知に関する設定をする

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[通知設定]→[基本通知設定]

2 着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブルータでお知らせするかどうかを設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

■ 個別の通知に関する設定をする

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[通知設定]→[個別通知設定]

新規設定

- 3 [アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択→●

「メール受信履歴引用」／「メール送信履歴引用」を選択した場合は、設定するアドレスを選択→●と操作後、回(決定)を押します。

4 着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブルーション	Eメール受信時のバイブルータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

■ Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[Eメールアドレスの変更へ]

暗証番号を入力→[送信]

【承諾する】

- 4 Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]→[閉じる]

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「_」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
◎ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
◎ Eメールアドレスの変更是1日3回まで可能です。

■ 転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[自動転送先の設定へ]

暗証番号を入力→[送信]

【Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる】

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
◎ 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
◎ 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
◎ Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
◎ 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをバックアップする

Eメールをバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。

- ・本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード(/storage/sdcard1/private/au/email/BU)に、取り付けられていない場合は本体メモリ(/storage/emulated/0/private/au/email/BU)に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ(メール本文・添付ファイル)をバックアップすることができます。

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]

2 [メールデータバックアップ]→[OK]

3 [UTF-8]/[SJIS]→[OK]

「ヘルプ」を選択すると文字コードの説明を表示できます。

- 4 バックアップするフォルダを選択→◎→[OK]

「フォルダロック」を設定した「受信ボックス」/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

◎添付されたデータもバックアップできます。

※バックアップしたファイルサイズが本体メモリに保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付データ付メールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]

2 [メールデータ復元]

3 [受信メール]/[送信メール]/[未送信メール]/[ストレージから探す]→[OK]

- 4 復元するバックアップデータを選択→◎→□(決定)

□(Up)を押すと1つ上の階層のフォルダを選択できます。

- 5 [追加保存]/[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。

◎復元したEメールから未受信の本文や添付データを取得することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりますしてくるEメールを拒否する機能があります。

・迷惑メールフィルターの各種機能の詳細については、迷惑メールフィルター画面の「設定にあたって」をご参照ください。

- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

■ おすすめの設定にする場合

- 2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

- 2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3	オススメ一括設定をする	<p>1. オススメ設定 とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。</p> <p>2. 携帯／PHS以外のメール拒否設定 パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。</p>
詳細設定	受信リストに登録する 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リスト設定以外のEメールをブロックする場合は、「個別設定をする」の「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。 ※「必ず受信」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、マーリングリスト、転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。	
	拒否リストに登録する 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。	
	アドレス帳受信設定をする 「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。	
	個別設定をする ▶P.55「迷惑メールフィルターの個別設定をする」	
設定確認／解除する	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。	
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。	

※ 最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/> →「迷惑メールでお困りの方へ」

■迷惑メールフィルターの個別設定をする

1 迷惑メールフィルター画面の「詳細設定」で[個別設定をする]

一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
迷惑メールおまかせ規制	メールサーバで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※受信リスト設定[必(必ず受信)]にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信します。
HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを受信、または拒否することができます。
URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを受信、または拒否することができます。
ウィルスメール規制	添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバで規制します。
拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかしないかを設定することができます。

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、次の優先順位にて判定されます。
　　ウィルスメール規制>受信リスト設定[必(必ず受信)](チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定[必(必ず受信)](チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定[必(必ず受信)](チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTO(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メールマガジン)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができないことがあります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
- ※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定[必(必ず受信)](チェック有り)」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。

- ・詳しくはauのホームページをご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/> →「迷惑メールでお困りの方へ」

SMSを利用する

SMSについて

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 待受画面で□(長押し)

待受画面で□→□(SMS切替)と操作しても表示できます。

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 □(新規作成)

SMS作成画面が表示されます。

・過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、スレッドを選択してもSMSを作成できます。その場合は、手順④へ進みます。

3 宛先入力欄を選択→相手先電話番号を入力

[④]→連絡先から相手先を選択することもできます。

海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」「+国番号」「+相手先電話番号」

※ 電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先入力欄を選択して「010」と「国番号」を入力してください。

※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文入力欄を選択→本文を入力→④(完了)

本文は、全角70／半角160文字相当まで入力できます。

5 □(送信)

送信したメッセージを選択→□(サブメニュー)→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

- ◎ 手順⑤の前に□を押すと、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- ◎ SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり(蓄積)します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数は300件です。
- ◎ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
- ◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
 - ・SMS蓄積後すぐに配信:新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
 - ・リトライ機能による配信:相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
 - ・通話を終了したときに配信:蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。
※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
- ◎ SMS送信時は、「発信者番号通知」の設定にかかる発信者番号が通知されます。
- ◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- ◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに▲が表示される場合があります。
- ◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受け取る

SMSを確認する

1 SMSを受信

- SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
- 待受画面に新着SMSのアイコン、ステータスバーに■が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに■が表示されます。
- 充電／着信ランプが点滅します。

2 待受画面で□(長押し)

- SMSのスレッド一覧画面が表示されます。
- 未読のSMSがあるスレッドには●が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドを選択→◎

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

◎ SMSの受信は、無料です。

◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 待受画面で□(長押し)→スレッドを選択→◎

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 電話番号があるメッセージを選択→◎

3 [電話]／[SMS]

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 メールアドレスがあるメッセージを選択→◎

送信メール作成画面が表示されます。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 URLがあるメッセージを選択→◎

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

◎ 本文中に利用できる電話番号、メールアドレス、URLが複数ある場合は、確認画面が表示されます。利用する電話番号、メールアドレス、URLを選択してください。

SMSを返信／転送する

1 待受画面で□(長押し)

2 返信／転送するスレッドを選択→◎

■ 返信する場合

3 本文を入力→◎(完了)

4 □(送信)

■ 転送する場合

3 ◎で転送するメッセージを選択

4 □(サブメニュー)→[転送]

5 [◎]→電話帳から宛先を選択→◎

宛先入力欄に宛先を直接入力することもできます。

6 本文入力欄を選択→本文を入力→◎(完了)

7 □(送信)

SMSを保護／保護解除する

1 待受画面で□(長押し)→スレッドを選択→◎

2 保護／保護解除するメッセージを選択→□(サブメニュー)

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには■が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 待受画面で□(長押し)→スレッドを選択→◎

2 受信したメッセージを選択して□(サブメニュー)→[アドレス帳に登録]

3 画面に従って操作

SMSを検索する

1 待受画面で□(長押し)

2 □(サブメニュー)→[検索]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 □(検索)

検索結果一覧が表示されます。

検索結果を選択すると、検索結果を含むスレッド内容表示画面が表示されます。

SMSを削除する

1 待受画面で□(長押し)

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドを選択→◎

3 削除するメッセージを選択

4 □(サブメニュー)→[削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 □(サブメニュー)→[削除]→[選択削除]

3 削除するスレッドを選択→◎

4 □(削除)→[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 □(サブメニュー)→[削除]→[全件削除]→[削除]

SMSを設定する

SMS設定をする

1 待受画面で□(長押し)

2 □(サブメニュー)→[設定]

SMS設定画面が表示されます。

3 通知設定	SMS受信時の通知を設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレーション、LEDも「OFF」になります。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→◎(確認)→□(決定)
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／[パターンを選択]→◎(確認)→□(決定)
LED	SMS受信時の着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 ◎署名(全角20／半角45文字まで)を入力→◎(完了)→□(設定)
受信フィルター	▶P.57「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手の方に届いた際、送信したメッセージに✓を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 「ホワイト」「ブラック」「ピンク」「グリーン」「ブルー」「オレンジ」

◎ SMS設定画面→□(サブメニュー)→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

■ 受信フィルターを設定する

- ① 待受画面で \square (長押し)→ \square (サブメニュー)→[設定]→[受信フィルター]

② 指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストに登録します。 電話番号を入力→ \bullet (完了)→ \square (追加)と操作すると番号を引用できます。 <ul style="list-style-type: none">・ [\bullet]→電話帳から電話番号を登録することもできます。・ スレッド内容表示画面で受信したメッセージを選択して\square(サブメニュー)→[受信フィルターに登録]→\square(追加)と操作しても登録できます。・ 登録した電話番号を削除するには、\square(削除)→[削除する番号を選択→\bullet→\square(削除)→[はい]と操作します。・ 電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。



インターネット

インターネットに接続する	60
パケット通信を利用する	60
ブラウザを利用する	60

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- ◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用できません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で●→[設定]→[通信・ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

- ◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- ・画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードや通信を行うアプリケーションなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ・ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

- ・初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。
・ブラウザでWebページを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。
・はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ ブラウザメニューを利用する

1 待受画面で④

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2 ホームページ	▶P.60「Webページを表示する」
ブックマーク	▶P.60「ブックマーク／履歴を利用する」
URL入力・Web検索	▶P.60「URL入力・Web検索を利用する」
履歴	▶P.60「ブックマーク／履歴を利用する」
auお客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。
ダウンロード	▶P.60「ダウンロードの履歴を確認する」
設定	▶P.60「ブラウザを設定する」
使ってみよう～タッチクルーザーEXのススメ～	タッチクルーザーEXの操作について確認できます。

■ Webページを表示する

1 ブラウザメニュー画面で[ホームページ]

ホームページ画面が表示されます。

初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- ◎ ブラウザ設定の「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
- ◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

■ ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザメニュー画面で[ブックマーク]／[履歴]

2 ブックマーク／履歴を選択

- ◎ ④(ブックマーク／履歴)を押して、ブックマークと履歴の一覧画面を切り替えられます。
- ◎ ブックマーク画面で④(サブメニュー)を押すとメニュー項目が表示され、フォルダの作成、ブックマークの削除／並べ替えなどの操作が行えます。
- ◎ 履歴画面で履歴を選択して④(サブメニュー)を押すとメニュー項目が表示され、ブックマークに登録や履歴の削除などの操作が行えます。

■ URL入力・Web検索を利用する

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 ブラウザメニュー画面で[URL入力・Web検索]

2 URL／キーワードを入力→④

入力したURLのページまたはキーワードで検索した結果のページが表示されます。

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

- ◎ キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の「検索エンジンの設定」で指定した検索エンジンを使用します。

■ ダウンロードの履歴を確認する

ブラウザでダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 ブラウザメニュー画面で[ダウンロード]

■ ブラウザを設定する

1 ブラウザメニュー画面で[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 各種項目を設定

■ ブラウザ画面の表示／文字サイズの拡大／縮小をする

■ 画面表示の拡大／縮小をする

① ブラウザ画面で①(縮小)／③(拡大)→④

①／③を押すごとに、画面表示を変更できます。

・拡大／縮小の操作中は、④を押しても画面表示を変更できます。

◎ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

■ 文字サイズの拡大／縮小をする

① ブラウザ画面で④(縮小)／⑥(拡大)→④

④／⑥を押すごとに、文字サイズを変更できます。

・拡大／縮小の操作中は、④を押しても文字サイズを変更できます。

◎ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

■ ブラウザ画面のサブメニューを利用する

① Webページを表示中に④(サブメニュー)

② ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

進む	④(戻る)を押してページを戻したときに表示され、④(戻る)を押す前に表示していたページに移動します。
ブックマーク一覧	▶P.60「ブックマーク／履歴を利用する」
ブックマークへ登録	表示中のサイトをブックマークに登録します。
履歴	▶P.60「ブックマーク／履歴を利用する」
新規タブ作成	表示中のタブとは別に、新しいタブを表示します。
タブ一覧	開いているタブの一覧を表示します。
URL入力／Web検索	▶P.60「URL入力・Web検索を利用する」
再読み込み／停止	表示中のサイトの再読み込み／読み込み中止を行います。
画像保存モード	画像保存モードに切り替わります。 カーソルでポイントを画像に移動後、画像を選択して保存できます。
テキストコピー	▶P.61「Webページの文字をコピーする」
拡大縮小	④で表示を拡大／縮小します。
文字サイズ変更	④で文字を拡大／縮小します。
ホーム	「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	▶P.60「ブラウザを設定する」
このリンク	選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。
ページ共有	メール等で情報を利用できます。
ページ情報	表示しているページの情報を表示します。
ページ検索	キーワードを入力して、ページ内を検索します。
ヘルプ	ブラウザのヘルプを表示します。

■ Webページの文字をコピーする

① Webページを表示中に④(サブメニュー)→[テキストコピー]

矢印のポインタが表示されます。

② ④でポインタをコピー開始位置に移動→④

・タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。④で操作してください。

③ ④でコピー範囲を選択

・開いているページの文字をすべて選択したいときは④(サブメニュー)→[全選択]と操作します。

④ ④(サブメニュー)→[コピー]

■ タッチクルーザーEXで操作する

タッチクルーザーEXの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチクルーザーEXについて詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

・ブラウザを起動すると、自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。

① タッチクルーザーEXを使って操作する

タップ:項目を選択したり、決定します。

フリック:画面をロングタッチして「」を表示した状態で、画面を上下にスクロールします。

ダブルタップ:画像を拡大／縮小します。

◎ ブラウザを利用中に④キーが動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります。



マルチメディア

カメラを利用する	64
カメラをご利用になる前に	64
静止画／動画を撮影する	64
カメラの機能を利用する	65
データを利用する	67
データフォルダを利用する	67
画像を編集する	68

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した静止画／動画が白っぽくなる場合があります。
- 動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 被写体がメインディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感じてしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - フレームなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人に目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることがあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- 撮影モードの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 電池残量が (残量約10%)以下の場合は、カメラを起動できません。
- 次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - 長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - 冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - 他のアプリケーションを起動している場合

静止画／動画を撮影する

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

静止画を撮影する

1 待受画面で

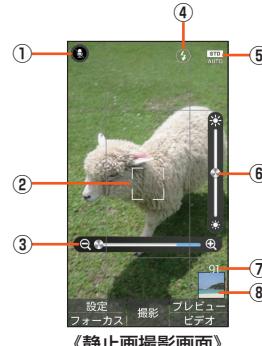
静止画撮影画面が表示されます。

- ズームアウト／ズームイン
- 明るさの調整
- (設定): カメラの設定メニューを表示
- (プレビュー): 撮影した静止画を表示
- (フォーカス): フォーカスをロック
- (ビデオ): 動画撮影に切替
- (※): 画面アイコンの表示／非表示切替

2 (撮影) / (シャッター/マーク)

撮影し、静止画を保存します。

静止画撮影画面の見かた



① 音声認識

② フォーカスマーク

「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。ポイントで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

③ ズーム

④ モバイルライト

⑤ 撮影モード

⑥ 明るさ調整

⑦ 撮影可能枚数

残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

⑧ ミニプレビュー

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

◎ タッチクルーザーEXのポイントで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を再生します。

■ 動画を撮影する

1 待受画面で \square (長押し)

動画撮影画面が表示されます。

④:ズームイン／ズームアウト

⑤:明るさの調整

⑥(設定):カメラの設定メニューを表示

⑦(プレビュー):撮影した動画を再生

⑧(フォト):静止画撮影に切替

※:画面アイコンの表示／非表示切替

2 ○(開始) / [シャッター/マナー]

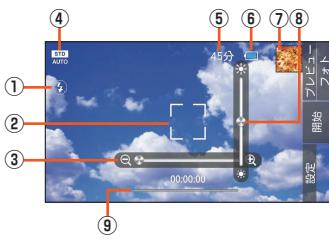
動画の撮影を開始します。

・動画撮影中に○(撮影)を押すと静止画を撮影できます。

3 ○(停止) / [シャッター/マナー]

動画撮影を終了し、動画を保存します。

■ 動画撮影画面の見かた



《動画撮影画面》

① モバイルライト

② フォーカスマーク

③ ズーム

④ 撮影モード

⑤ 撮影残時間

⑥ 電池残量

⑦ ミニプレビュー

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

⑧ 明るさ調整

⑨ 撮影時間

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

■ カメラの機能を利用する

1 カメラを設定する

1 待受画面で \square / \square (長押し) → \square (設定)

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ビデオへ切替	動画撮影に切り替えます。
カメラへ切替	静止画撮影に切り替えます。
モバイルライト	モバイルライトのON/OFFを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[⑨]を押しても設定できません。
モード切替	撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。 ・静止画／動画撮影画面で[②]を押しても設定できません。
カメラ	連写撮影、魚眼レンズ、ミニチュア効果、パノラマモードのとき通常のカメラに切り替えます。
おまかせ	被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
標準	標準的なモードです。
人物	人物撮影に適したモードです。
夜景人物	夜景での人物撮影に適したモードです。
風景	風景撮影に適したモードです。
夜景	夜景撮影に適したモードです。
料理	料理を撮影するのに適したモードです。
テキスト	文字を撮影するのに適したモードです。
セピア	セピア効果で撮影するモードです。
モノクロ	モノクロ撮影するモードです。
銀残し	暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。
連写撮影	1回の撮影で、12～50枚の写真を撮影するモードです。
魚眼レンズ	魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。
ミニチュア効果	ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。
パノラマ	パノラマサイズで撮影するモードです。
翻訳ファインダー	翻訳ファインダーを起動します。(▶P.66)
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。(▶P.66)
自動位置情報付加	位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[④]を押しても設定できません。
撮影サイズ	撮影サイズを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[①]を押しても設定できません。
NightCatch	暗いシーンを明るく撮影するかどうかを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[⑨]を押しても設定できません。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白と黒を軽減して撮影するかどうかを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[⑥]を押しても設定できません。
HQモード	ぶれを抑えて、ノイズを低減した高品位な静止画で撮影するかどうかを設定します。
フレーミングアドバイザー	撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドの種類を切り替えます。 ・静止画撮影画面で[⑧]を押しても設定できます。
特殊効果パターン	「モード切替」で「ミニチュア効果」に設定しているとき、効果のパターンを選択できます。
音声操作設定	音声認識での操作を使用するかどうかを設定できます。 ・静止画撮影画面で[⑤]を押しても設定できます。
詳細設定	▶P.66「カメラの詳細設定をする」
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。 ・静止画／動画撮影画面で[⑩]を押しても表示できません。

■ カメラの詳細設定をする

1 待受画面で◎→◎(長押し)→◎(設定)→[詳細設定]

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ISO感度	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
ホワイトバランス	撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
マイク	動画撮影時にマイクを利用するかどうかを設定します。
シャッターモード	被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するかどうかを設定します。
セルフタイマー	タイマーをセットし自動で撮影するかどうかを設定します。 ・静止画／動画撮影画面で[3]を押しても設定できます。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
手ぶれ軽減	手ぶれ軽減を利用するかどうかを設定します。 ・静止画撮影画面で[7]を押しても設定できます。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定できます。
保存先設定	保存先を本体またはmicroSDメモリカードに設定します。
微速度撮影間隔	動画撮影時の撮影間隔について設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

ISO感度について

◎ 「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

ホワイトバランスについて

◎ 室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「蛍光灯」や「電球」に設定して撮影すると改善されます。

◎ 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。

■ バーコードリーダーを利用する

バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。読み取った内容は、電話帳への登録やEメールの作成などに利用できます。

1 待受画面で◎→[カメラ]→[バーコードリーダー]

2 読み取りたいバーコードにカメラをかざしてメインディスプレイに表示

バーコードを自動的に読み取ります。

- 読み取りに成功したら、データの種類に応じて発信・登録などをしてください。
- ◎(読み取中断)を押すと、読み取りを一時的に中断します。◎(再認識)を押すと読み取りを再開します。

■ バーコードリーダーのサブメニューを利用する

バーコードがうまく読み取れないときに、明るさを調整したり、モバイルライトを点灯したりできます。また、登録したデータの確認もできます。

1 バーコード読み取り画面で◎(サブメニュー)

2 各項目を設定

- バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
- メインディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
- カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付着していると、バーコードがぼやけて読み取れなかったり、髪の毛やほこりなどのゴミがついて間違って読み取ったりすることがあります。読み取る前に柔らかい布などで拭いてください。

■ 翻訳ファインダーを利用する

カメラをかざすだけで英語を日本語へリアルタイムに翻訳できます。

・翻訳ファインダーは縦画面でのみ利用できます。

1 待受画面で◎→[カメラ]→[翻訳ファインダー]

2 翻訳したい英語にカメラをかざしてメインディスプレイに表示

画面に翻訳する英語の全体が表示されるようにしてください。
ディスプレイ上に翻訳された日本語が表示されます。

3 ◎

シャッター音が鳴り、そのままの静止画と翻訳された静止画が自動的に保存されます。

4 撮影した静止画を利用する

- 翻訳結果の表示／非表示を切り替えるには◎(表示切替)を押します。
- 画面を拡大／縮小するには◎(拡大)／◎(縮小)を押します。
- テキストをコピーするには翻訳結果画面で◎(サブメニュー)→[テキストをコピー]と操作します。
- テキストを送信するには翻訳結果画面で◎(サブメニュー)→[テキストを送信]と操作します。

■ 翻訳ファインダーの設定をする

1 翻訳ファインダー画面で◎(設定)

2 各項目を設定

◎ 英語から日本語へのみ翻訳できます。

◎ 英語のフォント、背景、文字色、文字サイズ、レイアウトなどによって、読み取れない場合や正しく翻訳されない場合があります。

◎ 日本語に翻訳されていないテキストは、コピーおよび送信できません。

◎ 文字列が水平になるように画面の傾きを調整すると、正しく翻訳できる場合があります。

データを利用する

データフォルダを利用する

データを表示／再生する

データフォルダは、本体メモリまたはmicroSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。

1 待受画面で○→[データフォルダ]

カテゴリが表示されます。

- データフォルダを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。
タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

写真	カメラで撮影した静止画を表示します。
画像	翻訳ファインダーで撮影した静止画やダウンロードした画像コンテンツなどを表示します。
音楽	音楽や効果音(サウンド)を表示します。
動画	動画を表示します。
書類	Officeのデータおよびテキストデータを表示します。
その他	その他のデータを表示します。
ユーザーフォルダ	ユーザーフォルダを表示します。

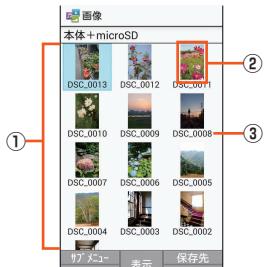
3 コンテンツ表示画面からデータを選択→○(表示／再生／開く)

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データを再生／表示します。

- 手順②で「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択するとコンテンツ表示画面が表示されます。

- データを再生／表示するアプリケーションが本製品に複数存在する場合、アプリケーションを選択する画面が表示されることがあります。
- データフォルダで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
- ユーザーフォルダにはデータの種類にかかわらず、他のカテゴリからデータを移動して整理できます。

■ コンテンツ表示画面の見かた



《コンテンツ表示画面（グリッド表示）》

① コンテンツ表示エリア

データの一覧を表示します。

② サムネイル

③ ファイル名

■ データを個別に操作する

1 コン텐츠表示画面でデータを選択→○(表示／再生／開く)

2 □(サブメニュー)

- ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したりできます。
削除	選択したデータを削除します。
スライドショー	スライドショーを表示します。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは「画像を編集する」(▶P.68)をご参照ください。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
設定	スライドショーやシャープネスの表示設定をします。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

画像を登録について

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

■ データを移動／コピーする

本体メモリ、またはmicroSDメモリカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

1 待受画面で○→[データフォルダ]

2 カテゴリを選択→○

3 □(サブメニュー)→[移動・コピー]

4 [microSDへ移動]／[microSDへコピー]／[本体へ移動]／[本体へコピー]／[ユーザーフォルダへ移動]／[ユーザーフォルダへコピー]

5 移動／コピーするファイルを選択→○

選択されたファイルに☑がつきます。

- すべてのデータを選択する場合は□(全選択)を押します。□(全解除)を押すと選択しているデータをすべて解除します。

6 □(移動／コピー)

- 「ユーザーフォルダへ移動」または「ユーザーフォルダへコピー」を選択した場合は、続けて移動／コピー先のフォルダを選択して○を押します。

■ データ保存先の表示を変更する

1 待受画面で○→[データフォルダ]

2 カテゴリを選択→○

3 □(保存先)→[本体+microSD]／[本体]／[microSD]

■ コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で○→[データフォルダ]

2 カテゴリを選択→○

- 「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、続けて表示するフォルダを選択して○を押します。

3 □(サブメニュー)

- ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

表示切替	リスト／グリッド／プレビュー表示を切り替えます。
フォルダ一覧／コンテンツ一覧	データフォルダの表示をフォルダ一覧／コンテンツ一覧に切り替えます。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは「画像を編集する」(▶P.68)をご参照ください。
送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したりできます。
移動・コピー	選択したデータを移動／コピーします。
1件削除	選択した1件のデータを削除します。
選択削除	選択したデータを削除します。
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
登録	音楽ファイルを着信音などに登録します。
メモリ使用状況	microSDメモリカードと本体メモリの容量を表示します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

登録について

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

■ ユーザーフォルダのサブメニューを利用する

1 待受画面で○→[データフォルダ]

2 [ユーザーフォルダ]

3 フォルダを選択→□(サブメニュー)

フォルダ名編集	選択したフォルダのフォルダ名を編集します。
フォルダ作成	新規フォルダを作成します。
フォルダ削除	選択したフォルダを削除します。フォルダ内のデータも削除されます。

画像を編集する

■ 画像編集で編集する

- ① 待受画面で◎→[データフォルダ]
- ② 「写真」／「画像」／「ユーザーフォルダ」→◎
 - ・「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、続けて表示するフォルダを選択して◎を押します。

- ③ データを選択→□(サブメニュー)→[画像編集]

- ④ □(サブメニュー)

⑤ トリミング	画像を切り取ります。
リサイズ	画像のサイズを変更します。
回転	画像を回転させます。
鏡	画像を鏡に映したように上下左右に反転させます。
エフェクト	画面にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。
補正効果	画面の明るさやシャープネスなどを補正します。
日付スタンプ	画面に日付スタンプを追加します。
顔かくし	顔と認識された画像に処理を施してかくします。

ワンセグ

ワンセグについて	70
テレビの初期設定をする	70
テレビ番組を見る	70
番組表を利用する	71
チャンネルリストを切り替える	71
テレビの設定をする	71
TVリンクを利用する	71

ワンセグについて

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページをご確認ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

■ ワンセグ利用時のご注意

- ・ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ・ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- ・ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- ・海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- ・放送局から遠い地域または極端に近い地域
- ・移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- ・山間部やビルの陰
- ・高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- ・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- ・室内で視聴する場合は、窓のそばの方方がより受信状態が改善されます。

■ テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電池残量による動作

電池残量が \square (残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。

■ テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見るることができます。

① 待受画面で \circlearrowright →[ツール]→[TV(ワンセグ)]

使用許諾画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

② [地域を選んで作成]

地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面の指示に従って操作してください。

③ 地方を選択→ \circlearrowright

④ 都道府県を選択→ \circlearrowright

⑤ 地域を選択→ \circlearrowright

放送局の検索が開始されます。

⑥ チャンネルリストを確認→ \square (完了)

■ テレビ番組を見る

■ テレビ番組を視聴する

① 待受画面で \circlearrowright →[ツール]→[TV(ワンセグ)]

〔データ操作／テレビ操作〕:データ操作モード／テレビ視聴モードの切り替え

〔画面回転〕:画面表示を縦画面／横画面に切り替え

■ テレビ視聴モードでのキー操作について

テレビ視聴モードではチャンネルの切り替えや音量の調整ができます。

①※1※2/ \square ※2/ \checkmark ※2: 音量調節(15段階の音量または消音)

②※1: チャンネルの切り替え、長押しでチャンネルサーチ

〔①〕→〔⑨〕、〔※〕、〔#〕: チャンネルの切り替え

〔ⓧ〕: 終了

※1 画面の表示方法によって操作が異なります。

※2 Bluetooth®接続中はBluetooth®リモコンから音量の調節が可能となります。

ただし、Bluetooth®機器によっては音量の調節ができない場合があります。

■ データ操作モードでのキー操作について

データ操作モードでは情報表示エリアの情報(データ放送)を利用できます。

①: カーソル移動、スクロール

〔①〕→〔⑨〕、〔※〕、〔#〕: コンテンツで割り当てられた項目を選択

②: 項目を選択

〔ⓧ〕: データ放送の1つ前のページに戻る

③ テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

④ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

⑤ テレビ起動中はカメラを使用できません。

⑥ データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

■ テレビ画面の見かた



《テレビ視聴画面》

① 番組情報

番組タイトルや放送局名などを表示します。

② 映像

③ 字幕

字幕表示を有効にすると、字幕欄に字幕が表示されます。

④ 情報表示エリア

⑤ 音量

■ テレビ視聴画面のサブメニューを利用する

1	待受画面で◎→[ツール]→[TV(ワンセグ)]
2	□(サブメニュー)
3	※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
テレビ終了	テレビを終了します。
画面回転	画面の縦横を切り替えます。
チャンネル一覧	チャンネル一覧を表示します。
番組表	▶P.71「番組表を利用する」
音声／字幕設定	音声切替 音声の出力種別を設定します。 音声多重切替 主音声と副音声の設定をします。 字幕切替 字幕の表示方法を設定します。
チャンネル設定	チャンネルサーチ チャンネルを検索します。 サービス選局 受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。 チャンネルリスト切替 ▶P.71「チャンネルリストを切り替える」 チャンネルリスト編集 ▶P.71「チャンネルリストを切り替える」 チャンネル個別登録 視聴中のチャンネルを選択したリモコン番号に登録できます。
データ放送再読み込み	データ放送を再読み込みします。
設定	▶P.71「テレビの設定をする」
TVリンク	▶P.71「TVリンクを利用する」
操作ガイド	視聴画面での操作方法を表示します。

番組表を利用する

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→□(サブメニュー)→[番組表]
番組表画面が表示されます。
- 2 番組を選択→◎
番組詳細画面が表示されます。

■ チャンネルリストを切り替える

お使いの地域によって受信チャンネルは異なります。チャンネルリストを登録し、お使いの地域に合わせて切り替えることができます。チャンネルリストは3件まで登録できます。

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→□(サブメニュー)→[チャンネル設定]

■ 登録済みのチャンネルリストに切り替える場合

- 2 [チャンネルリスト切替]→登録済みのチャンネルリストを選択→◎
チャンネルリストが切り替わります。

■ チャンネルリストを登録する場合

- 2 [チャンネルリスト編集]

チャンネルリスト編集画面が表示されます。

- 3 □(サブメニュー)→[作成]

- 4 [地域を選んで作成]

地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面に従って操作してください。

- 5 地方を選択→◎

- 6 都道府県を選択→◎

- 7 地域を選択→◎

放送局の検索が開始されます。

- 8 □(完了)

■ チャンネルリスト編集画面のサブメニューを利用する

- 1 チャンネルリスト編集画面で□(サブメニュー)

2	作成	▶P.71「チャンネルリストを登録する場合」
	削除	選択したチャンネルリストの削除を行います。
	再スキャン	選択中のチャンネルリストの再設定をします。
	チャンネルリスト名変更	選択中のチャンネルリストの名前を変更します。

■ テレビの設定をする

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→□(サブメニュー)→[設定]

2	データ放送設定	通信接続時の確認 通信開始時に確認画面を表示するかどうかを設定します。 位置情報設定 位置情報の利用について設定します。 製造番号の利用 製造番号を利用するかどうかを設定します。 放送局メモリ初期化 放送局メモリを初期化します。
	オフタイマー設定	ワンセグを自動で終了するまでの時間を設定します。
	クローズ動作設定	ワンセグ視聴時に、本製品を閉じたときの動作を設定します。
	製品情報	ロゴ、著作権、およびバージョンなどの情報を表示します。

■ TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(TVリンク)が表示される場合があります。TVリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

・TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[TV(ワンセグ)]→□(サブメニュー)→[TVリンク]
TVリンクリスト画面が表示されます。

- 2 TVリンクを選択→◎

TVリンク詳細画面が表示されます。

リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ 削除したいTVリンクを選択し□(サブメニュー)→[削除]→[OK]と操作してTVリンクを削除できます。



アプリケーション

SHSHOWを利用する.....	74
auナビウォークを利用する.....	74
au Wi-Fi接続ツールを利用する.....	74
セルフチェックを利用する.....	74
au お客さまサポートを利用する.....	74
リモートサポートを利用する.....	74
安心アクセス for 4G LTEケータイを利用する.....	74
auスマートパスを利用する.....	75
auシェアリンクを利用する.....	75
データお預かりを利用する.....	75
モバイルSuicaを利用する.....	75

SHSHOWを利用する

コンテンツのダウンロードや閲覧などのさまざまなサービスを利用できます。

① 待受画面で○→[アプリ サービス]→[SHSHOW]

初回起動時には利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

② サービスを選択→○

auナビウォークを利用する

鉄道やバス、飛行機、フェリー、車などさまざまな交通手段と徒步を組み合わせて最適なルートをご案内します。

徒步ルートのときは音声とバイブでわかりやすくナビゲートするので、初めて訪れる場所でも安心です。

① 待受画面で○→[アプリ サービス]→[auナビウォーク]

② 画面に従って操作

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi[®])親機と簡単に接続できます。外出先ではau Wi-Fiのご利用可能なスポットですぐにWi-Fi[®]が使えるようになります。

・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面で回(サブメニュー)→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

① 待受画面で○→[ツール]→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。

初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

② 画面に従って操作

セルフチェックを利用する

本製品の設定や状態を診断し、問題が見つかった場合は状況や解決方法を確認したりできます。

① 待受画面で○→[設定]→[その他]→[セルフチェック]

セルフチェックトップ画面が表示されます。

② ○(診断開始)→診断対象を選択→○→○(次へ)→○(次へ)→○(診断)

診断対象ごとに説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

au お客さまサポートを利用する

ケータイのご利用状況(ご利用金額／ポイント／データ通信量など)を照会できるほか、料金プラン・オプションサービスなどのお申し込み手続きができます。

① 待受画面で○→[安心 安全]→[au お客さまサポート]

auお客さまサポートウェブサイトのトップ画面が表示されます。

お手続きしたいメニューをお選びください。

ケータイのご利用方法やauの各種サービス等のよくあるご質問もご確認いただけます。

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。

携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

① お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から／通話料無料)、**0077-7-111**(一般電話から／通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

② 待受画面で○→[安心 安全]→[リモートサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

③ オペレーターの指示に従って操作

安心アクセス for 4G LTEケータイを利用する

お子様に携帯電話を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリを保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間など携帯電話のご利用を制限したりすることもできます。

・ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

① 待受画面で○→[安心 安全]→[安心アクセス for 4G LTE ケータイ]

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。利用規約の内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

・安心アクセスを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

② [au IDでログイン]→[ログイン]→画面に従って操作

ご利用になるお子様のau IDでログインしてください。

③ 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

④ フィルタリングの強度を選択

小学生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報を読み取るものの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・EMA [※] が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るものの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・EMA [※] が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 ・EMA [※] が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

⑤ [サービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。「デバイス管理機能」を有効にする画面が表示されます。

⑥ [有効にする]

ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

① 待受画面で○→[安心 安全]→[安心アクセス for 4G LTE ケータイ]

② ○(サブメニュー)→[管理者登録]

管理者登録の設定画面が表示されます。

③ 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

④ 管理者IDを入力→○(完了)→管理者ID(確認)を入力→○(完了)→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

⑤ [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、anshin-access@netstar-inc.comよりメールが送信されます。

⑥ 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→○(完了)→[管理者登録を行う]→[OK]

○ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。
・本製品から接続することはできません。管理者ページのURLの共有のみ行えます。

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[安心アクセス for 4G LTE ケータイ]

2 □(サブメニュー)→[設定]→[管理者ページについて]

3 [URLを共有]

メールや赤外線送信などで管理者ページのURLを共有できます。

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/4glte-featurephone/safety/anshin-access/>

auスマートパスを利用する

「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。人気のアプリ・クーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、お得で、楽しく、あんしんなケータイライフを提供します。
・利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

1 待受画面で◎→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- ・auスマートパスアプリのご利用にはau IDが必要です。
- ・au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- ・auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。auスマートパスの各コンテンツはサイドメニュー*からご利用頂けます。
- ・auスマートパスを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

* サイドメニューを表示するには画面左下の「メニュー」を選択して◎を押してください。

2	アプリ	人気のゲームや役立つアプリがダウンロード可能！
	会員特典	いろんなお店で使える会員限定のクーポンなど特典がいっぱい！
	あんしん	あなたの携帯電話をしっかり守ります！

- ◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- ◎ アプリケーションなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auシェアリンクを利用する

本機に届いた電話着信やSMSなどの新着通知をタブレットにお知らせしたり、本機の画面をタブレットで表示・操作するなど、本機とタブレットを連携させてより便利に使うことができます。

1 待受画面で◎→[ツール]

2 [auシェアリンク]

初回起動時には利用規約の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- 自動的にタブレットとのペア設定が開始されます。
・以降は画面の指示に従って操作してください。

データお預かりを利用する

microSDメモリカードを使って本製品のデータをバックアップ／復元したり、これまでお使いのau電話からデータを引き継いだりできます。

- ・microSDメモリカードを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリカードに保存してください。

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[データお預かり]

確認画面が表示された場合は内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2	SDカードへデータを保存する／戻す	microSDメモリカードを利用してデータを保存／復元します。
	auサーバヘアドレス帳を預ける／戻す	電話帳のデータをauサーバに保存できます。ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、「設定ガイド」をご参照ください。
	データ移行	これまでお使いのau電話から、microSDメモリカードやauスマートパスを使ってデータの引き継ぎができます。

モバイルSuicaを利用する

モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れたり、買い物ができるサービスです。

クレジットカードを使わずに、「auかんたん決済」を使って入金し、日々の通信料金と合算してお支払いいただける「EASYモバイルSuica」サービスもご利用いただけます。

※「auかんたん決済」での入金は上限額がございます。また、携帯電話料金のお支払い手段によっては、ご利用いただけない場合があります。

※「EASYモバイルSuica」では、オートチャージ、定期券など一部サービスをご利用いただけません。

1 待受画面で◎→[アプリ サービス]→[モバイルSuica]

■ モバイルSuicaのお問い合わせについて

モバイルSuicaコールセンター

048-645-7007(受付時間:7:00~23:00)

ツール

モバイルライトを利用する	78
スクリーンショットを撮影する	78
電池の消耗を抑える	78
メモ帳を利用する	79
カレンダーを利用する	79
アラームを利用する	80
世界時計を利用する	80
ストップウォッチを利用する	80
タイマーを利用する	80
歩数計を利用する	81
電卓で計算する	81
エモバーの設定をする	82
LINEを利用する	82
LISMOを利用する	82
安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには	82
ケータイ探せて安心サービスを利用する	83
mamorino Watch ナビを利用する	83

モバイルライトを利用する

1 本製品を閉じているときに□(長押し)

モバイルライトが点灯します。

再度□を長押ししたり、本製品を開くと消灯します。

- ◎ モバイルライトを目前に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

1 □と回りを同時に長押し

表示している画面のスクリーンショットを撮影します。

- ・撮影したスクリーンショットはデータフォルダの「画像」から確認できます。

- ◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

- ◎ カメラを起動しているときにスクリーンショットを撮影すると、撮影時に効果音が鳴ります。

電池の消耗を抑える

省エネモード設定を利用する

省エネモードをONに設定することで電池の消耗を抑えることができます。

1 待受画面で○→[設定]→[省エネ・電池]→[省エネモード設定]

省エネモード画面が表示されます。

2 省エネモード	省エネモードのON/OFFを切り替えます。
電池残量で切替	▶P.78「指定した電池残量で省エネモードのON/OFFを切り替える」
時刻で切替	▶P.78「指定した時刻で省エネモードのON/OFFを切り替える」

- ◎ アプリケーションによっては、省エネモードをONに設定することで正しく動作しない場合があります。

- ◎ 定期的に通信をするアプリケーションの中には、省エネモードをONからOFFに設定しても通信を開始しないものがあります。この場合は本製品を再起動してください。

■ 指定した電池残量で省エネモードのON/OFFを切り替える

指定した電池残量になると自動的に省エネモードのON/OFFを切り替えることができます。

1 省エネモード画面→[電池残量で切替]

2 電池残量を選択→○

■ 指定した時刻に省エネモードのON/OFFを切り替える

指定した時刻に自動的に省エネモードのON/OFFを切り替えることができます。

1 省エネモード画面→[時刻で切替]

2 切替時刻を選択→回り(詳細設定)

3 切替時刻	省エネモードのON/OFFを切り替える時刻を設定します。
省エネモード切替	「切替時刻」で指定した時刻になったときに、省エネモードをONにするかどうかを設定します。

4 クリア

5 ○(チェック／解除)を押して有効(○)／無効(□)を切り替える

- ◎ 切替時刻に電源が入っていない場合、モードは切り替わりません。
- ◎ 「電池残量で切替」の設定に従って省エネモードがONに設定された場合、指定した電池残量に回復するまでの間は、切替時刻になんでも省エネモードのON/OFFは切り替わりません。

省エネモードの詳細設定をする

1 待受画面で○→[設定]→[省エネ・電池]→[省エネモード設定]→回り(詳細設定)

2 各項目を設定

■ 設定項目と初期設定一覧

- ・ON:省エネモードがONに切り替わったときに機能を有効にします。
- ・OFF:省エネモードがONに切り替わったときに機能を無効にします。

項目	概要	初期設定
画面の明るさ	画面の明るさについて設定します。	3段階目／5段階中
サブディスプレイ	サブディスプレイを設定します。	OFF
アニメーション	画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。	なし
バックライト点灯	バックライトの点灯時間を設定します。	15秒
キーバックライト	キーバックライトを点灯させるかどうか設定します。	OFF
光を点滅させて通知	新着通知受信時、画面消灯中に充電／着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。	OFF
効果音	電話番号やフッシュ信号入力時、メニューやアイコン選択時、画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。	OFF
GPS	位置情報を自動的に取得させるかどうかを設定します。	OFF
省エネ液晶ドライブ	画面表示のなめらかさを設定します。	OFF
音声認識	音声入力によるアプリケーション操作をします。	OFF

メモ帳を利用する

メモ帳を登録する

- 待受画面で◎→[ツール]→[メモ帳]
- (新規作成)→内容を入力→◎(完了)

メモ帳を確認する

- 待受画面で◎→[ツール]→[メモ帳]
メモ帳一覧画面が表示されます。

- メモを選択→◎
メモ帳表示画面が表示されます。

内容を確認

メモを編集する

- メモ帳表示画面で□(編集)
- 内容を編集→◎(完了)

メモを削除する

- メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で□(サブメニュー)→[1件削除]→[はい]

メモを選んで削除する

- メモ帳一覧画面で□(サブメニュー)→[選択削除]
- メモを選択→◎→□(削除)→[はい]

メモを送信する

- メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で□(サブメニュー)→[1件送信]

- 送信方法を選択→◎→[はい]
対応したアプリケーションが起動します。

メモを選んで送信する

- メモ帳一覧画面で□(サブメニュー)→[選択送信]
- 送信方法を選択→◎→メモを選択→◎→□(送信)→[はい]
対応したアプリケーションが起動します。

メモを検索する

- メモ帳一覧画面で□(サブメニュー)→[メモ検索]
- ◎(編集)→キーワードを入力→◎(完了)→□(検索)→メモを選択→◎

メモを利用する

- メモ帳表示画面で□(サブメニュー)→[メール本文へ挿入]／[.txtに変換]
・変換したテキストファイルは、データフォルダの「書類」から確認できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを表示する

カレンダーを1週間／1ヶ月単位で表示できます。

- 待受画面で◎→[ツール]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

画面の最下行に表示された内容に対応するキーを押すと、カレンダーの表示を切り替えることができます。

例:月表示の場合

□(表示切替):週表示／月表示を切り替え

□(前月):前月を表示

□(翌月):翌月を表示

- 予定のある日付／時刻を選択→◎

当日の予定リストが表示されます。

- 予定を選択→◎

予定の詳細が表示されます。

カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面(週表示)》

① 月日表示

② 選択されている日時

③ 予定

予定がある場合に表示されます。

登録した予定の期間などによって表示は異なります。

④ 月表示の場合、今日の日付が黄色で表示されます。

予定を新規登録する

- 待受画面で◎→[ツール]→[カレンダー]

- (サブメニュー)→[予定を作成]

予定の無い日を選択して◎を押しても予定を作成できます。

- 必要な項目を設定

- (登録)

○ 予定作成画面で□(サブメニュー)を選択すると、予定のカラーを設定したり、通知の追加／削除ができます。

カレンダー画面のサブメニューを利用する

- 待受画面で◎→[ツール]→[カレンダー]→□(サブメニュー)

予定を作成	▶P.79「予定を新規登録する」
当日予定リスト	選択している日付の当日予定リストを表示します。
今日へ移動	今日の日付のカレンダーを表示します。
設定	カレンダーの設定を行います。
検索	予定を検索します。
休日設定	指定した日付や特定の曜日を休日に設定できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で◎→[ツール]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 登録先を選択→◎(編集)

・登録先を追加するときは+を選択して◎を押してください。

3 時刻を設定→◎(確定)

4 各項目を設定する

名称	名称を変更します。
繰り返し	繰り返しアラームが鳴動するように設定します。
アラーム音	アラーム音を変更します。
バイブレータ設定	バイブルーティアを利用するかどうかを設定します。
スヌーズ設定	スヌーズを利用するかどうかを設定します。
スヌーズ/詳細設定	スヌーズの間隔や回数、鳴動時間を設定します。

- ◎ アラームを解除するときは、アラーム一覧画面で解除したい登録先を選択して◎を押します（「ON」→「OFF」に表示が切り替わります）。
- ◎ アラーム設定時刻に電源が入っていないときは、アラームは動作しません。
- ◎ 通話中は、アラーム設定時刻にならぬアラームが動作しません。
通話を終了すると、アラームが動作します。
- アラームを設定した時刻になると
 - ◎ アラーム音やバイブルーティアでお知らせします。
・アラームを解除するには何かキーを押します。
 - ◎ スヌーズが設定されているときは◎(停止)を押すとスヌーズを停止します。
それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

■ マナーモード中の鳴動を設定する

1 アラーム一覧画面で◎(サブメニュー)→[設定]→[マナーモード時設定]

2 設定を選択→◎

■ アラーム音量を設定する

1 アラーム一覧画面で◎(サブメニュー)→[設定]→[アラーム音量]

2 音量を調節→◎

■ 登録先を削除する

1 アラーム一覧画面で削除したいアラームを選択→◎(サブメニュー)

2 [1件削除]→[はい]

■ 登録内容を初期化する

1 アラーム一覧画面で初期化したいアラームを選択→◎(サブメニュー)

2 [リセット]→[はい]

世界時計を利用する

世界各地の時刻を10都市まで表示できます。

1 待受画面で◎→[ツール]→[世界時計]

世界時計画面が表示されます。

2 [+]

3 都市を選択→◎

■ サマータイムを設定する

1 世界時計画面でサマータイムの設定をしたい都市を選択→

2 ◎(サブメニュー)→[サマータイム切り替え]

サマータイムを設定した都市は*が表示されます。

■ 都市を選んで削除する

1 世界時計画面→◎(サブメニュー)→[選択削除]

2 都市を選択→◎→◎(削除)→[はい]

■ 都市の表示順を並べ替える

1 世界時計画面→◎(サブメニュー)→[並べ替え]

2 並べ替える都市を選択→◎→◎で変更する位置まで移動 →◎→◎(決定)

ストップウォッチを利用する

ストップウォッチを利用して、経過時間（ラップタイム）／合計経過時間（スプリットタイム）を計測できます。

1 待受画面で◎→[ツール]→[ストップウォッチ]

2 ◎(スタート)

◎(ラップ)を押すとラップタイム／スプリットタイムを計測します。

3 ◎(ストップ)

計測終了後に◎(リセット)を押すと、計測結果をリセットできます。

◎ ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

タイマーを利用する

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブルーティアでお知らせします。

1 待受画面で◎→[ツール]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

2 時間を入力→◎(スタート)

カウントダウンを開始します。

・◎(ストップ): カウントダウンを一時停止します。

・◎(リセット): カウントダウンをリセットします。

・タイマーを設定した時間になるとアラーム音やバイブルーティアが鳴動します。

停止するには画面に従って操作してください。

■ アラーム音を変更する

1 タイマー画面で◎(設定)→[アラーム音]

2 アラーム音を選択→◎(確認)→◎(決定)

アラーム音を選択するアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ バイブルーティアを設定する

1 タイマー画面で◎(設定)→[バイブルーティア設定]

「バイブルーティア設定」を選択して◎を押すごとにON/OFFが切り替わります。

■ タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面で◎(設定)→[名称]

2 名称を入力→◎(完了)

歩数計を利用する

歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録できます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

① 待受画面で◎→[ツール]→[歩数計]

② □(サブメニュー)→[歩数計設定]

③ [ユーザー情報]→ロックを解除

④ 各項目を設定

お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時の注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

○ 本製品が不規則に動く場合

- ・本製品を入れたかばんなど、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
- ・本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき

○ 不規則な歩行をした場合

- ・すり足のような歩きかたや、サンダル、靴下、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき

○ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

○ 上下運動や振動の多いところで使用した場合

- ・立ったり座ったりしたとき

・スポーツを行ったとき

・階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき

・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき

・スピーカーから音が出ているとき

・バイブレータが振動しているとき

○ 極端にゆっくり歩いた場合

歩数計画面の見かた



《歩数計画面》

① 今日の目標達成率(目標設定時のみ有効)

② 今週のエクササイズ(身体活動)量

③ 今日のエクササイズ(身体活動)量

④ 今日の歩数

⑤ 今日の歩行距離

⑥ 今日の消費カロリー

歩数の履歴を表示する

① 待受画面で◎→[ツール]→[歩数計]

② □(履歴)

- ・履歴表示後に□を押すごとに、「日別」「週別」「月表示」「時間別」の表示へ切り替えができます。

- ・項目を選択して◎を押すと、詳細情報が表示されます。

歩数計画面のサブメニューを利用する

① 待受画面で◎→[ツール]→[歩数計]

② □(サブメニュー)

3 歩数計設定	歩数計の設定ができます。(▶P.81)
目標設定	目標の歩数、消費カロリーなどを設定できます。
データリセット	累積データをリセットします。
累積データ	累積データを確認します。
ヘルプ	歩数計のヘルプを表示します。

歩数計の設定をする

① 待受画面で◎→[ツール]→[歩数計]

② □(サブメニュー)

③ [歩数計設定]

4 歩数計ON	歩数計のON/OFFを設定します。
ユーザー情報	身長、体重、歩幅を設定します。
歩数計リセット時刻	歩数計の1日分のデータ表示をリセットする時刻を設定します。

電卓で計算する

① 待受画面で◎→[ツール]→[電卓]

② 割り当てられたキーを押して計算する

計算結果画面が表示されます。

計算結果をコピーする

① 計算結果画面で□(サブメニュー)→[コピー]

○ 電卓がバックグラウンドで動作しているとき、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

エモパーの設定をする

あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に合わせ、音声とサブディスプレイの表示で感情豊かにお話しします。
本製品の使用状況を学習することで、より適切なタイミングで情報を伝えするようになっていきます。

■ エモパーを設定する

1 待受画面で○→[ツール]→[エモパー]

エモパーの画面が表示されます。エモパーの状態やお客様についての情報などが確認できます。
初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
・初期設定完了後に「あなたについて」の「誕生日」を設定すると星座ランキングをお話ししてくれるようになります。

2 □(設定)

エモパー設定	エモパーのON/OFFを切り替えます。
エモパー選択	エモペー や名前を設定します。
基本動作について	お話しする音量 エモパーの話し声の音量を設定します。 マナーモード中も声でお話し マナーモード設定中でも音声でお伝えするかどうかを設定します。 近くの振動を察知 周囲の振動を検知してお話しするかどうかを設定します。 自宅の特定にWiFiも使用 位置情報の取得にWi-Fi [®] を利用するかどうかを設定します。 ユーザーデータをサーバーで解析 ユーザーデータをサーバーで解析することを許可するかどうかを設定します。
あなたについて	お客様の情報を設定します。
エモパーの話題	エモパーがお伝えする情報を設定します。
エモパーの記憶	エモパーに設定した情報やエモパーが学習した内容の保存や削除、復元をします。
初期設定	エモパーの初期設定を行います。
注意事項	エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。
FAQ	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- エモパーは日本語のみ対応しています。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。
- エモパーがお伝えする情報は、本製品の使用状況と正確には合っていない場合があります。
- エモパーの初期設定を行うと「歩数計設定」の「歩数計ON」が有効になります。
- 自宅や周辺の施設情報を認識するために、位置情報を取得する場合があります。位置情報の取得には、「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。また、「モード」は「高精度」に設定してください。「位置情報」が「OFF」のときや、「モード」が「バッテリー節約」のときは、位置情報が必要な情報を伝えできません。
- エモパーが話しているときに■/■を押すと音量を調節できます。
- エモパーが話すタイミングについて**
○ 「あなたについて」の「自宅」や「自宅のほかにお話しできる場所」に設定した場所で、本製品を閉じた状態で、地面に対して水平に近い状態で置いたときや卓上ホルダ(別売)を利用して充電しているときなどに話します。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- 本機を閉じた状態でサブディスプレイ表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。
- エモパーのお話し中に本機を開くと、メインディスプレイに情報が表示されます。

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

・LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[●]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で○→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。

初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.26)をご参照ください。

○ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。

○ 「ユーザー補助」(▶P.88)の「Key Translator」をOFFに変更すると、LINE上でキーのフォーカス表示がされなくなります。「ユーザー補助」については設定を変更せずにご利用ください。

LISMOを利用する

音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。

・利用方法などの詳細については、LISMOの画面で[ライブラリ]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で○→[アプリ サービス]→[LISMO]

LISMOのトップページが表示されます。

初回起動時には利用規約の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [ライブラリ]→[全曲一覧]/[アーティスト一覧]/[アルバム一覧]/[プレイリスト一覧]→楽曲を選択→○

○ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには

あらかじめ設定をしていない場合でも、お客様センターへ電話をすることで、遠隔操作で画面やおサイフケータイ[®]のロックなどをかけることができます。安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■ お客様センターに電話して遠隔ロックをかける／解除する

一般電話からは 0077-7-113(通話料無料)

au電話からは 局番なしの113(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■ 安心ロックサービスご利用にあたっての注意

・安心ロックサービスは、ご契約者からのお申し出があった場合に遠隔ロックをかけます。

・本製品の電源が入っていない場合や、本製品がサービスエリア外にある場合、「機内モード」が「ON」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所に本製品がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。

・au Nano IC Card 04が挿入されていない場合や、お客様のau Nano IC Card 04以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。

・本製品を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.116)をご参照ください。

■ 遠隔ロックによる制限内容

遠隔ロック中は、次のように本製品の使用が制限されます。

・「画面のロック」「おサイフケータイ ロック」が一時的にかかります。

・待受画面は表示されず、「リモートロック中」と表示されます。

・アラームは、起動しません。

○ 遠隔ロック中でも、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へは、[緊急通報]→番号を入力→○(発信)で電話をかけることができます。緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」「186」を入力してから電話をかけることもできます。

ケータイ探せて安心サービスを利用する

ケータイ探せて安心サービスをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客様センターがお客様に代わってau電話のおおよその位置を検索できます。

■ お客様センターに電話してケータイ探せて安心サービスを利用する

一般電話からは **0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは **局番なしの113**(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■ ケータイ探せて安心サービスの位置測位設定を切り替える

本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置測定設定が「許可する」に設定されています。

次の操作から位置測定設定を「許可しない」へ変更することができます。

① 待受画面で◎→[設定]→[位置情報]

② [位置測位設定]→[許可する]／[許可しない]

- ◎ 本製品の位置を検索すると、充電／着信ランプが赤色に点滅します。
ただし、充電中は青色／赤色に点滅(または青色／緑色に点滅)します。
- ◎ お客様センターの操作により本製品の位置を検索した場合、その旨のメッセージが画面に表示されます。
- ◎ お客様センターへの電話による検索の場合、1回あたり300円(税抜)の検索料がかかります。

※ 圏外や電源OFFの場合など検索結果が戻らない場合、検索料はかかりません。

mamorino Watch ナビを利用する

mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。

① 待受画面で◎→[ツール]→[mamorino Watch ナビ]

初めて起動したときは、利用規約同意画面が表示されます。利用規約の内容をご確認いただき、◎(同意)を押してください。

② 画面に従って操作



端末設定

設定メニューを表示する	86
壁紙・ディスプレイの設定をする	86
音・バイブの設定をする	86
au IDの設定をする	86
セキュリティの設定をする	87
通信・ネットワークの設定をする	87
位置情報の設定をする	88
その他の設定をする	88

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で○→[設定]

項目	概要	参照先
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさの設定、文字フォントの切替などを行います。	P.86
音・バイブ	マナーモードの設定や着信時の音量や音などを変更できます。	P.86
au ID 設定	au IDを設定します。	P.86
セキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。	P.87
省エネ・電池	省エネモード設定や電池利用状況の確認ができます。 ・省エネモード設定について詳しくは、「省エネモード設定を利用する」(▶P.78)をご参照ください。	—
Wi-Fi	Wi-Fi [®] について設定します。	P.96
Bluetooth	Bluetooth [®] について設定します。	P.99
通信・ネットワーク	機内モード、テザリング、およびVPNなどネットワークについて設定します。	P.87
位置情報	位置情報の設定をします。	P.88
その他	日付と時刻、言語選択、およびスクリーンセーバーなどを設定します。	P.88

壁紙・ディスプレイの設定をする

1 待受画面で○→[設定]→[壁紙・ディスプレイ]

2	待受画面・壁紙	待受画面の壁紙などを変更します。
	画面の明るさ	バーを動かして、明るさを手動で調整します。
	バックライト点灯時間	本製品を操作しないときに画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
	文字フォント設定	文字サイズ(全般) 文字サイズを設定します。 文字サイズ(LINE) LINEで表示する文字のサイズを設定します。 文字フォント切替 画面に表示される文字フォントを設定します。
	のぞき見防止	のぞき見防止 ベールビューを利用して周囲から画面をのぞかれにくくするかどうかを設定します。 表示パターン ベールビューのパターンを設定します。 見栄え補正 ベールビューの正面からの見栄えを設定します。
	サブディスプレイ	表示時間設定 サブディスプレイの表示時間設定します。 着信相手表示 着信相手を表示するかどうかを設定します。 点灯設定 本製品を閉じるときにサブディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。

のぞき見防止について

- ◎ [回(長押し)]の操作でのぞき見防止機能のON/OFFを切り替えることもできます。

音・バイブの設定をする

1 待受画面で○→[設定]→[音・バイブ]

2	マナーモード設定	▶P.86「マナーモードを設定する」
	音量	着信音やアラーム音、音楽、動画再生時などの音量を設定します。
	着信音・お知らせ音	電話着信 着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。
	メール	Eメールの着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。
	SMS	SMSの着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。
	お知らせ	お知らせ音または鳴動時間などを設定します。
	アラーム	アラーム音量やマナーモード時にアラームを鳴らすかどうかなどを設定します。
	タイマー	アラーム音またはバイブレータのON/OFFを設定します。
	LISMO Store	LISMO Storeを起動します。
	待ちうた	ブラウザを起動して待ちうたのサイトを表示します。
	キー操作音	メニュー やアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	キーバックライト	キーバックライトを点灯するかどうかを設定します。
	操作時バイブ	タッチクルーザーEXを操作するときにバイブを振動させるかどうかを設定します。
	画面ロックの音	画面のロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	充電開始音	充電開始音を有効にするかどうかを設定します。
	サイドマナー	本製品を閉じているときに、[シャッターマーク]長押しでマナーモードのON/OFFをするかどうかを設定します。
	キー長押し	

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。

- ・マナーモードを設定すると、着信音／受信音／操作音は鳴動しません。また、「ドライブマナー」「サイレントマナー」に設定すると、着信／受信時のバイブレータも振動しません。
- ・「ドライブマナー」に設定すると、伝言メモの応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」、伝言メモが「ON」に固定されます。

1 待受画面で○→[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード設定]

2 モードを選択→○

- ◎ 運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。
◎ 次の操作でもマナーモードを設定／解除できます。
- ・端末を折りたたんでいるときに[シャッターマーク](長押し)
 - ・待受画面で[シャッターマーク](長押し)
 - ・待受画面で[シャッターマーク]→設定するマナーモードを選択→○
 - ・待受画面で[回](長押し)→「」(ドライブマナー)／「」(サイレントマナー)／「」／「」を選択→○
 - ◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始／終了音は鳴動します。

au IDの設定をする

1 待受画面で○→[設定]→[au ID 設定]

以降の操作は画面の指示に従って操作してください。

・「au ID 設定」の詳しい手順については『設定ガイド』をご参照ください。

セキュリティの設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[セキュリティ]

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

画面のロック	ロック画面の解除方法を設定します。
セキュリティキー設定	セキュリティキー(暗証番号やパスワード)の変更ができます。
音声発信制限	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客様センター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
電話帳アクセスモニター	アプリが電話帳データにアクセスするときに許可／禁止を確認する通知を表示するように設定します。
シークレット設定	▶P.87「シークレット設定をする」
SIMカードロック設定	SIMカードをロック 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 SIM PINの変更 PINコードを変更します。 <ul style="list-style-type: none">SIM PINを変更する場合は、「SIMカードをロック」を有効に設定してください。画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
提供元不明のアプリ	提供元が不明のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。

画面のロックについて

- ロックを解除していない状態でも「緊急通報」を選択して110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客様センター)への電話はかけられます。
- 画面のロックの解除方法として設定した「ロックNo.」「パスワード」をお忘れになった場合は、auショッップもしくはPiPit(一部ショッップを除く)にご連絡ください。その際、設定やデータは全て初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。
- セキュリティ設定、音声発信制限、シークレット設定について**
 - 「セキュリティ設定」、「音声発信制限」、「シークレット設定」を利用するにはセキュリティキーを入力する必要があります(お買い上げ時はセキュリティキー(暗証番号)「1234」)。
 - 「音声発信制限」で各機能の利用制限中は、セキュリティキーを入力することで、一時的に操作を行うことができます。

シークレット設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[セキュリティ]→[シークレット設定]→[ロックを解除]

シークレットモードが一時解除されます。

シークレットモードについての注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

連絡先シークレット設定	連絡先シークレットについて設定します。
一時解除の設定	セキュリティキー変更 シークレットモードを一時解除するときに用いるセキュリティキーを変更します。
使い方ガイド	一時解除の仕方 シークレットモードを一時解除する方法を表示します。 連絡先のシークレット機能 シークレット設定をした連絡先データや、バックアップなどの動作について表示します。

- シークレット一時解除後に画面を消灯すると、シークレットモードに戻ります。

通信・ネットワークの設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[通信・ネットワーク]

機内モード	▶P.87「機内モードを設定する」
データ通信設定	データ使用量 データ通信の使用量を確認したり、警告を表示したりできます。 データ通信制限 データ通信を使用するアプリを制限できます。
ネットワーク設定	テザリング USBテザリング、Wi-Fi®テザリング、Bluetooth®テザリングについて設定します。 <ul style="list-style-type: none">テザリングについて詳しくは、「テザリング機能」(▶P.97)をご参照ください。
VPN設定	VPNの設定や管理を行います。 <ul style="list-style-type: none">VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。VPNを利用するには、「画面のロック」を設定する必要があります。画面の指示に従って操作してください。VPNを追加する場合は、回(サブメニュー)→[VPNプロファイルの追加]→必要な項目を設定／入力→回(保存)と操作します。VPNに接続する場合は、VPNを選択→◎→ユーザー名とパスワードを入力→回(接続)と操作します。VPNを編集／削除する場合は、VPNを選択→回(サブメニュー)→[プロファイルを編集]／[プロファイルを削除]と操作します。
モバイルネットワーク	データ通信やローミング、ネットワークモードなどの設定をします。 <ul style="list-style-type: none">データ通信を無効にすると、一部の機能が利用できなくなります。
デフォルトのSMS	SMSの送受信に使うアプリを設定します。
端末情報送信機能	本製品の通話やデータ通信時の品質、電波状況などの情報をauに自動送信します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

1 待受画面で◎→[設定]→[通信・ネットワーク]→[機内モード]

- 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- (2秒以上長押し)→[機内モード]と操作しても機内モードを設定できます。
- 「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157(お客様センター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- 「機内モード」を有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能による通信なども利用できなくなります。
「機内モード」を有効に設定している場合に無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用するときは、それぞれの設定をもう一度「ON」にする必要があります。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

1 待受画面で◎→[設定]→[位置情報]

2 [位置情報]

データ収集についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

・「位置情報」を選択して◎を押すごとにON/OFFが切り替わります。

○ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。「同意する」／「同意しない」の設定によって、設定されるモードが異なります。

■ 位置情報取得の精度を切り替える

1 待受画面で◎→[設定]→[位置情報]

2 [モード]→[高精度]／[バッテリー節約]／[端末のみ]

GPS機能について

○ 電池の消耗を抑える場合は、「モード」を「バッテリー節約」に設定してください。GPS機能が無効になります。

○ 電波が良好な場所でご利用ください。

■ ケータイ探せて安心サービスの位置測位設定を切り替える

ケータイ探せて安心サービスで本製品の位置検索を許可するかどうかを設定します。

ケータイ探せて安心サービスについて詳しくは、「ケータイ探せて安心サービスを利用する」(▶P.83)をご参照ください。

1 待受画面で◎→[設定]→[位置情報]

2 [位置測位設定]→[許可する]／[許可しない]

その他の設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]

2 アプリケーション	アプリケーションのアンインストールなどができる ます。 ・au Marketなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表 示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。 ・アプリケーションによっては削除できないものも あります。
日付と時刻	▶P.88「日付と時刻の設定をする」
セルフチェック	▶P.74「セルフチェックを利用する」
ストレージ	microSDメモリカードや本体メモリの容量を確認 したり、microSDメモリカード内のデータ消去な どを行います。
言語(Language) を選択	▶P.88「使用する言語や文字入力の設定をする」
ソフトキーボード	文字入力に関する設定ができます。 ・通常は変更せずに使用ください。
端末情報	▶P.89「端末情報の設定をする」
端末の暗号化	端末のデータを暗号化します。 端末の暗号化を行うと、電源を入れたたびに「画面 のロック」で設定した解除方法で解除します。 ・表示される説明をよくお読みになりご利用ください。
デバイス管理機能	デバイス管理機能の有効／無効を切り替えます。
認証情報ストレー ジ	ストレージの方式を表示したり、CA証明書を認証 情報ストレージにインストールしたり、認証情報ス トレージの内容を削除したりします。
スクリーンセー バー	充電中に自動で画面が消灯したとき、スクリーン セーバーを起動するかどうかを設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助に関する設定を行います。通常ご使 用いただく場合は変更の必要はありません。
アカウント	利用するアカウントを追加します。設定しているア カウントの種類が「アカウントの追加」の上に表示 されます。
オールリセット	▶P.89「本製品を初期化する」

日付と時刻の設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[日付と時刻]

2 日時の自動設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに 自動で補正するかどうかを設定します。
タイムゾーンの 自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用す るかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの 選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設 定します。
日付形式の選択	日付の表示形式を設定します。

使用する言語や文字入力の設定をする

■ 使用する言語を設定する

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[言語(Language)を選
択]

2 [日本語]または[English]

■ 端末情報の設定をする

① 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[端末情報]

② ※ 下記以外にビルド番号やモデル番号、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

端末の状態	電池パックの状態や電池残量、電話番号などを確認できます。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正をします。
ソフトウェア更新	►P.116「ソフトウェアを更新する」
法的情報	利用規約などの法的情情報を表示します。

■ 本製品を初期化する

本体メモリをお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本体メモリにお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

① 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[オールリセット]

② [携帯端末をリセット]

「microSD内データも消去する」を選択して◎(チェック)と操作すると microSDメモリカード内のデータも消去できます。

③ ロックを解除→[すべて消去]

- ◎ オールリセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 著作権保護されたデータによってはオールリセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
- ◎ 「SIMカードロック設定」は、オールリセットを実行してもリセットされません。
- ◎ オールリセットを実行すると一部のコンテンツが削除されます。コンテンツのダウンロードについては、次のサポートページをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf33/>
- ◎ 電池残量が少ないときはオールリセットできません。

ファイル管理

本製品の保存領域について	92
ストレージに関する設定をする	92
パソコンと接続する	92

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存できます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータなどのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニュー やメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
- ◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、データフォルダを利用したり、「MTPモード」でパソコンと接続すると、確認や移動などを行うこ とができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動 することはできません。

ストレージに関する設定をする

ストレージの設定をする

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ストレージ]

2 ※ 下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカードの容量などが確認できます。

microSDのマウント解除/microSDをマウント	microSDメモリカードを本製品に認識させるか どうかを設定します。
microSD内データを消去	▶P.92「microSDメモリカードをフォーマット する」
情報更新	本体メモリやmicroSDメモリカードの容量など の情報を最新の状態に更新します。
USB接続	▶P.92「USB接続モードを設定する」

メモリ容量について

- ◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使 用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカード に表記されている容量より少なくなります。

microSDのマウント解除について

- ◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカード にデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存さ れているデータがすべて消去されます。

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ストレージ]→ [microSD内データを消去]→[SDカード内データを消去]→ ロックを解除→[すべて消去]

- ◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってく ださい。

パソコンと接続する

USB接続モードを設定する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続して、本製品をメモリ カードリーダー／ライターとして使用したり、本製品とパソコン間の高速データ転送が利用できます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- ・パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」 (▶P.23)をご参照ください。

1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[USB接 続]

3 MTPモード	MTPに対応したパソコンのデータを本体メモリや microSDメモリカードに保存する場合に設定しま す。 ・詳しくは、「MTPモードでパソコンと接続する」 (▶P.93)をご参照ください。
PTPモード	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設 定します。 ・本体メモリに保存されている画像などを転送でき ます。
カードリーダー モード	本製品をカードリーダー／ライターとして使用する 時間に設定します。 ・詳しくは、「メモリカードリーダー／ライターとし て使う」(▶P.92)をご参照ください。

◎ Windows Vista／Windows 7／Windows 8.1／Windows 10以外の OSでの動作は、保証していません。

◎ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◎ パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01(別 売)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでく ださい。

メモリカードリーダー／ライターとして使う

本製品をメモリカードリーダー／ライターとして利用できます。

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「カードリーダーモード」に設定してください。

1 待受画面でステータスバーを選択→◎

2 [USB接続]→[USBストレージをONにする]

本製品に取り付けたmicroSDメモリカードが「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー／ライターとして利用できるようになります。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してく ださい。

3 パソコンを操作してデータを転送

4 転送終了後、パソコンを操作して本製品を停止

5 [USBストレージをOFFにする]

6 microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

◎ USBストレージをONしている間は、アプリケーションからmicroSDメ モリカードは使用できません。

■ MTPモードでパソコンと接続する

■ Windows Media Playerでデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本体メモリやmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「MTPモード」に設定してください。

① パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期リストを表示

Windows Media Player 11／12をご使用ください。
Windows Media Playerで転送先を設定してください。本体メモリに転送する場合は、「内部ストレージ」に設定してください。

② Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録→[同期の開始]

登録したデータが転送されます。
転送が終了すると、Windows Media Player 11／12に本製品を切断できる旨が表示されます。

③ microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

- ◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- ◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- ◎著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- ◎本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- ◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- ◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなる場合があります。

■ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「MTPモード」に設定してください。

① パソコンから「SHF33」を開く

本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。

② パソコンを操作してデータを転送

③ 転送終了後、microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能	96
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	96
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	96
アクセスポイントを登録する	97
Wi-Fi Direct®を利用する	97
テザリング機能.....	97
テザリングについて	97
USBテザリング機能を利用する	97
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	97
Bluetooth®テザリング機能を利用する	97
赤外線通信	98
赤外線送受信のご利用にあたって	98
データを1件受信する	98
データを一括して受信する	98
データを1件ずつ送信する	98
データを選んで送信する	98
データを一括して送信する	98
Bluetooth®機能	99
Bluetooth®機能の利用について	99
Bluetooth®を利用する	99
Bluetooth®でデータを送受信する	100
おサイフケータイ®(FeliCa®)	100
おサイフケータイ®(FeliCa)について	100
おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する	101

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行ふため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 [Wi-Fiの設定]

Wi-Fi®がONに切り替わります。

◎ 待受画面で[6](長押し)の操作でWi-Fi®のON/OFFを切り替えることもできます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択→◎

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]

2 接続中のアクセスポイントを選択→◎→[切断]

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®設定画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]

2 □(サブメニュー)

3	ネットワークを追加	手動でネットワークを追加します。
	簡単設定	簡単設定でアクセスポイントに接続します。
	スキャン	目的のアクセスポイントが表示されないときなどに、再検索できます。
	Wi-Fi Direct	▶P.97「Wi-Fi Direct®を利用する」
	詳細設定	※ 下記以外にMACアドレスやIPアドレスが確認できま す。 ネットワークの通知 Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。 Wi-Fiのスリープ設定 接続を一時停止するタイミングを設定します。 スキャンを常に実行 Wi-Fi®機能がOFFの場合でも、位置情報や他のアプリケーションからネットワークのスキャンを行うかどうかを設定します。 Wi-Fi安定制御機能 安定したインターネット接続が可能なときのみWi-Fi®を使用するかどうかを設定します。 証明書のインストール Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールし ます。

Wi-Fi安定制御機能について

◎ 「Wi-Fi安定制御機能」が有効でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいて、アプリの動作仕様により、一時的に4G(LTE)データ通信を行う場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

- 1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]→□(サブメニュー)→[ネットワークを追加]
- 2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択→◎
 - セキュリティを「なし」に設定した場合
- 3 【保存】
 - セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合
 - 3 パスワードを入力→【保存】
 - 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。
 - セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合
- 3 必要な項目を設定／入力→【保存】
 - ◎「詳細オプションを表示」を有効にすると、「プロキシ」「IP設定」を手動で設定できます。
 - ◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントを自動で登録する

- 1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]→□(サブメニュー)→[簡単設定]

2 WPS ブッシュボタン	WPS ブッシュボタン方式で設定します。 <ul style="list-style-type: none">・アクセSpoイントの WPS ボタンを押してください。自動的にアクセSpoイントを検出し登録が開始されます。
WPS PIN 入力	WPS PIN 方式で設定します。 <ul style="list-style-type: none">・画面に表示される PIN をアクセSpoイントに入力してください。

◎ アクセSpoイントを登録する場合は、アクセSpoイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセSpoイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続できます。

- 1 待受画面で◎→[設定]→[Wi-Fi]→□(サブメニュー)→[Wi-Fi Direct]
 - 検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、□(サブメニュー)→[デバイスの検索]で再検索をしてください。
 - また、□(サブメニュー)→[デバイス名を変更]→◎(編集)→デバイス名を入力→◎(完了)→□(確定)と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
- 2 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択→◎
- 3 画面に従って操作

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、一般に携帯電話などのモバイル機器をモデムとして使い、4G(LTE)パケット通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- ・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.23)をご参照ください。

- 1 □(●)→[USBテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Windows Vista/Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

- 1 □(●)→[Wi-Fiテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

◎ 待受画面で□(●)(長押し)と操作して、Wi-Fi®テザリングのON/OFFを切り替えることもできます。

Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 □(●)→[Wi-Fiテザリングを設定]

2 ネットワークSSID	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
接続待ち時間	接続待ち時間を設定します。

- 3 【保存】

◎ セキュリティを「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

◎ 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してインターネットに接続できます。

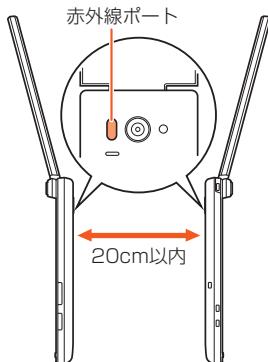
- 1 □(●)→[Bluetoothテザリング]

テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

赤外線通信

赤外線送受信のご利用にあたって

本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
・本製品と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。
ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

- 相手側の機器やデータによっては、利用できなかったり、正しく転送されなかったりすることがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷付かないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 赤外線通信中に、他のアプリケーションが起動すると通信が終了します。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、メモ帳はvNote形式、ブックマークはvBookmark形式に変換されて送信されます。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
- 電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 電話帳を全件受信して「削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます(自局電話番号は除く)。
- 受信したデータの登録先は、次の通りです。

受信データ	登録先
vCard	プロフィール、電話帳
vNote	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
その他のデータ	データフォルダ

データを1件受信する

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[赤外線]
- 2 [1件受信]→[OK]
- 3 相手機器でデータ送信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[はい]/[OK]
受信完了後は画面に従って操作してください。

◎ 待受画面で□(長押し)の操作で赤外線受信アプリを起動することもできます。

データを一括して受信する

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[赤外線]→[全件受信]
- 2 認証コードの入力→□(確定)
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- 3 相手機器でデータ送信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]
- 5 ロックを解除
- 6 [追加登録]/[削除して登録]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

データを1件ずつ送信する

- 1 待受画面で◎→[ツール]→[赤外線]→[1件送信]
- 2 送信するデータを選択
送信するデータによっては操作が異なります。
画面に従って操作してください。
- 3 相手機器でデータ受信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]

データを選んで送信する

- 例: メモ帳の場合
- 1 待受画面で◎→[ツール]→[メモ帳]
 - 2 送信するメモを選択→◎
 - 3 □(サブメニュー)→[1件送信]→[赤外線送信]→[はい]→[OK]
 - 4 相手機器でデータ受信の操作を実行
 - 5 [はい]→本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる
 - 6 相手機器でデータ受信の操作を実行

データを一括して送信する

- 例: 電話帳の場合
- 1 待受画面で□→□(サブメニュー)→[送信]→[赤外線送信]→[全件送信]
 - 2 [送信する(画像付き)]/[送信する(画像なし)]
送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「[はい]」を選択してください。
 - 3 ロックを解除→アカウントを選択→◎
 - 4 相手機器でデータ受信の操作を実行
 - 5 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]
 - 6 認証コードの入力→□(確定)
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ microUSBケーブル01(別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

■ Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

1. 本製品と他のBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できなくなることがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

- 1 待受画面で○→[設定]→[Bluetooth]

Bluetooth®画面が表示されます。

- 2 [Bluetooth]

Bluetooth®がONに切り替わります。

◎ 待受画面で□(長押し)の操作でBluetooth®のON/OFFを切り替えることもできます。

◎ 本製品のBluetooth®機能を有効にすると、■がステータスバーに表示されます。この表示を消したい場合は、ステータスバーから項目を選択して「通知を表示」欄のチェックマークを外してください。

■ Bluetooth®画面のサブメニューを利用する

- 1 Bluetooth®画面で□(サブメニュー)

2	デバイスの検索	使用可能なデバイスを検索します。
	端末の名前を変更	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
	表示のタイムアウト	他のBluetooth®機器からの検索を受け付ける時間を設定します。 ・「タイムアウトしない」に設定すると有効の状態のままになります。
	常にハンズフリー通話	常にハンズフリー機器で通話するかどうかを設定します。
	受信済みファイルを表示	受信履歴画面を表示します。

■ Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

- 1 待受画面で○→[設定]→[Bluetooth]→□(サブメニュー)→[デバイスの検索]

検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。

- 2 接続するBluetooth®機器を選択→○

- 3 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1~16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

- ◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
- ◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
- ◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「端末の名前を変更」で設定した名前を選択してください。「表示のタイムアウト」で設定した時間が経過すると、自動的に応答を受け付けなくなります。

■ ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

- 1 Bluetooth®機器一覧画面→ペアリングされたデバイスを選択→□(詳細設定)

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

名前を変更	検出したBluetooth®機器の表示名を編集できます。
ペアを解除	Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
電話の音声	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
メディアの音声	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
入力デバイス	HID機器を接続して入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
インターネットアクセス	ネットワーク機器と接続するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」(▶P.99)をご参照ください。

① 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

② 受信通知後、待受画面で①→ステータスバーにカーソルを合わせる→②

③ ファイル着信の通知を選択→②

④ [承諾]

⑤ 受信完了後、ステータスバーにカーソルを合わせる→②

⑥ 受信したファイルの通知を選択→②

⑦ 受信したデータを選択→②

再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例:電話帳(顔写真なし)を1件送信する場合

① 待受画面で①→連絡先を選択→②→①(サブメニュー)→[送信]→[Bluetooth送信]

② [はい]

③ 送信先の機器を選択→②

■ データを一括して送信する

例:電話帳(顔写真なし)を複数送信する場合

① 待受画面で①→①(サブメニュー)→[送信]→[Bluetooth送信]

■ 連絡先を選択して送信する場合

② [選択送信]→連絡先を選択→②→①(送信)→[はい]

③ 送信先の機器を選択→②

■ 連絡先をすべて送信する場合

② [全件送信]→[送信する(画像付き)]／[送信する(画像なし)]

送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「はい」を選択してください。

③ ロックを解除→アカウントを選択→②

④ 送信先の機器を選択→②

おサイフケータイ®(FeliCa®)

おサイフケータイ®(FeliCa)について

おサイフケータイ®(FeliCa)とは

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話をご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネー※でのショッピングなどご利用いただけます。

おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用の注意」(▶P.119)を合わせてご参照ください。

※一部のおサイフケータイ®対応サービスのみご利用いただけます。対応状況は各サービス提供事業者様にお問い合わせください。

おサイフケータイ®(FeliCa)ご利用にあたって

・本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。

・紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

・各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。

・ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。

・おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。

・FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。

・おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。

・各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。

・電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。

・電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。

・おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

・次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。

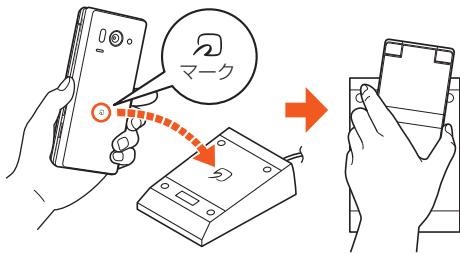
・機内モード中

・充電中、またはmicroUSBケーブル01(別売)接続中、シャープ

microUSB-3.5mm変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)などのケーブル類を接続中で、一度も電波を受けていない場合

■ リーダー／ライターとデータをやりとりする

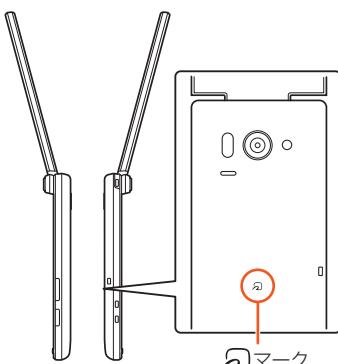
Ⓐマークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータのやりとりができます。



- ・Ⓐマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
 - ・Ⓐマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
 - ・Ⓐマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
 - ・Ⓐマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、Ⓐマークの附近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
 - ・Ⓐマークを強烈に押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。
- おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
- 「おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

■ 他の携帯電話とデータをやりとりする

IC通信機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- ・2台の携帯電話を平行にしてⒶマークを向かい合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- ・送受信の操作や送受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- ・Ⓐマークを向かい合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送受信の操作を再度行ってください。
- ・Ⓐマークをゆっくりと向かい合わせると送受信を失敗することがあります。

■ おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する

■ おサイフケータイ®対応サービスを利用する

- 1 待受画面で①→[ツール]→[おサイフケータイ]→[サービスサイト一覧]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 サービス一覧からサービスを選択→②
表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。
 - ・サービスによっては初期登録が必要です。画面に従って操作してください。

■ おサイフケータイ®をロックする

おサイフケータイ®をロックすると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ通信の利用を制限できます。

- 1 待受画面で①→[ツール]→[おサイフケータイ]
- 2 [おサイフケータイ ロック]→②(次へ)→ロックを解除→③
おサイフケータイ®がロックされます。

- ① 待受画面で②(長押し)の操作でロック／解除を切り替えることもできます。
- ② 「おサイフケータイ ロック」を設定中に電源が切れると、ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にロックを解除してください。
- ③ 「おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
- ④ おサイフケータイ®をロックするとステータスバーに図が表示されます。

■ IC通信でデータを送受信する

IC通信機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- ・おサイフケータイ®をロックしている場合は、IC通信をご利用できません。
- ・すべてのIC通信機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。
- ・送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

■ データを送信する

各機能のメニューから、データをIC送信することができます。

例：電話帳（顔写真なし）を1件送信する場合

- 1 待受画面で①→連絡先を選択→②→③(サブメニュー)→[送信]→[IC送信]
- 2 [はい]
- 3 [OK]→本製品と相手機器のⒶを合わせる

例：電話帳（顔写真なし）を複数送信する場合

- 1 待受画面で①→③(サブメニュー)→[送信]→[IC送信]

■ 連絡先を選択して送信する場合

- 2 [選択送信]→連絡先を選択→②→③(送信)→[はい]
- 3 [OK]→本製品と相手機器のⒶを合わせる

■ 連絡先をすべて送信する場合

- 2 [全件送信]→[はい]
- 3 ロックを解除→アカウントを選択→②

4 認証コードを入力→[OK]

認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

- 5 [OK]→本製品と相手機器のⒶを合わせる

■ データを受信する

- 1 送信側の端末とⒶマークを向かい合わせる

2 認証コードを入力→[OK]

送信側で認証コードが設定されていない場合は、認証コードの入力は不要です。

- 3 受信完了後、待受画面で①→ステータスバーにカーソルを合わせる→②

4 受信したデータを選択→②

再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	104
auのネットワークサービスについて	104
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	104
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	104
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	105
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	105
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	106
第三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	108
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	108
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	109
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	109
海外で利用する	109
au世界サービスについて	109
海外でご利用になるときは	109
海外で安心してご利用いただくために	109
海外利用に関する設定を行う	110
渡航先で電話をかける	110
渡航先で電話を受ける	110
お問い合わせ方法	110
サービスエリアと海外での通話料	111
パケットサービス・メッセージサービスの通信料	111
主な国・地域の国際アクセス番号＆国番号一覧	111
海外でのご利用上のご注意	112

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	SMS(▶P.55) 着信お知らせサービス(▶P.104) 着信転送サービス(▶P.104) 発信番号表示サービス(▶P.105) 番号通知リクエストサービス(▶P.105)
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX(▶P.106) 第三者通話サービス(▶P.108) 割込通話サービス(▶P.108) 迷惑電話撃退サービス(▶P.109) 通話明細分計サービス(▶P.109)

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。

お申し込みやお問い合わせの際は、auショッピングもしくはお客様センターまでご連絡ください。

各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があつた時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.106)
- 有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があつてから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.106)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ すぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

■ 着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスをご利用いただき、海外の電話に転送する際は、転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。
- ◎ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送をご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客様のご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からご請求となります。

■ 応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[無応答転送]

2 [転送設定]

「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 転送先番号や呼び出し時間を設定→□(確定)

転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

- ◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモ設定」(▶P.41)または「オートアンサー」(▶P.41)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ 通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[話中転送]

2 [転送設定]

「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→□(確定)

- ◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ 応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

- 1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[圏外転送]

2 [転送設定]

「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→□(確定)

- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ 手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

- 1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[選択転送]

2 [転送設定]

3 転送先番号を設定→□(確定)

- ◎ かかってきた電話に出す、登録した転送先に手動で転送する方法については、「着信中のサブメニューを利用する」(▶P. 40)をご参照ください。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 待受画面で○→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[フル転送]

2 [転送設定]

「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 転送先番号を設定→□(確定)

- ◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

■ 着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

- ◎ 遠隔操作には、ブッシュトーンを使用します。ブッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

■ 発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

- 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がメインディスプレイに表示されます。

また、相手の方を電話帳に登録していない場合は、本体を閉じた状態時のサブディスプレイにも電話番号が表示されます。ただし、「着信相手表示」(▶P.86)を「表示しない」に設定すると、サブディスプレイには電話番号が表示されません。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

■ 電話番号を通知する

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[発信者番号通知]

- 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客様センターまでお問い合わせください。
- 「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
- 海外でのローミング中は、電話番号が通知されない場合があります。
- 国際ローミング中は、「発信者番号通知」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

■ 番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

■ 番号通知リクエストサービスを開始する

1 待受画面で①④⑧①⑦

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス設定]→[ON]でも同様に操作できます。

2

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直してください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - 公衆電話、国際電話
 - SMS
 - その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

■ 番号通知リクエストサービスを停止する

1 待受画面で①④⑧①⑦

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス設定]→[OFF]でも同様に操作できます。

2

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.87)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.105)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.106)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできることをガイダンスでお知らせします。

ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 <ul style="list-style-type: none">・お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 待受画面で①④①②

2 ガイダンスに従って操作

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[無応答転送]

2 [転送設定]→[お留守番センター]

「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。

3 呼び出し時間を設定→④(確定)

転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

4 ④(確定)

○ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[話中転送]

2 [転送設定]→[お留守番センター]

「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。

3 ④(確定)

○ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[圏外転送]

2 [転送設定]→[お留守番センター]

「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 ④(確定)

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で留守番電話サービスに転送します。

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[選択転送]

2 [転送設定]→[お留守番センター]

3 ④(確定)

○ かかってきた電話に出す、登録した転送先に手動で転送する方法について
は、「着信中のサブメニューを利用する」(▶P. 40)をご参照ください。

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[フル転送]

2 [転送設定]→[お留守番センター]

「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。

3 ④(確定)

○ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.107「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。

電話をかけてきた相手の方は[④]を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずにはスキップして手順②へ進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、[④]を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、手順③へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 [④]を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。

[①]: 録音した伝言を再生して、内容を確認する

[②]: 録音した伝言を「至急扱い」にする

[⑨]: 録音した伝言を消して、取り消す

[※]: 録音した伝言を消して、録音し直す

4 ④

○ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

○ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 待受画面で①⑥①②+相手の方のau電話番号を入力

→④

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

○ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ 伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS（「伝言お知らせ」と表示）でお知らせします。

- 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- 通話中などすぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

■ 伝言・ボイスメールを聞く

1 待受画面で 1 4 1 7 ↲

待受画面で①→[電話 メール]→[お留守番サービス再生]でも同様に操作できます。

待受画面で②→①(長押し)でも同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

- ①:同じ伝言をもう一度聞く
 - ④:5秒間巻き戻して聞き直す
 - ⑤:伝言を一時停止(20秒間)*
 - ⑥:5秒間早送りして聞く
 - ⑦:再生済みの伝言をすべて消去
 - ⑨:伝言を消去
 - ⑩:伝言再生中の操作方法を聞く
 - #:次の伝言を聞く
 - *:前の伝言を聞く
- * ⑩～⑨、⑨～⑩のいずれかのキーを押すと、伝言の再生を再開します。

3 ガイダンスを確認後⑩

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

■ 伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.107)をご参照ください。

1 待受画面で 1 6 1 0 ↲

2 ガイダンスを確認後⑩

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようになるには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれます。

■ 伝言の蓄積停止を解除する

1 待受画面で 1 6 1 1 ↲

2 ガイダンスを確認後⑩

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようになるには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれます。

■ 応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 待受画面で 1 4 1 4 ↲

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 ①→3分以内で応答メッセージを録音→#→#→⑩

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 ②→10秒以内で名前を録音→#→#→⑩

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 ③→応答メッセージを確認→⑩

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 ④→3分以内で応答メッセージを録音→#→#→⑩

○ 録音できる応答メッセージは、各1件です。

○ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。

○ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないないように設定することができます。

○ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って④を入力すると標準メッセージに戻すことができます。

○ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って⑧を入力すると標準メッセージに戻すことができます。

○ 国際ローミング中は、ご利用になれます。

■ お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守電転送設定(無条件)開始	1418
留守電転送設定(無条件)停止	1419
留守電再生	1415
留守電総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

○ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

○ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

■ 英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 待受画面で 1 4 1 9 1 ↲

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[ガイド言語設定]→[英語ガイダンス]→[はい]でも同様に操作できます。

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 ⑩

○ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

○ 国際ローミング中は、ご利用になれます。

■ 日本語ガイダンスへ切り替える

1 待受画面で 1 4 1 9 0 ↲

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[ガイド言語設定]→[日本語ガイダンス]→[はい]でも同様に操作できます。

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 ⑩

○ 国際ローミング中は、ご利用になれます。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

回(サブメニュー)→[通話を追加]と操作しても電話番号を追加できます。また、電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [□]/(発信)

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。Bさんに発信中に[□]→[□]と操作すると、Aさんとの通話に戻ります。

3 Bさんと通話

[□]を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また[□]を押すと通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

4 回(サブメニュー)→[三者通話]

3人で通話できます。

[□]を押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。
- 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からの返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 待受画面で1 4 5 1 □

待受画面で○→[電話メール]→[通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[ON]でも同様に操作できます。

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 待受画面で1 4 5 0 □

待受画面で○→[電話メール]→[通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[OFF]でも同様に操作できます。

- 4G(LTE)パケット通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [□]/(応答)

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

[□]を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、[□]を押すと、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

① 待受画面で1 4 4 2 ↳

待受画面で①→[電話メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]→[新規登録]→[最終着信の相手を追加]→[はい]でも同様に操作できます。

■ 指定の電話番号を登録する場合

① 待受画面で①→[電話メール]→[通話設定]→[着信拒否]

② ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

③ [新規登録]→撃退する電話番号を設定

- 登録できる電話番号は30件までです。
- 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかげになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- 国際ローミング中は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で登録した相手の方でも国際ローミング中は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となる場合があります。
- 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - SMS

登録した電話番号を全件削除する

① 待受画面で1 4 4 9 ↳

■ 指定の電話番号を削除／編集する

① 待受画面で①→[電話メール]→[通話設定]→[着信拒否]

② ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

③ 削除する電話番号を選択→①→[1件削除]／[全件削除]→[はい]

編集する場合は、編集する電話番号を選択→①→[変更]→[はい]と操作し、電話番号を設定してください。

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

① 待受画面で1 3 1 +相手先電話番号を入力→ ↳

- 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外で利用する

au世界サービスについて

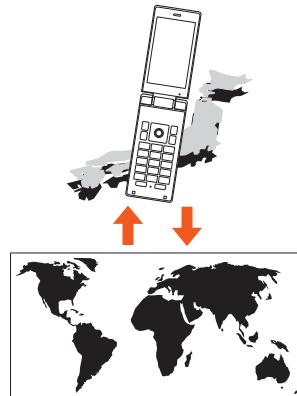
au世界サービスとは、日本国内でご利用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTSネットワークでご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただけるサービスです。

ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます
- 2 海外で電源を入れると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます
- 3 パケット通信を行う場合は「データローミング」(▶P.110)を有効に設定します



◎ お買い上げ時は、海外で通話およびSMSのみご利用可能な設定になっています。海外でパケット通信もご利用になる場合は「データローミングを設定する」(▶P.110)に従い設定を行ってください。

海外でご利用になるときは

海外でご利用になるときは、海外利用に関する各種設定を行ってください。新規ご契約ご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外利用に関する設定	ネットワークモードの設定(▶P.110) データローミングの設定(▶P.110)
------------	---

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.110)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIMカードロック設定」(▶P.87)をご参照ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

■ ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

① 待受画面で \textcircled{O} →[設定]→[通信・ネットワーク]

② [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

③ 日本(4G)	日本国内のみご利用になる場合に設定します。
自動	日本国内／海外で利用できるネットワークを自動設定します。

- ◎ 「ネットワークモード」を「自動」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。
- ◎ 日本国内で「自動」に設定し、「機内モード」が無効のまま、本製品の電源を入れた状態で渡航した場合は、海外のネットワークに接続できません。その場合は本製品の電源をいったん切り、再度起動してください。また、航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ データローミングを設定する

① 待受画面で \textcircled{O} →[設定]→[通信・ネットワーク]

② [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]→[はい]

- ◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。
- ◎ データ通信をご利用になる場合は、「モバイルネットワーク」の「データ通信」を有効に設定してご利用ください。

渡航先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

① 待受画面で \textcircled{C}

② \textcircled{O} (長押し)

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

③ 国際番号を入力

国番号については、「主な国・地域の国際アクセス番号＆国番号一覧」(\blacktriangleright P.111)をご参照ください。

④ 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

⑤ 相手の電話番号を入力→ \textcircled{C}

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+81(国番号)-3(市外局番)-1234XXXX(相手の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+1(国番号)-123(市外局番)-456XXXX(相手の電話番号)

◎ 電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の渡航先にかかるわざ国番号として「81」(日本)を入力してください。

◎ 「+」のダイヤルでつながらない場合は、「+」の替わりに渡航先の国際アクセス番号(\blacktriangleright P.111)を入力ください。

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料(\blacktriangleright P.111)がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかるわざ日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

■ 海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間 24時間

① 待受画面で \textcircled{C}

② \textcircled{O} (長押し)

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

③ 「81366706944」を入力→ \textcircled{C}

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

受付時間 24時間

国・地域名	お問い合わせ番号
北米・中南米	アメリカ／カナダ: 1-877-532-6223 メキシコ: 01-800-123-3426
アジア	インド: 000800-810-1134 インドネシア: 001-803-81-0235 韓国: 002-800-00777113 シンガポール／タイ／香港: 001-800-00777113 台湾／中国／フィリピン／マカオ／マレーシア: 00-800-00777113 ベトナム: 120-81-003
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／オランダ／オーストリア／ スイス／スペイン／ドイツ／ベルギー: 00-800-00777113 トルコ: 00-800-8191-0089 フランス: 0800-90-0209
オセアニア	オーストラリア: 0011-800-00777113 グアム: 1-888-891-3297 サイパン: 811-0064 ハワイ: 1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦: 800-081-0-0102
アフリカ	南アフリカ: 0800-99-4522

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などかかる場合があります。

◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。

◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。

◎ 記載のない国・地域、および最新情報については次のホームページをご参照ください。

<http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html>

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2(通話料有料)

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

① 渡航先の国際アクセス番号(\blacktriangleright P.111)を入力→
「81366706944」を入力→ \textcircled{C}

■ 日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの) 157番(通話料無料)

一般電話から $\textcircled{C} 0077-7-111$ (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

■ アジア

国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在 国内 通話料	日本への 国際 通話料	他の国 への国際 通話料	着信した 場合の 料金
中国	○	○	70	175	265	145
韓国	○	○	50	125	265	70
台湾	○	○	70	175	265	145
タイ	○	○	70	175	265	155
フィリピン	○	○	75	175	265	155
インドネ シア	○	○	70	260	280	155
ベトナム	○	○	70	195	280	80
香港	○	○	70	175	265	145
シンガ ポール	○	○	75	175	265	155
インド	○	○	70	180	280	180
マレーシア	○	○	75	175	265	80
マカオ	○	○	70	175	265	145

※ 通話料は免税。単位は円／分。

■ オセアニア

国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在 国内 通話料	日本への 国際 通話料	他の国 への国際 通話料	着信した 場合の 料金
ハワイ	○	○	120	140	210	165
グアム	○	○	80	140	210	130
サイパン	○	○	80	140	210	130
オーストラリア	○	○	80	180	280	80
ニュージーランド	○	○	80	180	280	80

※ 通話料は免税。単位は円／分。

■ 北米・中南米

国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在 国内 通話料	日本への 国際通 話料	他の国 への国際 通話料	着信した 場合の 料金
アメリカ	○	○	120	140	210	165
カナダ	○	○	120	140	210	165
メキシコ	○	○	70	230	280	180
ブラジル	○	○	80	280	280	140

※ 通話料は免税。単位は円／分。

■ ヨーロッパ・中東・アフリカ

国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在 国内 通話料	日本への 国際通 話料	他の国 への国際 通話料	着信した 場合の 料金
フランス	○	○	80	180	280	110
ドイツ	○	○	80	180	280	110
イギリス	○	○	80	180	280	110
イタリア	○	○	80	280	280	110
スペイン	○	○	80	180	280	110
スイス	○	○	80	180	280	110
オランダ	○	○	80	180	280	110
トルコ	○	○	80	180	280	110
オーストリア	○	○	80	180	280	110
ベルギー	○	○	80	180	280	110
アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140
南アフリカ	○	○	80	180	280	160

※ 通話料は免税。単位は円／分。

- 日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
 - 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
 - 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
 - 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
 - アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、ブルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各國・地域内通話料金(120円／分または80円／分、免税)となります。
 - 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」(265円／分、免税)となります。
 - 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。したがって、相手につながらなくとも通話料が発生することがあります。
 - 2016年4月現在の情報です。
 - 記載のない国・地域および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
- <http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/global-passport/area-charge/>

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■ パケットサービス・メッセージサービスの通信料(免税)

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額(免税)

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/charge/packet-discount/kaigai-double-teigaku/lte/>

- 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
- 渡航先でのパケット通信料は、日本国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00～23:59)の通信に対する料金です。月額の定額制ではありません。

主な国・地域の国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ/ハワイ/カナダ/グアム/サイパン	011
中国/マカオ/ベトナム/メキシコ/インド/フィリピン/マレーシア/イギリス/ドイツ/フランス/イタリア/スペイン/オランダ/イスイス/トルコ/オーストリア/ベルギー/アラブ首長国連邦/南アフリカ	00
韓国	001,002,00700
香港/タイ/インドネシア/シンガポール	001
台湾	002,005
ブラジル	0014,0021
オーストラリア	0011

■ 国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号
アメリカ(USA)	1
アラブ首長国連邦(ARE)	971
イギリス(GBR)	44
イタリア(ITA)	39
インド(IND)	91
インドネシア(IDN)	62
オーストラリア(AUS)	61
オーストリア(AUT)	43
オランダ(NLD)	31
カナダ(CAN)	1
韓国(KOR)	82
グアム(USA)	1
サイパン(USA)	1
シンガポール(SGP)	65
スイス(CHE)	41
スペイン(ESP)	34
タイ(THA)	66
台湾(TWN)	886
中国(CHN)	86
ドイツ(DEU)	49
トルコ(TUR)	90
日本(JPN)	81
ハワイ(USA)	1
フィリピン(PHL)	63
ブラジル(BRA)	55
フランス(FRA)	33
ベトナム(VIE)	84
ベルギー(BEL)	32
香港(HKG)	852
マカオ(MAC)	853
マレーシア(MYS)	60
南アフリカ(ZAF)	27
メキシコ(MEX)	52

○ 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参考ください。

国際アクセス番号

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/inquiry/>

国番号

<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

■ 海外でのご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- ・渡航先でコレクトコール、トルフレーナンバー、クレジットコール、ブリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- ・国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。
- ・海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- ・通話時刻は日本時間での表記となりますので、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- ・海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- ・渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- ・渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- ・日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- ・渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS)のみご利用になります。
- ・SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ・SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- ・渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上のご注意

- ・渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象なりません。
- ・渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- ・海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ・渡航先でリチャージする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- ・渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- ・海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・国際ローミングは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- ・渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- ・国際ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- ・渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれます。帰国後の日本国内での通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、国際ローミングとしては渡航先で使うことができます。
- ・番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をON/OFF(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

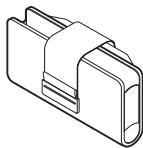
付録・索引

付録.....	114
周辺機器のご紹介	114
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する	114
故障とお考えになる前に	115
ソフトウェアを更新する.....	116
アフターサービスについて	116
SIMロック解除について	117
利用できるデータの種類.....	117
主な仕様.....	117
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	118
CE Declaration of Conformity	118
FCC Notice	119
輸出管理規制	119
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意	119
「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT.....	120
知的財産権について	120
索引.....	123

付録

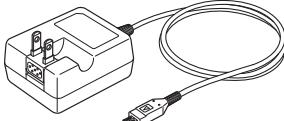
周辺機器のご紹介

- 電池パック(SHF31UAA)
- auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

- 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

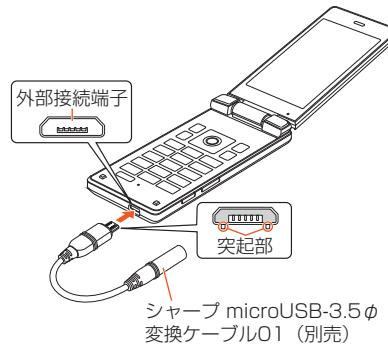
・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

- ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)
 - 卓上ホルダ(SHF31PUA)(別売)
 - microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)
 - シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)
- ◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
 - ◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
 - ◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する

本製品に「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)」を接続してイヤホンを使用できます。

- 1 本製品の外部接続端子にシャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



- 2 シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のイヤホン端子にスイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを差し込む

■ スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

- 1 着信中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

通話を終了するには、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを再度押します。

- ◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。
 - ◎ 動作確認済みの3.5φプラグのスイッチ付イヤホンマイク(市販品)については、次のサポートページをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf33/>

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ■(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？(▶P.27) 電池パックが寿命となっていませんか？電池の状態を確認してください。(▶P.22) 十分に充電されていますか？(▶P.22) 使用していない機能を停止してください。(▶P.32) 使用していないアプリケーションを終了してください。(▶P.32)
電話がかけられない	<ul style="list-style-type: none"> au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.20) 電話番号が間違っていませんか？(市外局番から入力していますか？)(▶P.38) 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.87) 「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.110) 電源は入っていますか？(▶P.23) 電話番号入力後、[□]を押していますか？(▶P.38) 「音声発信制限」で発信が制限されていませんか？(▶P.87)
電話がかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？(▶P.27) サービスエリア外にいませんか？(▶P.27) 「機内モード」が設定されていませんか？(▶P.87) 「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.110) 着信転送サービスが設定されていませんか？(▶P.104) 電源は入っていますか？(▶P.23) au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.20) 「着信拒否」が設定されていませんか？(▶P.41)
Wi-Fi®がつながらない	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？(▶P.27) Wi-Fi®の設定をしましたか？(▶P.96)
ディスプレイの照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？(▶P.86) 「のぞき見防止」が設定されていませんか？(▶P.86)
相手の方の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 通話音量が最小に設定されていませんか？(▶P.38) 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？(▶P.27) テレビアンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.18) 視聴している場所が選択しているチャンネルリストと合っていますか？(▶P.71)
カメラが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量が少なくなっていますか？(▶P.22) カメラの利用についてご確認ください。(▶P.64)
microSDメモリカードを見つからない	<ul style="list-style-type: none"> microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？(▶P.21) microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？(▶P.92) 本体メモリにデータを保存していませんか？microSDメモリカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キーの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 「画面のロック」が設定されていませんか？(▶P.87) 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 電源は入っていますか？(▶P.23)
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> 指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)の電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに確実に差し込まれていますか？(▶P.22)
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックは充電されていますか？(▶P.22) [□]を長押ししていますか？(▶P.23)
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> [□]を8秒以上長押しし、バイブレーターが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.23)
au ICカード(SIM)エラーや挿入されない旨のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.20)
おサイフケータイ®が使えない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？(▶P.22) おサイフケータイ®をロックしていませんか？(▶P.101) 本製品の□マークがある位置をリーダー／ライターにかざしていますか？(▶P.101)
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？(▶P.22)

こんなときは	ご確認ください
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？(▶P.22)
■(圏外)が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？(▶P.27) サービスエリア外にいませんか？(▶P.27) 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.18) au Nano IC Card 04が挿入されていますか？(▶P.20) 「ネットワークモード」が間違っていませんか？(▶P.110) 着信音量が最小に設定されていませんか？(▶P.86) マナーモードに設定されていませんか？(▶P.86)
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がほとんどありません。(▶P.22)
「充電してください」などと表示された	<ul style="list-style-type: none"> 電話が勝手に応答する
電話が勝手に応答する	<ul style="list-style-type: none"> 伝言メモが設定されていませんか？(▶P.41) マナーモードが設定されていませんか？(▶P.86) オートアンサーが設定されていませんか？(▶P.41)
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？(▶P.27) サービスエリア外にいませんか？(▶P.27) 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですでのおかげ直してください。
メインディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> 「バックライト点灯時間」が短く設定されていますか？(▶P.86)
電話帳の個別の設定が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていますか？(▶P.44) 「連絡先シークレット設定」が設定されていませんか？(▶P.87)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリを使用する場合はMTPモードで接続してください。(▶P.93)

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

待受画面で①→[設定]→[その他]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

② ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。 ①(実行)を押すと確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードできます。 ・すぐに更新する場合は、①(実行)を押し、画面に従って操作してください。 ・後で更新する場合は、「後で実行」を選択すると「24時間後に再表示します」と表示されます。「OK」を押すとアプリケーションが終了し、ステータスバーに□が表示されます。 ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。 ・ソフトウェア更新が可能な場合には、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。
更新通知設定	ソフトウェア更新が必要かどうかの通知を切り替える設定となります。 ・「ON」に設定すると、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。

ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客様センター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、SHF33をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHF33をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショットを除く）にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（電話帳、メール、静止画、音楽データなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります（連続更新）。
- 国際ローミング中は、Wi-Fi®接続時にのみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。
- ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください
- ・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新実行中にできない操作について
- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客様センター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様での要望により、有償修理いたします。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工・改造・解析（ソフトウェアの改造・解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

補修用性能部品について

当社はこのSHF33本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）

一般電話からは **0077-7-113**（通話料無料）

au電話からは 局番なしの113（通話料無料）

受付時間 24時間（年中無休）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは

0120-925-919（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00（年中無休）

オンライン交換受付（24時間受付）

※ 本製品、パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html



インターネット受付でのお申し込みには、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。

インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイ サポートプラスLTE 会員	安心ケータイ サポートプラスLTE 非会員
交換用携帯電話機お届けサービス (自然故障:1年目)	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス (自然故障:2年目以降)	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス (部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失)	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	補償なし
預かり修理 (自然故障:1年目)	無料	無料
預かり修理 (自然故障:2年目以降)	無料(3年間保証)	実費負担
預かり修理 (部分破損)	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
預かり修理 (水濡れ、全損)	お客様負担額 10,000円	実費負担
預かり修理 (盗難、紛失)	補償なし	(機種変更対応)

※ 金額はすべて税抜

「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／ 長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／ 長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2／「代用機なし割引」※3の両方を適用	4,000円／ 長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／ 長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円／ 長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／ 長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※1 3年目(25ヵ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合は対象です。

※2 WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

「WEB割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※3 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

詳細はauホームページをご確認ください。

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色*)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

* 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

* 詳細はauホームページをご確認ください。

◎ 盗難・紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品で利用できる画像・動画・音の種類は次の通りです。

データの種類	拡張子
画像	.jpg,.jpeg,.gif,.png,.bmp,.wbmp,.webp
動画	.3gpp,.3gp,.3g2,.3gpp2,.mp4,.m4v,.webm,.mkv
音	.amr,.awb,.3gp,.3g2,.m4a,.mp4,.mp3,.aac,.mid,.midi,.xmf,.mxmf,.rtttl,.rtx,.ota,.ogg,.oga,.imy,.wav,.smf

主な仕様

メインディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT、960×540(QHD)
サブディスプレイ	約0.7インチ、1色、有機ELディスプレイ
質量	約130g(電池パック含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約51mm×113mm×16.9mm (最厚部約17.4mm)
メモリ(内蔵)	ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間(国内)	約660分
連続通話時間(海外(GSM))	約480分
連続待受時間(国内)	約470時間
連続待受時間(海外(GSM))	約560時間
連続テザリング時間	約480分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時:約110分
連続ワンセグ視聴時間※1	約6時間30分
撮影素子	CMOSイメージセンサー
有効画素数	約1,310万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.4.0 出力:Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3: HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、 HID、PAN、PAN U、SCMS-T、HOGP※5、DUN※6、 Bluetooth LE GATT 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®)機能:IEEE802.11b/g/n (2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子

※1 使用条件により連続ワンセグ視聴時間は変わります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことと、Bluetooth®標準規格で定められています。

※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状況、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。

•  (圏外)が表示される場所での使用が多い場合

• Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、テレビ機能、位置情報などの使用

• アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合

• バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショッップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、待受画面で◎→[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMカードの状態]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://cs.kddi.com/support/simcard/>

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHF33】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.470W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.510W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報を知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報を知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j_ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
- シャープのホームページ:
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>
- auのホームページ:
<http://www.au.kddi.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

CE Declaration of Conformity

CE0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHF33 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

■ Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 127 mV.

■ Stand-by Mark

⌚ This symbol means the stand-by on/off.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.207 W/kg^{**} and when worn on the body is 0.962 W/kg^{**}.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the Device info & the Authentication under the Setting menu.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHF33
FCC ID	APYHRO00236
At the Ear	0.60 W/kg
On the Body	1.45 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

お客様がおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承認していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客様は当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内のデータの取り扱い等について

1. お客様がおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客様のおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客様自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じことがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客様は、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、FeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客様に提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のバックアップ等が行われなかつた場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。

3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客様のFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客様のおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客様の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客様のau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機のおサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスをご利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客様ご自身でのFeliCaチップ内のデータの削除ができないことがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービスをご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービスがご利用いただけない場合があります。

「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT

「au Wi-Fi SPOT」のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容をよくお読みいただき、承諾の上でご利用ください。

KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の第3項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）は、KDDI等との通信サービスの契約締結と同時に、株式会社ワイア・アンド・ワイアレス（以下「当社」といいます。）と「au Wi-Fi SPOT」（以下「本サービス」といいます。）に関する利用規約を締結したこととなります。当社は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、提供対象者に対して本サービスを提供するものとし、提供対象者は、KDDI等との通信サービスの契約締結とともに、本規約に同意したものとみなされるものとします。ただし、当社に対して本サービスに関する利用規約を締結しない旨の意思表示があったときは、この限りではないものとします。

1. 本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用があります。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
2. また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客様」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
3. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止（以下「本改訂等」といいます。）することができるものとします。その場合、本サービスの提供条件は、本改訂後の本規約によるものとします。
4. 本サービスの提供は前項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客様が本規約に違反した場合、お客様に対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. お客様は、自己の責任と負担において、本サービスを利用するためには必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。
6. 削除
7. 削除
8. 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客様は本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
10. お客様は、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
11. 提供対象者は、当社が、以下の顧客情報を取得することを承諾するものとします。
 - 提供対象者の氏名
 - 提供対象者の生年月日、性別
 - 提供対象者の電話番号、メールアドレス
 - 提供対象者がauにてご契約の料金サービス
12. 当社は、取得した顧客情報を、次の目的の為に利用させていただきます。
 - 本サービスの提供対象者に該当するか否かを判断するため
 - 本サービスの継続提供の妥当性の判断のため
 - 裁判所やその他公的機関が発行する令状に基づいた開示要請に対応するため
13. 本サービス又は本規約に関して提供対象者との間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。
14. 当社は、本サービスの提供にあたり取得する個人情報について、別途定めるプライバシーポリシーの内容に基づき取り扱うものとします。

附則 本改訂規約は、2016年5月21日から実施します。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
• microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



• Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



• Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



• Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。

• Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

• Microsoft® Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

• Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

• QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

• FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

• emは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

• Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google™ 検索およびGoogle 検索 ロゴは、Google Inc.の商標です。

• 「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。

• 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの **AmiVoice®** を使用しています。

• OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



• 「NightCatch／ナイトキャッチ」「翻訳ファインダー」「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS KJ」「SHSHOW」ロゴ「フレーミングアドバイザー／FramingAdviser」「タッチクリーザーEX」「ベールビュー／VeilView」「エモバー／emopaj」「エモパーク／emopark」「エクション／S-Shoin」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。



• 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.

iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.

• Portions Copyright ©2004 Intel Corporation

• 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

• TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。



• 「Suica」「モバイルSuica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。



• 「楽天Edy」は、楽天Edy株式会社の商標または登録商標です。

• ハローページはNTTの登録商標です。

• どこから電話はソースネクストの商標です。

• 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。

■ モバイルSuica利用許諾契約

ご利用の前に必ず利用契約をお読み下さい。(必須)

■ 利用契約

お客様が東日本旅客鉄道株式会社へお問い合わせ先:048-645-7007>(以下「当社」といいます)が、KDDI株式会社が発売する携帯情報端末向けに提供するモバイルSuicaアプリケーション(以下「本アプリケーション」といいます)を利用するにあたっては、本利用契約の内容を承諾していただきます。

(1) 本アプリケーションは、当社が提供するモバイルSuicaを携帯情報端末上でご利用いただく際、メールアドレス等のプロフィール情報を取得し、インターネットを介して当社が管理するサーバへ送信する場合があります。

(2) 本アプリケーションに関する編集著作権等を含む一切の権利は、当社に帰属します。

(3) お客様は、本アプリケーションを、本アプリケーションがプリインストールされた又はダウンロードを行った携帯情報端末上のみでお使いいただけます。お客様は、本アプリケーションを当社に無断で転載、複製、修正、蓄積、または転送してはいけません。

(4) お客様は、プリインストールされた本アプリケーションを携帯情報端末から削除した場合、KDDI株式会社の提供するコンテンツツーラーからダウンロードし直すことができます。尚、本アプリケーションのダウンロードには、別途通信料がかかります。

(5) お客様は、本アプリケーションに関する当社の権利を侵害したり、またはそのおそれがあるような行動を一切行ってはならないものとします。

(6) 当社は、お客様が本利用契約に違反した場合、お客様に対する本アプリケーションの提供を停止し又は本利用契約を解除することができるものとし、当該停止又は解除の日以降お客様は本アプリケーションを利用することはできません。

(7) 当社は本アプリケーション及び本利用契約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

(8) お客様は、本利用契約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(9) お客様が本アプリケーションに関して損害を被った場合でも、当社は一切賠償の責任を負いません。

(10) 本アプリケーションの内容、利用等に関しては、KDDI(株)及び沖縄セルラー電話(株)は一切の責任を負いません。

(11) 本アプリケーション又は本利用契約に関してお客様との間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

-以上-

■ オープンソースソフトウェアについて

- ・本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で○→[設定]→[その他]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- ・GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- ・Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- ・Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- ・Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- ・Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- ・MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

・本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegl.com> をご参照ください。

・本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegl.com> をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegl.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegl.com> for additional details.

索引

数字／アルファベット

1件あたりの録音時間	106
1件削除	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	44
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
ボイスパーティーの新規作成画面のサブメニュー	40
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	36
24時間表示	88
au ID 設定	86
au Nano IC Card 04	20
au Nano IC Card 04トレイ／スロット	18
au Wi-Fi接続ツール	74
au お客さまサポート	
au お客さまサポート	74
プラウザメニュー	60
au国際電話サービス	
国際電話をかける	40
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URL	50
auサーバへアドレス帳を預ける／戻す	75
auシェアリンク	75
auスマートバス	75
au世界サービス	109
auナビウォーク	74
auネットワーカサービス	104
Bluetooth	99
Bluetooth OFF	38
Bluetooth ON	38
Bluetooth [®] 機能	
Bluetooth [®] 機能	99
ご使用のお願い	14
Bluetooth送信	100
Bluetoothザギリング	97
Eメール	48
Eメールアドレスの変更へ	53
Eメール作成	50
Eメール情報	52
Eメール設定	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール設定	52
フォルダー一覧画面のメニュー	51
FAQ	82
FCC Notice	119
FeliCa	100
GLOBAL PASSPORT	
シンプルメニュー	31
ノーマルメニュー	29
HDR	65
HQモード	65
HTMLメール規制	55
IC送信	101
ISO感度	66
LED	
SMS設定	56
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
LINE	82
LISMO	82
mamorino Watch ナビ	83
microSD	67
microSDカードスロット	18
microSD内データを消去	92
microSDのマウント解除	92
microSDへ移動	67
microSDへコピー	67
microSDメモリカード	
microSDメモリカードについて	21
保存領域について	92
microSDをマウント	92
MTPモード	92
NightCatch	65
PINコード	12
PTPモード	92
P付加	38
SDカードへデータを保存する／戻す	75
SIMカードロック設定	87
SIMロック解除	117
SMS	55
SMS作成	
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URL	50
ダイヤル画面のサブメニュー	38
発信メニュー	38

発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
TVリンク	71
URL入力・Web検索	60
URL入力／Web検索	61
URLリンク規制	55
URLをコピー	50
USBストレージをONにする	92
USB接続	
USB接続モード設定	92
ストレージ設定	92
USBザギリング	97
Wi-Fi	
接続する	96
切断する	96
設定する	96
Wi-Fi [®] ／Bluetooth [®] アンテナ	18
Wi-Fi Direct	
Wi-Fi Direct [®] 設定	97
Wi-Fi [®] 設定画面のサブメニュー	96
Wi-Fi [®] 機能	
Wi-Fi [®] 機能について	96
ご使用のお願い	14
Wi-Fiザギリング	97
Wi-Fiザギリングを設定	97
WPS PIN入力	97
WPSプッシュボタン	97
あ	
アイコン	
サブディスプレイ	28
メインディスプレイ	27
相手先から本製品までの通話料	104
アカウント	
その他の設定メニュー	88
通話設定	41
空き容量確認	41
アクセスポイント登録	97
アドレスコピー	50
アドレス帳引用	49
アドレス帳グループ引用	49
アドレス帳登録	50
アドレス帳登録外	
受信フィルター設定	57
フォルダ振分条件	52
アドレス帳登録名表示	53
アドレス帳に登録	56
アドレス変更・その他の設定	52
あなたについて	82
アフターサービス	116
アブリ	75
アブリ一覧	30
アプリケーション	88
アプリケーションについて	15
アプリ使用履歴キー	18
アラーム	80
アラーム音	80
暗証番号	12
あんしん	75
安心アクセス for 4G LTEケータイ	74
安心ロックサービス	82
一時解除の設定	87
位置情報	88
一括指定受信	55
移動	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
移動・コピー	67
インターネット	60
インターネットアクセス	99
インターネット通話使用	41
インフォメーション	27
引用・連携	36
ウィルスメール規制	55
英語ガイドンス	107
エニーキーアンサー	41
エフェクト	68
エモバー	82
エモバー設定	82
エモバー選択	82
エモバーの記憶	82
エモバーの話題	82
遠隔操作	106
遠隔操作サービス	
お留守番サービス	107
着信転送サービス	104
お預かりできる件数	106
お預かり(保存)する時間	106

応答時間設定	41
応答メッセージ設定	41
応答メッセージ録音／確認／変更	107
オートアンサー	41
オーブン通話	41
オールリセット	89
お気に入り	27
おサイフケータイ	
おサイフケータイ®(FeliCa)について	100
△マーク	18
お知らせ	28
オスメ一括設定をする	54
オススメの設定はこちら	54
音・パイプ	86
オプションサービス申込	41
オフタイマー設定	71
主な仕様	117
お留守番サービス総合案内	106
音楽	67
音声／字幕設定	71
音声操作設定	65
音声・伝言メモ	41
音声認識の使い方	39
音声発信	50
音声発信制限	87
音声発信制限設定	38
音声メモ	38
音量	86
音量UP/DOWNキー	18

か

カーソルキー	18
カードリーダーモード	92
会員特典	75
海外利用に関する設定	109
回転	68
ガイド言語設定	41
外部接続端子	18
顔かくし	68
鏡	68
各種リセット	36
拡大鏡	26
拡大縮小	
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
ブラウザ画面のサブメニュー	61
各部の名称と機能	18
画像	
画像編集	68
データフォルダのカテゴリ	67
画像編集	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
データ表示画面のサブメニュー	67
画像保存	
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
添付画像保存	50
画像保存モード	61
画像を登録	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
データ表示画面のサブメニュー	67
壁紙・ディスプレイ	86
カメラキー	18
カメラ(静止画)	50
カメラ(動画)	50
カメラへ切替	65
カメラレンズ	18
画面回転	71
画面の明るさ	86
画面のロック	87
画面ロックの音	86
カレンダー	
カレンダーを表示する	79
予定を新規登録する	79
簡単設定	96
かんたん発信(音声認識)	
かんたん発信(音声認識)の設定	39
電話をかける	39
かんたん発信設定	39
管理者登録	74
管理者ページ	75
キー操作音	86
キーバックライト	86
起動中アブリー観画面	32
機内モード	87
基本通知設定	53
基本動作について	82
ギャラリー(静止画)	50
ギャラリー(動画)	50

休日設定	79
強制的に電源を切る	23
共通の操作	
キー操作	32
共通の操作	32
チェックボックス	32
今日へ移動	79
共有	51
拒否通知メール返信設定	55
拒否リスト登録	
Eメール一覧画面のメニュー	51
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URL	50
切替時刻	78
クイックサイレント	41
クイック返信	
着信中のサブメニュー	40
通話設定	41
空気抜き穴	18
クリアキー	18
繰り返し	80
グループ削除	44
グループ追加・編集	
グループ設定	44
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	44
グループ編集	44
クローズ動作設定	71
ケータイ探せて安心サービス	83
月額使用料	
お留守番サービスEX	106
第三者通話サービス	108
着信転送サービス	104
通話明細分計サービス	109
迷惑電話撃退サービス	109
割込通話サービス	108
国外転送	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
言語(Language)を選択	88
検索	79
検索設定	44
検索／フィルター	
Eメール一覧画面のメニュー	51
フォルダ一覧画面のメニュー	51
件名	52
高校生向け	74
公衆電話	41
更新通知設定	116
国際発信設定	41
故障とお考えになる前に	115
このリンク	61
コピー編集	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
コピー他(範囲選択)	36
個別通知設定	53
コンテンツ一覧	67

さ

再起動	23
再スキャン	71
再送信	51
サイドマナーキー長押し	86
再振分け	51
再読み込み／停止	61
削除	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
グループ設定	44
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
チャンネルリスト編集画面のサブメニュー	71
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
作成	71
差出人名称	53
撮影サイズ	65
サブディスプレイ	
各部の名称と機能	18
壁紙・ディスプレイ設定	86
サブディスプレイの見かた	28
第三者通話サービス	108
シークレット設定	87
時刻設定	88
時刻で切替	78
辞書	36
指定番号	
受信フィルター設定	57
着信拒否の設定	41
指定番号リスト	57

自動	110
自動位置情報付加	65
自動再送信	53
自動転送先の設定へ	53
写真	
画像編集	68
データフォルダのカテゴリ	67
シャッターキー	18
シャッターモード	66
充電	22
充電開始音	86
充電端子	18
充電ランプ	18
周辺機器	114
受信済みファイルを表示	99
受信・表示設定	53
受信フィルター	57
受話口	18
省エネモード	78
省エネモード切替	78
省エネモード設定	78
小学生向け	74
詳細情報	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
データ表示画面のサブメニュー	67
詳細設定	
Wi-Fi®設定画面のサブメニュー	96
カメラの設定	65
迷惑メールフィルター設定	54
情報更新	92
初期設定	82
署名	
SMS設定	56
送信・作成設定	53
署名編集	56
書類	67
新規作成	49
新規タブ作成	61
新規登録	36
迷惑メールおまかせ規制	55
新着問合せ	51
シンプルメニュー	30
スキャン	96
スクリーンショット	78
スクリーンセーバー	88
進む	61
ステータスバー	
ステータスバーを利用する	27
待受画面の見かた	27
ステータスバー通知	53
ステータスバーネル	28
ストップウォッチ	80
ストラップ取付部	18
ストレージ	
ストレージ設定	92
その他の設定メニュー	88
データ添付	50
ストレージへ保存	51
スヌーズ／詳細設定	80
スヌーズ設定	80
スピーカー	18
スピードダイヤル	39
スピードダイヤル登録	44
すべての登録を削除「1449」	109
スライド	26
スライドショー	67
静止画	
撮影する	64
静止画撮影画面の見かた	64
製品情報	71
セーフモード	23
世界時計	80
赤外線通信	98
赤外線ポート	18
セキュリティ	
Wi-Fi®テザリング設定	97
セキュリティ設定	87
セキュリティキー設定	87
接続	96
接続待ち時間	97
切断	96
設定	
Eメール設定	52
SMS設定	56
カレンダー画面のサブメニュー	79
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
設定メニュー表示	86
ダイヤル画面のサブメニュー	38

テレビ視聴画面のサブメニュー	71
テレビ設定	71
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
ブラウザ画面のサブメニュー	61
ブラウザメニュー	60
設定確認／解除する	54
設定・管理	44
設定更新	52
設定にあたって	54
設定メニュー表示	86
セルフタイマー	66
セルフチェック	74
全員に返信	51
全件削除	
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
ボイスパーティーの新規作成画面のサブメニュー	40
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	36
センサー感度補正	89
センターキー	18
選択削除	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	44
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
選択受信	
選択転送	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
操作ガイド	71
操作時バイブ	86
送信	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
コンテンツ表示画面のサブメニュー	67
データ表示画面のサブメニュー	67
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	44
送信・作成設定	53
送信時確認表示	53
送信失敗通知	53
送達確認	56
送話口	18
ソート	67
その他	
その他設定	88
データ添付	50
データフォルダのカテゴリ	67
ソフトウェア更新	
ソフトウェア更新	116
端末情報の設定	89
ソフトキーボード	88

た

耐衝撃性能	13
タイマー	80
タイムゾーンの自動設定	88
タイムゾーンの選択	88
ダイヤルキー	18
ダウンロード	
ブラウザ画面のサブメニュー	61
ブラウザメニュー	60
タッチエリア	18
タッチクルーザーEX	
各部の名称と機能	18
タッチクルーザーEXを利用する	26
タップ	26
タブ一覧	61
ダブルタップ	26
端末情報	88
端末情報送信機能	87
端末の暗号化	88
端末の状態	89
端末の名前を変更	99
着信お知らせサービス	104
着信音	
SMS設定	56
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
着信音: お知らせ音	86
着信音鳴動時間	
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
着信拒否	41
着信拒否登録	39
着信転送	40
着信ランプ	18
着信履歴	39

着信履歴保存	41
チャンネル一覧	71
チャンネル設定	71
チャンネルリスト名変更	71
注意事項	82
中学生向け	74
直接入力	40
ちらつき防止	66
追加	44
通信・ネットワーク	87
通知1件消去	28
通知アイコン	27
通知設定	
Eメール設定	52
SMS設定	56
通知全件消去	28
通知不可能	41
通知ポップアップ	
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
通話時間	41
通話中表示設定	41
通話明細分計サービス	109
通話料	
第三者通話サービス	108
割込通話サービス	108
通話を追加	38
使い方ガイド	87
使ってみよう～タッチクルーザーEXのススメ～	60
常にハンズフリー通話	99
提供元不明のアプリ	87
定型文入力	36
ディスプレイ	
サブディスプレイ	18
メインディスプレイ	18
データ移行	75
データお預かり	75
データ通信設定	87
データフォルダ	67
データ放送再読み込み	71
データ放送設定	71
データリセット	81
データローミング	109
テーマカラー	56
テキストコピー	61
テザリングキー	18
テザリング機能	97
デバイス管理機能	88
デバイスの検索	99
手ぶれ軽減	66
テレビ	
テレビ画面の見かた	70
テレビの初期設定	70
見る	70
テレビアンテナ	18
テレビ終了	71
電源／終話キー	18
電源を入れる	23
電源を切る	23
伝言お知らせ	107
伝言・ボイスメールの録音	106
伝言メモ	
再生する	41
着信中のサブメニュー	40
伝言メモリスト画面の見かた	41
伝言メモ設定	41
転送	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
転送・お留守番サービス	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
通話設定	41
電卓	81
電池残量で切替	78
電池パック	
同梱品一覧	ii
取り付け／取り外しかた	19
電波障害自主規制	15
添付自動受信	53
添付自動受信サイズ	53
電話	
電話をかける	38
発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた	39
電話帳	
電話帳一覧画面の見かた	44
電話帳詳細画面の見かた	45

登録する	44
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
電話帳アクセスマニター	87
電話帳引用	40
電話帳キー	18
電話帳登録外	41
電話帳に登録	
ダイヤル画面のサブメニュー	38
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
電話の音声	99
電話番号コピー	50
動画	
撮影する	65
データフォルダのカテゴリ	67
動画撮影画面の見かた	65
同梱品一覧	ii
当日予定リスト	79
登録	67
特殊効果パターン	65
特番付加	
ダイヤル画面のサブメニュー	38
発信メニュー	38
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	39
特番付加 184	50
特番付加 186	50
特番へのダイヤル操作	106
ドメイン	52
取り扱い上のお願い	11
トリミング	68

な

内蔵アンテナ	18
名前を変更	99
並べ替え	44
なりすまし規制	55
日時の自動設定	88
日本(4G)	110
日本語ガイド	107
入力設定	36
入力デバイス	99
入力補助・変換	36
認識対象の登録(スピードダイヤル)	39
認証情報ストレージ	88
ネットワークSSID	97
ネットワーク設定	87
ネットワークモード	110
ネットワークを追加	96
ノーマルメニュー	29
のぞき見防止	86

は

バーコードリーダー	66
バイブレーション	
SMS設定	56
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
バイブレータ設定	80
背面カバー	18
バケット通信料についてのご注意	15
パスワード	97
バックアップ・復元	52
バックライト点灯時間	86
発信	38
発信キー	18
発信者番号通知	105
発信番号表示サービス	105
発信履歴	39
貼り付け	
Eメール送信	49
文字入力のサブメニュー	36
貼り付け(履歴)	36
番組表	71
番号通知リクエストサービス	105
番号登録「1442」	109
番号付加設定	41
微速度撮影間隔	66
非通知	41
日付形式の選択	88
日付スタンプ	68
日付設定	88
日付と時刻	88
ビデオへ切替	65
表記方法	6
表示切替	67
表示のタイムアウト	99

表示方法切替	44
標準サービス	104
開く	50
ピンチ	26
フォーカス設定	66
フォルダ一覧	67
フォルダ削除	
フォルダ一覧画面のメニュー	51
ユーザーフォルダのサブメニュー	67
フォルダ作成	
Eメール	52
ユーザーフォルダのサブメニュー	67
フォルダ別設定	52
フォルダ編集	
Eメール一覧画面のメニュー	51
フォルダ一覧画面のメニュー	51
フォルダ名編集	67
フォルダロック	52
複数削除時暗証番号	44
不在通知	107
不正なメールアドレス	52
ブックマーク	60
ブックマーク一覧	61
ブックマークへ登録	61
プライバシー設定	52
ブラウザ	60
ブラウザキー	18
フラグ	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
フリック	26
振分け条件追加	52
振分け条件に追加	50
フル転送	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
フレーミングアドバイザー	65
プロファイル	40
プロファイルアイコンを表示	53
プロファイル引用	49
ペアを解除	99
ページ共有	61
ページ検索	61
ページ情報	61
ヘルプ	
カメラの設定	65
フォルダ一覧画面のメニュー	51
ブラウザ画面のサブメニュー	61
歩数計画面のサブメニュー	81
編集	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	44
プロファイル編集	40
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	36
編集キャンセル	36
編集して発信	39
返信	51
返信先アドレス	53
返信メール引用	53
ボイスパーティー	38
ボイスメール	106
防塵性能	13
防水性能	13
法的情報	89
冒頭文	53
ホーム	61
ホームページ	60
保護／解除	51
保護／保護解除	
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
SMS作成画面のサブメニュー	56
保証期間外	116
保証期間中	116
歩数計	81
歩数計設定	81
補正効果	68
保存先設定	66
ホワイトバランス	66
本製品から転送先までの通話料	104
本体	67
本体+microSD	67
本体へ移動	67
本体へコピー	67
本体メモリ	92
本文コピー	51
本文受信	51
翻訳ファインダー	66

ま

マイク	
各部の名称と機能	18
カメラ設定	66
待受画面	27
待受画面・壁紙	86
マナーキー	18
マナーモード設定	86
未登録番号追加	41
無応答転送	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
無線LAN機能	
ご使用のお願い	14
無線LAN機能	96
名称	80
迷惑電話撃退サービス	109
迷惑メールおまかせ規制	55
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	54
迷惑メール報告	
Eメール一覧画面のメニュー	51
Eメール詳細表示画面のメニュー	51
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URL	50
メインディスプレイ	18
メールアドレス	52
メールキー	18
メール作成	39
メール自動受信	53
メール受信時の画面点灯	
個別通知設定	53
通知設定	53
フォルダ着信通知	52
メール受信方法	53
メール受信履歴引用	49
メール送信履歴引用	49
メールデータバックアップ	54
メールデータ復元	54
メディアの音声	99
メモ帳	79
メモリ使用状況	67
メモリ登録件数	44
メンバー登録	44
モード切替	65
目標設定	81
文字コード	51
文字サイズ	56
文字サイズ変更	61
文字種変更	36
文字入力	34
文字フォント設定	86
モバイルライト	
各部の名称と機能	18
カメラの設定	65
使い方	78

や

ユーザー辞書	36
ユーザー辞書登録(英)	36
ユーザー辞書登録(日)	36
ユーザーフォルダ	
画像編集	68
データフォルダのカテゴリ	67
データを表示／再生	67
ユーザー補助	88
有料オプションサービス	104
予定を作成	79

ら

リサイズ	68
リモートサポート	74
利用できるデータの種類	117
履歴	
ブラウザ画面のサブメニュー	61
ブラウザメニュー	60
履歴引用	40
履歴参照	
ダイヤル画面のサブメニュー	38
通話中画面のサブメニュー	38
累積データ	81
レシーバー	18
連絡先シークレット設定	87
ロングタッチ	26

わ

話中転送	
お留守番サービスEX	106
着信転送サービス	104
割込通話開始	108
割込通話サービス	108
割込通話設定	41
割込通話停止	108
ワンセグ	70

【お客様各位】

このたびは、SHF33をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
SHF33 取扱説明書 詳細版の記載内容に誤りがございましたので、
お詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。
また、記載内容に変更がございましたので、あわせてお知らせさせていただきます。

■第1.1版での改訂

- 「目次」-「付録・索引」(3ページ)

変更前)	『au Wi-Fi SPOT』利用規約	120
変更後)	「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT	120
- 「付録・索引」(113ページ)

変更前)	『au Wi-Fi SPOT』利用規約	120
変更後)	「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT	120
- 「au Wi-Fi SPOT」利用規約:au Wi-Fi SPOT(120ページ)
2016年5月21日から実施の改訂規約に変更しております。

■第1.2版での改訂

- 「電話番号を入力して電話をかける」(38ページ)のmemo欄
 - 誤) ◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
 - 正) 記載削除

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

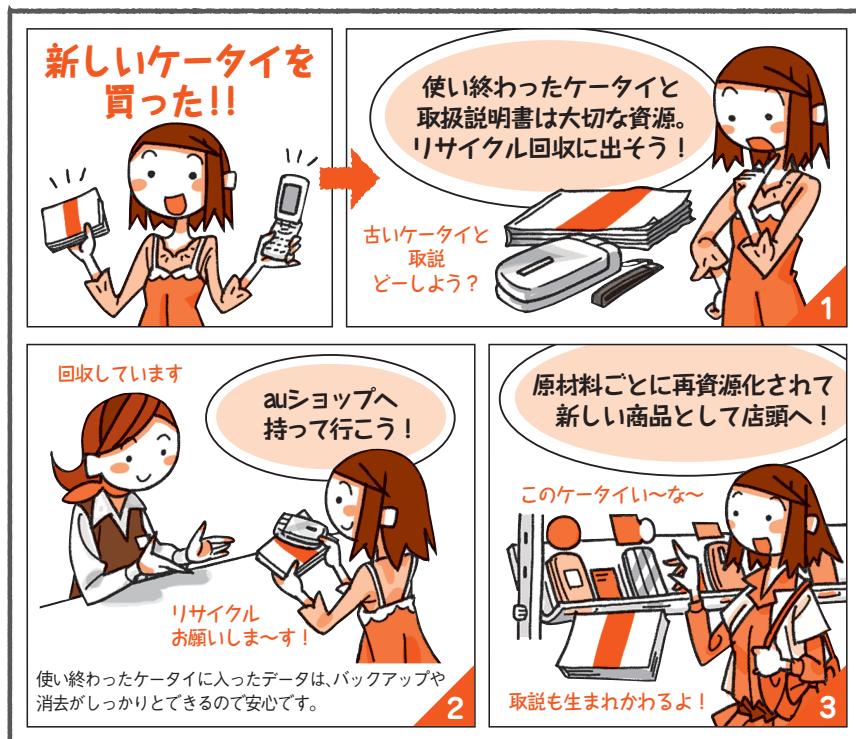
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle>

auのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

auお客さまサポート	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://cs.kddi.com	EZボタン>トップメニューまたは auポータルトップ>auお客さまサポート
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「au お客さまサポート」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマホ / ケータイ）	au 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	 0077-7-111 [フリーコール]	 0120-977-033 [沖縄の方は] [フリーコール]
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	 0077-7-113 [フリーコール]	 0120-977-699

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。

※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

安心ケータイサポートセンター（年中無休/通話料無料）	au 携帯電話（スマートフォン / ケータイ）/ 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
技術規格: PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力をお願いします。
全国のauショップで、不要な取扱説明書や個装箱等を
回収するリサイクル活動に取り組んでいます。

【LINEに関するお知らせ】

本機種へのLINEアプリの配信は2019年11月5日に終了いたしました。LINEアプリの新規インストールおよびアップデートを実施することはできません。

2020年3月31日以降、LINEアプリを起動していない間に受け取ったメッセージの通知、および無料通話の着信通知を受け取ることができます。アプリを起動すると、メッセージ受信や着信履歴を確認できます。

◎本お知らせの記載内容は、2020年3月1日現在のものです。予告なく変更することがあります。